

濟定檢省部文

新選地理

部之界世

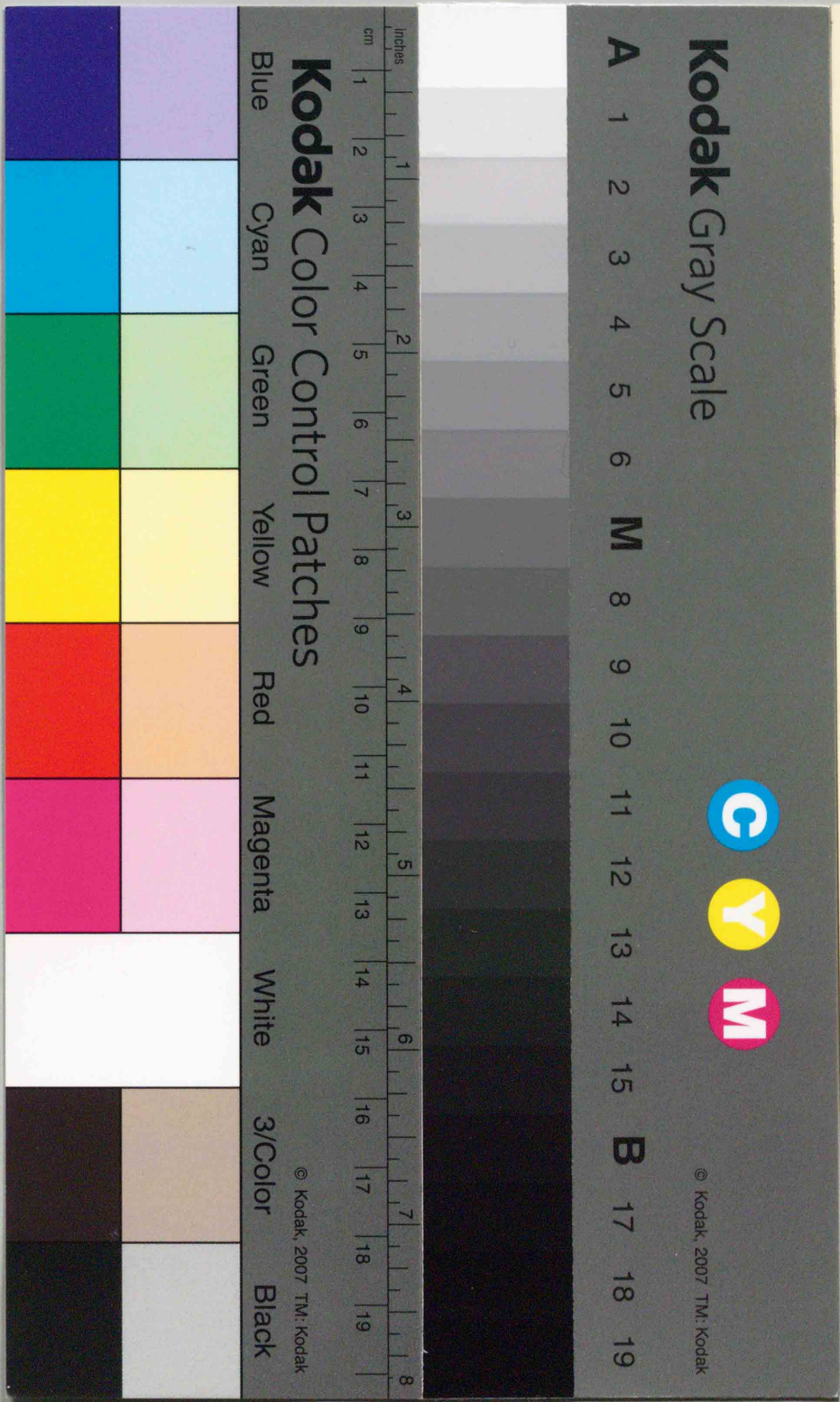
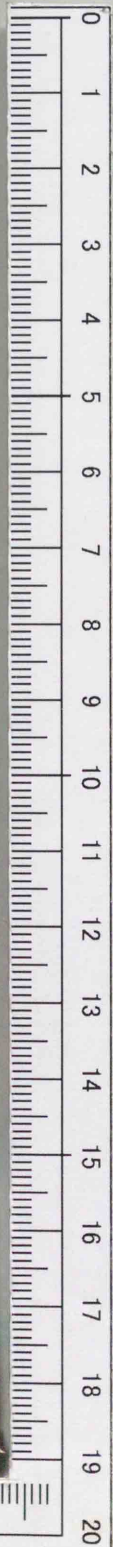
卷中

著雄美荒屋守



院書國帝京東

教科
41-
2000



42803

教科書文庫

4
290
41-1930
20000 82109



濟定檢省部文

日四十月二年五和昭

資料室

新選地理

世界之部

卷中

著雄美荒屋守

広島大学図書

2000082109



社會式株
行發院書國帝 京東

教科書文庫

4

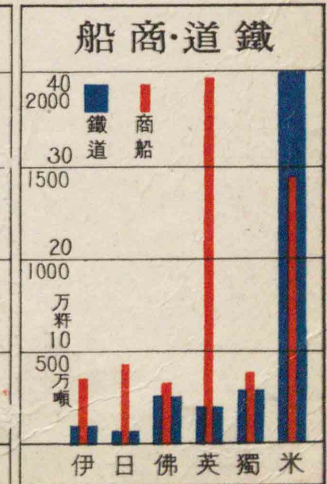
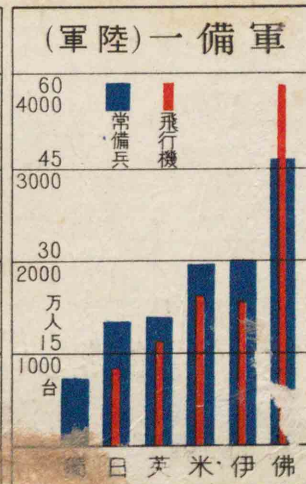
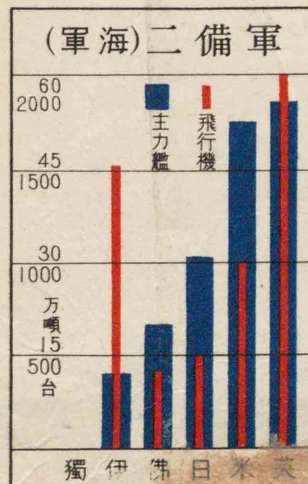
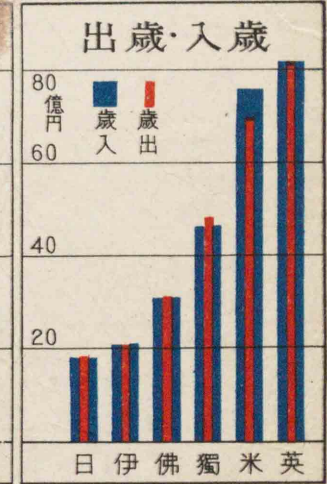
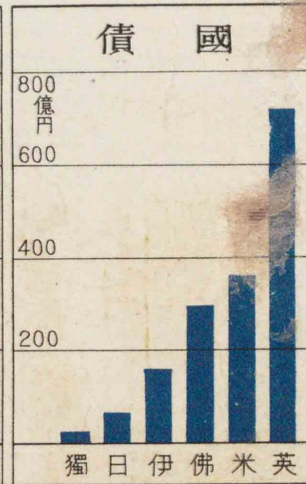
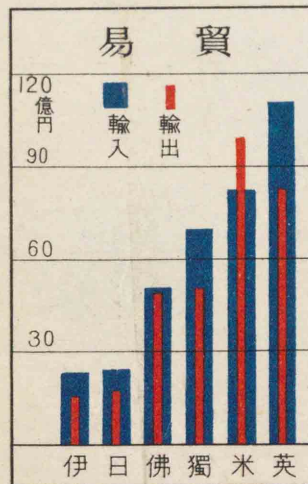
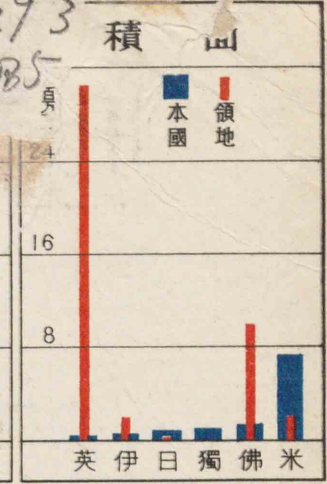
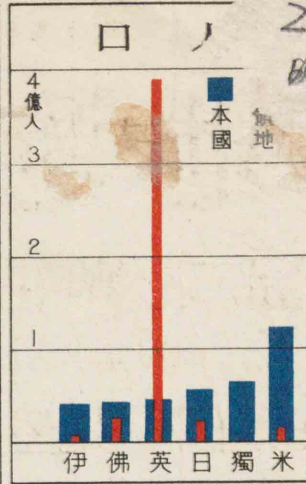
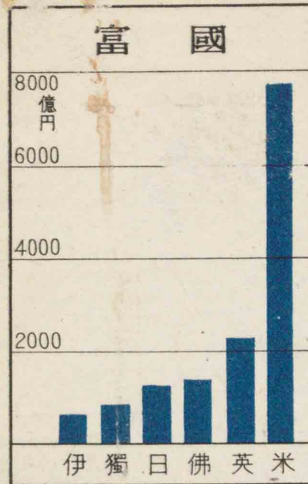
290

41-1930

2000082109

較比勢國強

42
293
885



新選地理

世界之部

東京 帝國書局

新選地理 世界之部〔中卷〕

目次

第二編	歐羅巴洲	一
緒論	一
第一章	歐羅巴露西亞	三
第二章	バルチック三國	一四
第三章	芬蘭	一五
第四章	瑞典・諾威	一七
第五章	丁抹附氷州	二四
第六章	獨逸	二六
第七章	波蘭附ダンチヒ	三三
第八章	致須	三三
第九章	塊地利	四

目次

一

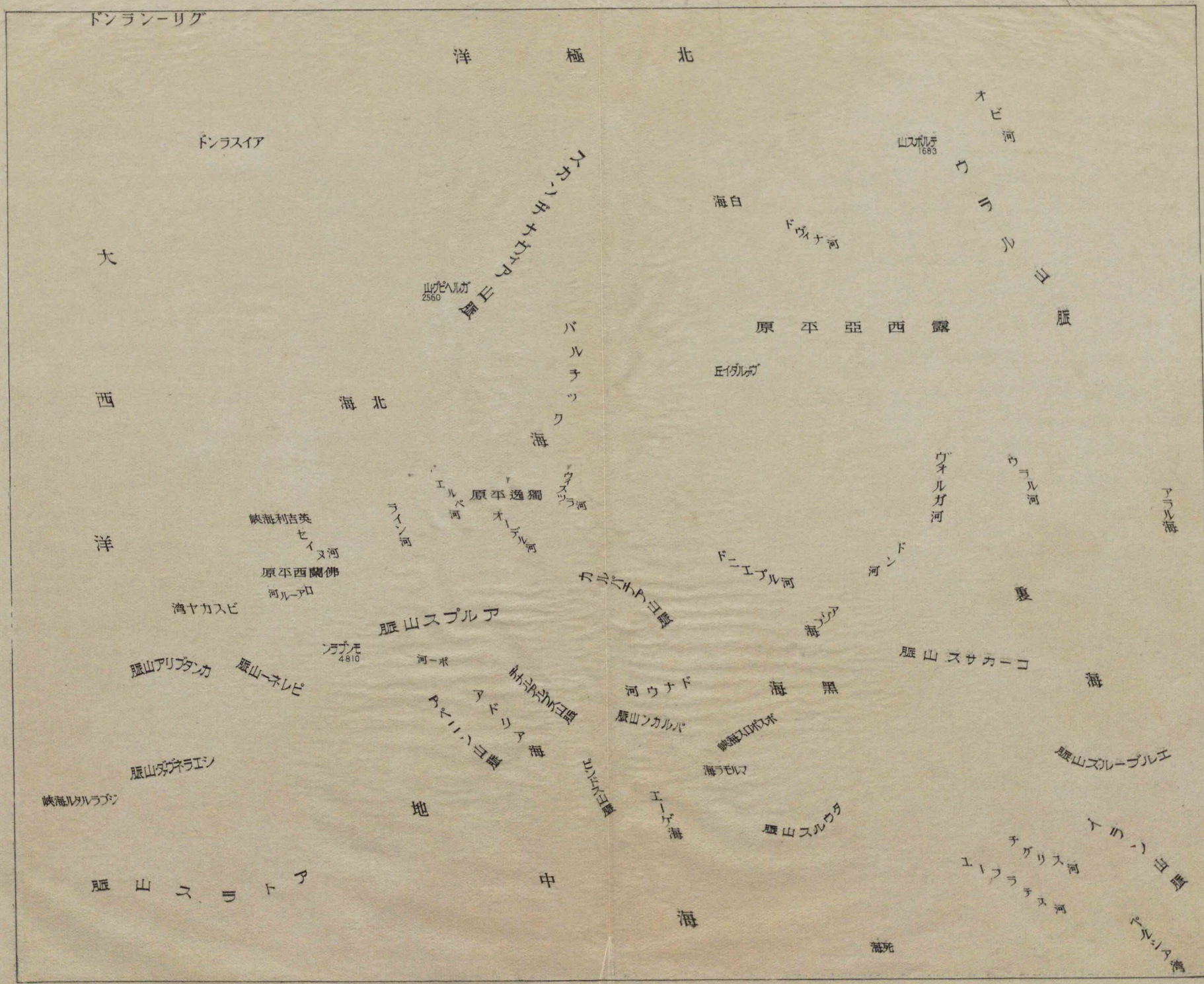
第十章	洪牙利	五
第十一章	巴爾幹諸國	五
一、總說		五
二、地文		五
三、人文		五
四、處誌		五
第十二章	伊太利	六
第十三章	瑞西	六
第十四章	佛蘭西	六
第十五章	白耳義	六
第十六章	和蘭	六
第十七章	英吉利	六
第十八章	西班牙·葡萄牙	六
第十九章	總括	六
一、自然地理		六
二、人文地理		六



るゐてへ迎を家山登練熟のく多て峻峻に更は山連の間伊・佛がるあで方地境國伊・瑞に主はのるゐてれら知に中山登峰連スブルアるす境を歐中・歐南 山登スブルアな險危
 るゐてえ聲が峰高のソフアンモてれ隠に雲の端右 るゐてせ見を技妙の的性男に景背をスブルアンニベな大堆で操有のグンミイラククロな險危の方地ーニモッシ西蘭佛は圖



洲巴亞歐



ドンラン-リグ

洋 極 北

ドンラシア

山スボルダ
1683

オビ河

大

海白

ドナウ河

ウラル山

山ボルガ
2560

山ボルガ
2560

原平亞西露

脈

西

丘ボルガ

海北

バル
チ
ツ
ク
海

ウオルガ河

ウラル河

アラル海

洋

峽海利吉英
セイヌ河

原平逸獨
オムス河
ライン河
エルベ河

ド
フ
エ
アル河

河

裏

湾ヤカスビ

脈山スプルア

山ボルガ

脈山スサカーコ

海

脈山アリバンカ

脈山-ネレピ

山ボルガ
4810

河-ホ

山ボルガ

河ウナド

海黒

脈山スサカーコ

脈山スルーブルエ

脈山ネラエシ

山ボルガ

山ボルガ

脈山ンカルバ

峽海山ボルガ

海ラモロ

エー
グ
海

脈山スルウガ

峽海カラルバン

地

中

海

チ
グ
リス河
エ
イ
フ
ラ
テ
ス河

山ボルガ

山ボルガ

脈山スモトア

瀧死

洲巴羅改



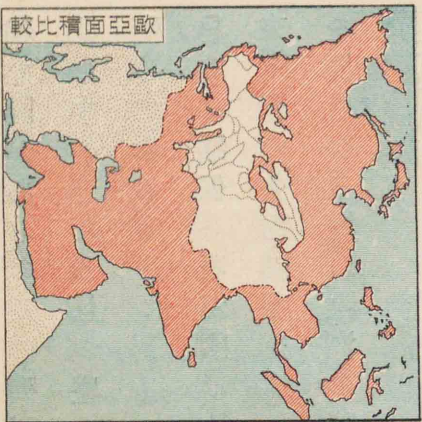


新選地理 世界之部 中卷

第二編 歐羅巴洲 EUROPE

緒論

面積 九二萬方
人口 四〇〇萬人
亞細亞と共にユー
ラシア大陸と總稱
される
面積は狭いが文明
が進んで大陸と認
められる
海岸線が非常に長
く海岸から一千軒
を越える所は殆ど
ない



概観 政治經濟文化に於て、亞細亞を
制してゐるが、地形上では、亞細亞の半島
的大陸で、世界地表の十三分一を占める
に過ぎない。併し人口は四分一を有し
てゐる。海洋に對する位置、地勢、氣候の
利は、各地方(殊に西歐に)の文明に好結果を齎し、
六大陸中、最もよく開けて、大小三十餘の

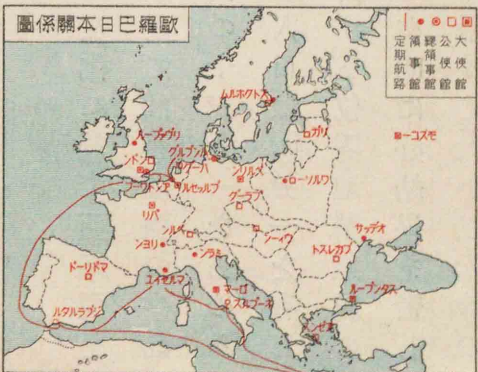
獨立國があり、多くの列強も集つて、現代文化の中心となり、且つ盛んに、他の大陸を扶殖してゐる。

日本と關係 我が國は、徳川幕府の中葉以來、歐洲の文物制度を輸入して、今日の文明を開き、今は概ね、歐洲の諸國と通商條約を

日本帝國官衙

大使館	モスコウ	ベルリン	スタンブール
	ローマ	パリ	ブルッセル
	ロンドン	ヘルシンキ	〔出張所〕
公使館	ストックホルム	ワルソー	ブラーグ
	ウイーン	ブカレスト	アゼンズ
	ベルリン	ハーグ	マドリッド
	リスボン	〔出張所〕	リガ
總領事館	ハンブルグ	ロンドン	
領事館	オデッサ	ストックホルム	リヨン
	ミラン	マルセイユ	リヴァプール

締結して、大使又は公使を駐在させ、又諸要地に、總領事、領事を駐在させてゐる。世界大戰後、英、佛、伊及び米國と協同して、講和の衝に當り、又國際聯盟を唱へた。近年、更



に英、佛及び米國と、四國協約を締結して、世界の平和を圖つた。斯くて、歐洲諸國との國際關係が、益、親密を加へて居る。通商貿易も、年と共に隆盛に赴き、生絲、絹織物を送つて、彼れの鐵鋼、機械、毛織物化學製品を購入してゐる。

區劃 本書は本洲を、歐羅巴露西亞、バルチック、三國、芬蘭、瑞典、諾威、丁抹、獨逸、波蘭、チエコスロヴァキア、奧地利、洪牙利、バルカン諸國、伊太利、瑞西、佛蘭西、白耳義、和蘭、英吉利、西班牙に、分けて記述する。

第一章 歐羅巴露西亞

概観 全露西亞は、歐亞二洲に跨り、世界地表の六分一(の歐洲大陸)を占める大國である。大戰後、世界に類例なき社會主義を實行してゐるが、稍、國際的に孤立し、經濟力も衰へてゐる。

日本との關係 我が國は、極東に於て接壤し、徳川末期以來、千島、樺太、滿洲、朝鮮等に關して紛議を起し、樺太、千島の交換を始めとし、日露

位置の關係による五區(東歐羅巴、北歐羅巴、中央歐羅巴、南歐羅巴、西歐羅巴)

面積 三三〇萬方呎
人口 一四〇〇萬人

世界人口の十二分一、歐洲人口の三分一を有する

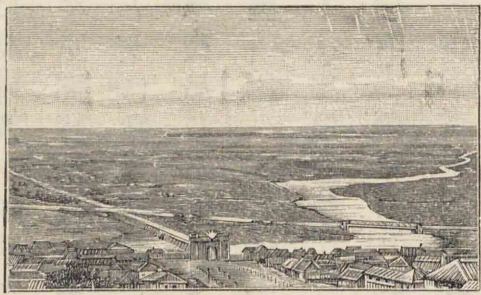
氣候・植物帶等は西比利亞に類似する點が多い

1 長さ三〇〇〇軒幅二
 2 穀倉といはれる
 3 地方は冬時小麦
 4 地方は春時小麦
 5 地方は冬時小麦
 6 地方は春時小麦

④ 露西亞南部の
 大平原

6 バルチック海裏
 海はネヴァ・ヴォル
 ガ二河でバルチック
 海・黒海はウイス
 ッラ・チューナ二河
 とドニエプル河と
 で連絡してゐる
 三方が海に面して
 るても海岸線は比

④ 露西亞南部の
 大平原



戰役西比利亞出兵北樺太保證占領となつたが、今や國交を復舊さ
 せて、大使をモスコに、領事をオデッサに駐在させてゐる。但し彼我
 の貿易は、未だ發展しない。

地 勢 東境地方のウラル山脈は、準平原状を呈してゐる。其の
 他は、茫漠たる大平原で、其の中部以北は、漂積土に蔽はれ、北西部に
 湖沼群、處々にヴァルダイドネツ等の丘陵がある。

又南東部には、裏海低地がある。河流は、概ねヴ
 ルダイ連丘より放射状に流れ出で、北極洋、白海、
 バルチック海、裏海、アゾフ海、黒海の斜面を流れる。

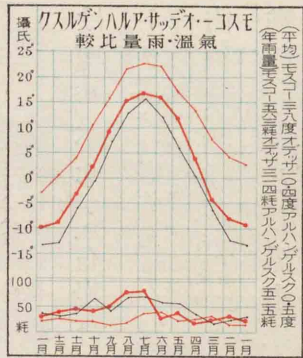
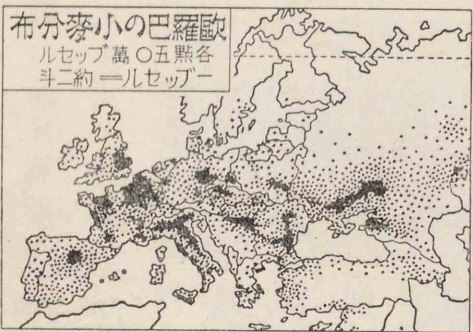
河川は、ヴォルガ、ドニエプル、ベチラ、チューナ等を主とし、雪解の
 初夏と、霖雨後の初冬とは、洪水があるが、其の他の季節には、減
 水が甚しい。併し平原を流れる故、屈曲が多く、水勢が緩か、概
 ね、舟運の便がある。又上流は、運河に連絡せられ、バルチック海、黒海、
 裏海の水運と相通じ、南部の農産と、北部の林産とを、交、運搬する

較的短く、芬蘭灣・
 白海は冬季凍結し
 黒海は入口を他國
 に扼せられてゐる

中央部は全歐中
 も海に遠く且つス
 カンデナヴィア山
 脈に海風を遮ぎら
 れて最も大陸的氣
 候である

地形が單調な
 氣候・植物帯によ
 つて南部(草原帶
 北部(森林帶・凍土
 帶)に大別される
 降雨は海の影響が
 少い爲少いが冬よ
 りも夏が多い

1 草原帶・森林帶
 の漸移地帯で世界
 の穀倉といはれる
 2 歐羅巴の他の地
 方とは冬時小麦此
 地方は春時小麦



氣候 寒

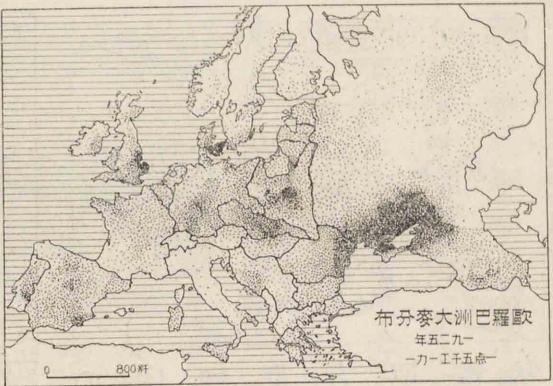
帶大陸性氣
 候で、概ね、夏
 冬の二季に
 分れる。夏



の氣温は、略、緯
 度に並行して
 變化し、冬寒強く、北東部に、凍土帯がある。雨
 量は、西部、中部が稍多く、森林帯を形成し、三
 方に向つて急減する。南東部は、乾燥して草
 原帶、沙漠となり、中央亞細亞に續いてゐる。
 産業 農牧が主業で、國民の八割は之に従
 事する。中部以南の黒土帶、肥沃草地帯は、小

ヴオルガ河上流の
リビンスクは穀物
の大集散地
燕麥・稈麥の産も
多い

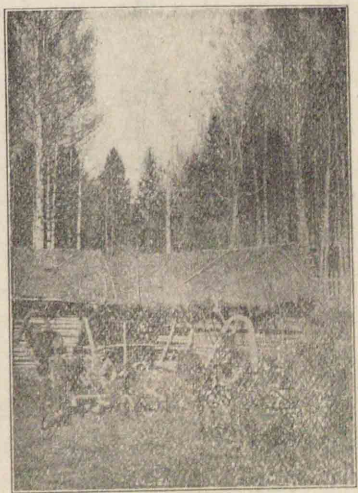
① 森林帯概観
② バルチック海
沿岸地方に多い
農産は國土の減少
と共に激減したが
尙ほ稈麥・大麥・大
麻・亞麻は世界一
小麥・燕麥は米國
に次ぎ剩餘は西歐
に輸出する
③ 南部の草原帯が
特に盛んである



革命以來政府は土
地森林・鐵山・工場
交通機關・貿易等
を國有・國營とし
極力復興に努めて
ゐるが却つて國民
の反感を買ひ産業
沈滞の状態にある

は埋藏が多く、石炭は、モスコの南・南西と、ドネツ河谷とに、鐵は、ツ
ーラ(モスコ)ケルチ(アクリミ)に、岩鹽は、裏海低地より産出する。又ウラル
山地は、鑛物(金・白金・銀・銅・鐵・石炭)に富んでゐる。水産物は、裏海及びヴオルガ河の
鱒魚を主とし、黑海岸に果樹園がある。工業は、今尙ほ家内工業が

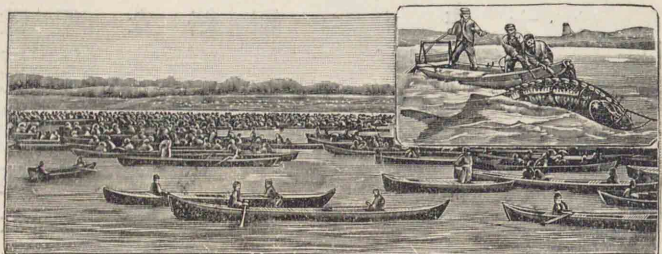
麥・大麥・玉蜀
黍・中部以北
の森林帯は
亞麻・大麻・煙
草・稈麥・燕麥
馬鈴薯・甜菜
を産する。牧畜は、殆ど全國的で、馬・牛・羊・豚
家禽の産が多い。森林帯の木材・パルプ・樹
脂・凍土帯の毛皮・獸脂も重要である。鑛物



① 附近に鐵・石炭
を産するロストフ
が有名である

② 地形上建設は容
易であるが面積が

③ 地形上建設は容
易であるが面積が

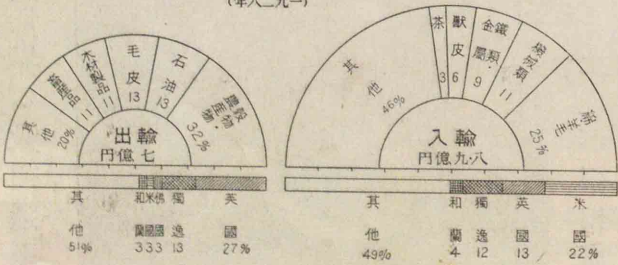


を輸出し、綿・石炭・茶・金屬製品・機械を輸入する。
交通 鐵道は、モスコを中心として、主要都



開かれ、ニシエゴロド大市は、最も
盛大である。外國貿易は、中歐
諸國との陸路取引を主とし、食
料品(穀物・麥粉・鳥卵・牛)・原料品(木材・麻・
酪西比利亞産)皮革)。

易貿の亞西露巴羅歐 (年八二九一)



廣いので西歐諸國
ほどに鐵道網が密
でない
道路が不完全で自
動車が少ない

1 可航水路延長八三
三〇〇軒運河延長三三
〇〇軒

2 可航水路延長二
二〇〇軒

3 多く外國船に依
る

4 スラヴ族・亞細
亞人種の混血



冬の村農亞西露

は家農 るす早を觀景じ同な調單も處何は村農み住に屋家の式型同ど殆は民農
積の上屋の冬に特 るあて室一家一通普でのもるた然屋小太丸な朴素く如の圖
くつに目がのるみてつもを根屋の斜傾急に爲ぐ防を雪



業農の亞西露るす働勞の人婦

得げ擧を益收るす倍數りよ今ばれす用採を法農大の式米北は帶地業農全な大廣
引に練訓の家國は分部大の者年壯青に特 るるてれ遅が達發爲の乏缺本資がる
るるてし事從に耕農ちかく早朝が人婦爲るれさ出

市を連絡し、且つ、西比利亞中歐の鐵道と連絡して、世界の大交通系
を組織し、中央亞細亞高加索、バルカンの諸
鐵道にも連なる。
諸大河及び之を連絡する運河は、最も重要
な交通路で、中央の工業地區と海港とを連
絡し、殊に、ヴルガは、裏海と連絡して、中央亞
細亞波斯高加索との交通を助ける。モス
コーは、定期航空路の中心、レニングラード、
オデッサは、海運の中心である。

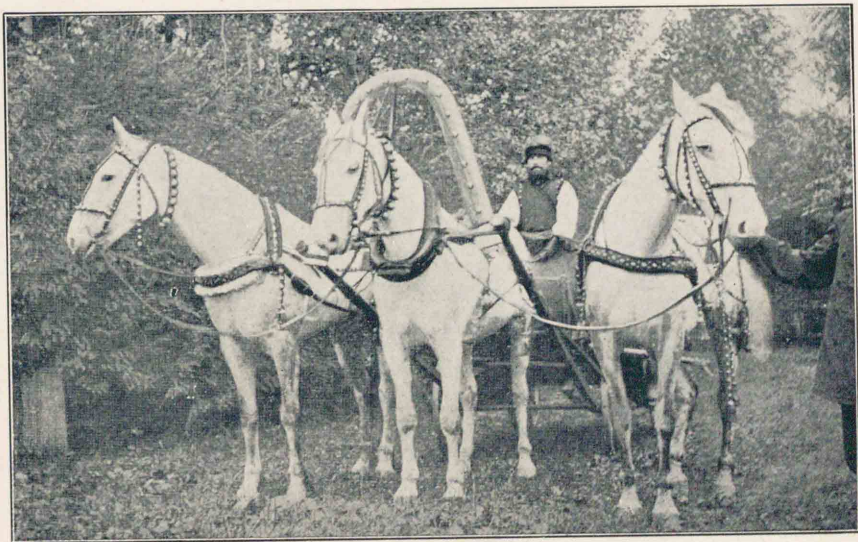


住 民 人口は、密度は小さいが、増加率は大きい。土地が平坦廣
大で、民族の移動が行はれ易い故、住民は錯雜してゐる。スラヴ族
は、國民の大部を占め、冷靜深刻、忍耐、果斷で、希臘教を奉じ、大露西亞
人〔中〕小露西亞人〔南西部〕白露西亞人〔南部〕等の四十餘種に分れる。大
人〔中〕小露西亞人〔南西部〕白露西亞人〔南部〕等の四十餘種に分れる。大



街市ドーラゲンニレ

米〇三幅道 るあで街ーキスヴネは圖で市都たし興新に口河 ヲヴネ前年餘百二
本 ぶ並建が物築建いし美に特に側右きより當日しなを衢街な賑股る互に軒三
るあが等宮冬・廳政舊りなと畔河ばれ當突を街



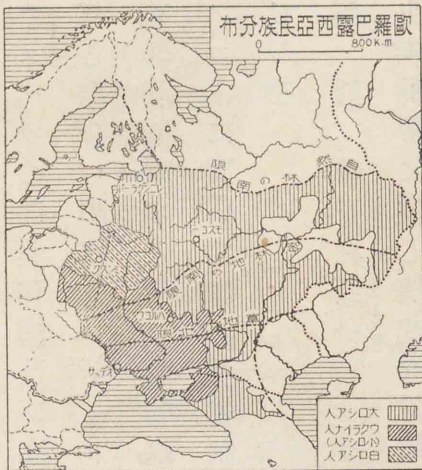
カイロト車馬の有特亞西露

の側外で立頭三く如の圖で關機通交な要重るれさ用使に所る到露全はカイロト
が飾裝の銀いし美で色青は木曲の上の馬の央中り走てげ曲を首に外に常は頭二
るあで色景いなはでらな亞西露はるす驅馳を野曠にかやわさ音の鈴 るあ

其の住家
ラップ族と

1 南西部に多くて
政治的經濟的勢力
をもつてゐる
農民は一般に低級
な生活を營んでゐ
る

2 フィン族は之を
ルス(漕者)と呼ん
だルスキーは之に
基いた名である
3 リック家の都
はノヴゴロドにあ
つた



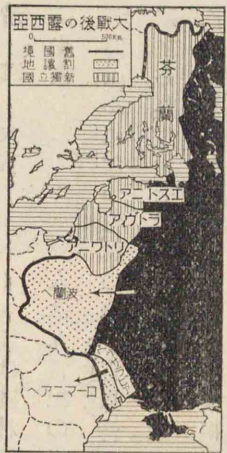
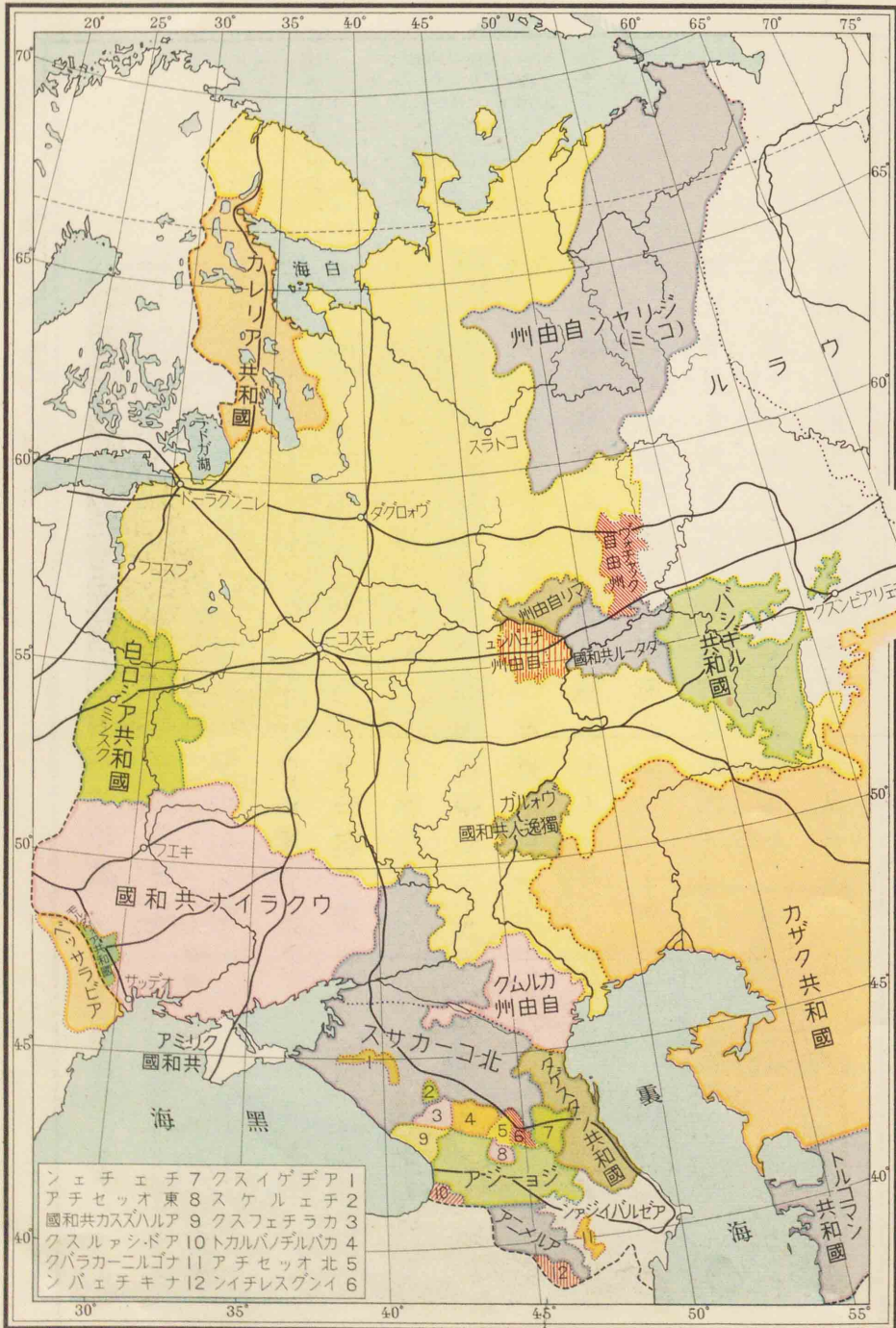
人南部に土耳其族、極北部にフィン、ラップ二族

がある。普通教育は、尙ほ發達せず、高等教育は、上流に行はれる。

沿革 太古アルパイン族は森林、沼澤地方を開拓して、自治團體を造つた。此の地方
に往復したノルマン人は、九世紀の半頃之を征服して王朝を建て、十一世紀頃には、國勢
が稍、盛んになつた。其の後、成吉思汗に侵略され十六世紀の半頃、イワン四世が出て漸く
獨立した。十七世紀に、ロマノフ家のペテロ大帝が出て、西歐文物の輸入隣邦の攻略に
努め、頗る強大になつた。爾來、歴世相繼いで領土を擴張し、遂に世界強國の一に列し、帝國



露西亞政治區劃



と稱するに至つた。此の強大國も、極東に於て我が國の爲に樺太の南部を失ひ、南滿洲、關東州の權益を放棄し、世界大戰後、西部、北西部より、數箇國が分離獨立し、皇室の極端な専制政治も覆へされ、今や過激社會主義者が、政權を握つてゐる。

政治 モスコを首府とする勞農露西亞(露西亞ソヴェト)が、中堅とな

り、ウクライナ、白露西亞、トルコマン、

ウズベクの四共和國及び高加索聯邦と聯合し、國號をソヴェト社會主義共和國聯邦と稱し、聯邦政府をモ

スコに置いて、聯邦共和制を敷いてゐる。

處誌 首府莫斯科(モスクウ)は、國の中

央、森林帶に位し、標式的露都で、交通

大觀

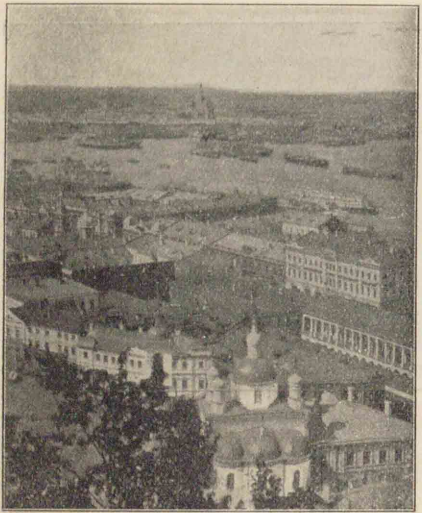


國家の最高機關はソヴェト大會で、平素の政務は聯邦中央執行委員會が掌り、共和國聯邦を統一する普通行政事務は聯邦中央執行委員會が任命した聯邦人民委員會が行ふ。

1 南部に鐵・石炭の産地を控へ機械・綿毛織物・鞣皮・漆器製造の近代工業が起つた

圖解 (下) クレムリン宮殿と其の庭前にある世界一の大鐘 (上) ニシエゴロド

及び商工業の大中心をなしてゐる。有名なるクレムリンは宮殿寺院等より成り、小丘上にあつて、オカ河の支流モスコー河を瞰下し、風光が美しい。ツォーラは鐵鋼を製錬し、軍需品を産出する。ニシエゴロドは、ヴォルガ・オカ二河の會點に位し、水運の便よく、古來東西の交通路に當り、夏季の定期市には、歐亞弗の貿易商が群集し、取引が盛んである。カ



(Mihh-Nygorod) 19



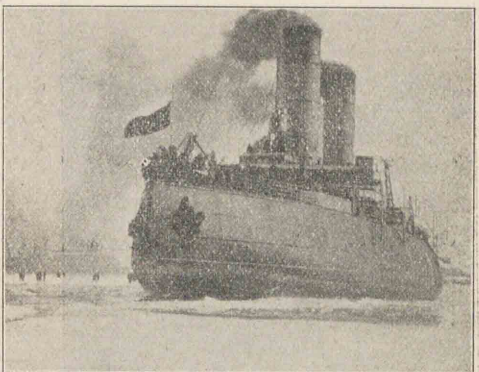
商が群集し、取引が盛んである。カ

1 西比利亞鐵道・中央亞細亞鐵道の分岐點

2 魚膠・醃藏鮑が著名である

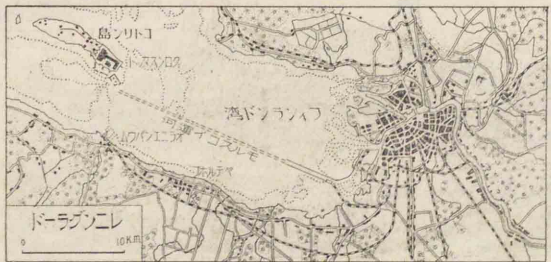
3 北歐大通商路の終點此の國第一の商港で各種工業も行はれる

4 軍港であるがレニングラードと共に冬期に凍結す



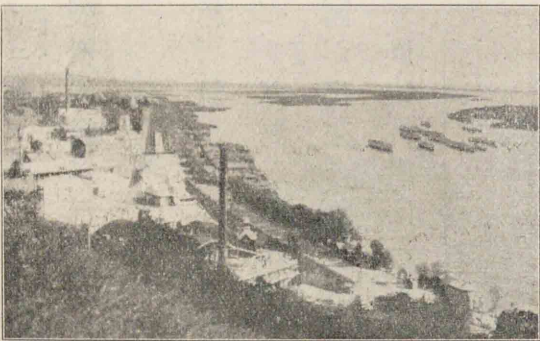
ザンは、森林帶の南縁、ヴォルガ河畔に位して、皮革の取引が多い。
1 サマラ・サラトフは、ヴォルガの河港で、煙草羊毛を産する。ヴォルガ河口のアストラハン
2 毛を産する。ヴォルガ河口のアストラハン
3 は、中央亞細亞・波斯に對する交通の要地で、石油綿水産物を集散する。オレン
4 ブルグは、鐵道隊商通路に

沿ひ、キルギス共和國の首府である。
レニングラードは、フィンランド灣頭、ネヴァ河口に位し、ペテロ大帝以來、二百餘年間の舊都で、壯麗な冬宮・大學・博物館がある。副港クロンスタットとの間に運河を通じ、貿易が盛んである。ヴォログダは、鐵道

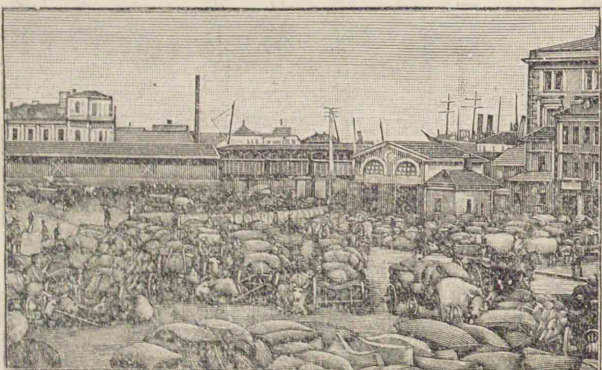


1 有名な寺院がある宗教・學術・定期市・工業で有名な(上)キエフとドニエプル河(下)オデッサに於ける穀物積出し

2 キエフと共に製革・製糖が行はれる



の要地である。アルハンゲルスクは、白海に臨む最北部の中心で、穀物・木材・皮革を輸出する。ムルマンスクは、コラ半島の北岸、ムルマンスク鐵道の終點で、不凍港サポロッセを控へ、急速に發達した。ミンスクは、白露西亞の首府、交通の要點、農産の集散地である。
1 キエフは、ウクライナの最大・最美の都市で、森林帶の南端に位し、麥粉砂糖皮革を産する。
2 ハルコフは、ウクライナの首府で、農産物の取引が多く、定期市が榮える。オデッサは、



1 クリミア戦役以來有名な軍港で造船廠がある
エストニア

面積 五萬方軒
人口 一二萬人

ラトヴィア

面積 六萬方軒

人口 一九萬人

リトワニア

面積 六萬方軒

人口 三三萬人

主産物は麻・木材

2 亞細亞系である

が著しく北人と混

血してゐる

3 北人の子孫でス

ラヴ族と異なる

4 白人の祖先と稱

せられる

5 日本公使館所在
地

ドニエステル河口に近き主要港で、ヘルソン・アヒアル(セバス)と共に、製粉造船が行はれる。タガンログ・ロストフは、穀物を輸出する。
Lithuanian
Kielce
Lagang 9
Koslov 13

第二章 バルチック三國

Baltic Three States

總説 バルチック海に臨み、フィンランド灣より南西に延びた地域

Finland

で、リガ灣が灣入してゐる。近年露西亞より獨立して、三箇の共和

Repub

國が出来た、何れも弱小國で、將來の發達も疑はしい。土地が低平

で、農・牧・林産はあるが、礦物は出ない。住民は、エストニアはエスト

Estonian

ニア人¹、ラトヴィアはレット人²、リトワ

ニアはリトワニア人³が多い。

Lithuanian

處誌 エストニア 首府タリン¹² (レウア

Estonia

は、フィンランド灣岸の良港で、林業工業が

Finland

行はれる。

ラトヴィア 首府リガ⁵はリガ灣頭、デューナ

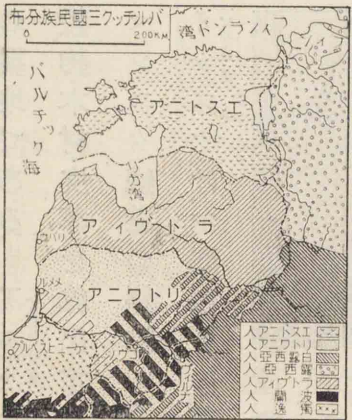
Latvia

は、エストニア

Latvia

は、エストニア

Duna



1 一時的の政廳所在
地で本來の首府は
ヴィルナである

面積 (上)リガ港

(下)芬蘭の標式的

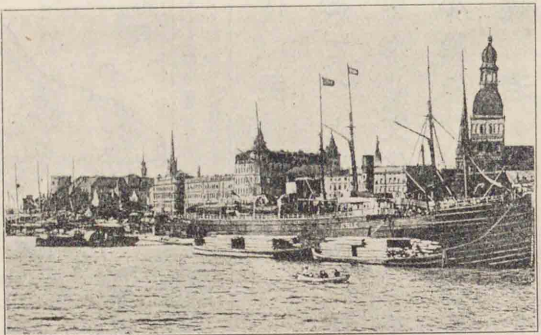
地形

面積 三萬方軒

人口 三三萬人

芬蘭灣に近く堤防
狀の丘陵があつて
國を内外二帯に分
け外帯は帶狀海岸
平野で主産業が行
はれ人口も密であ
る

冬が長くて北方で
は二ヶ月以上も太
陽を見ない



河口に位し、小麦・木材・麻を輸出し、リネン・綿の工場がある。南方のリバウは不凍港である。
リトワニア 首府カウナス(コヴ)は交通上の要地で、クライペダ⁴ (ル^x)
Lithuanian
Kaunas(Kovno) 10
Klaipeda 4
Memel

第三章 芬蘭

Finland

概観 露西亞・スカン

Scandinavia

ディナヴィアの橋梁をなし、

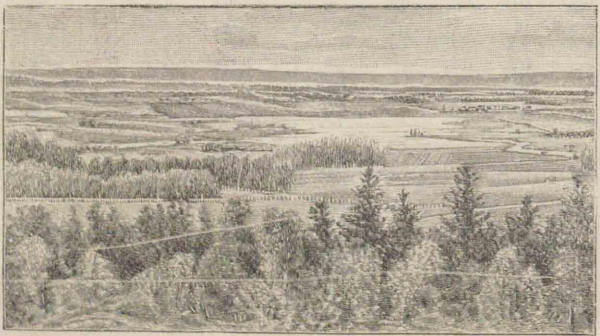
バルチック海岸の四新共

和國中、最も有望で、我が通商條約國である。

地勢 昔時、氷河に削磨された低い波狀の

臺地で、無數に湖沼が散在する。河川は、錯雜

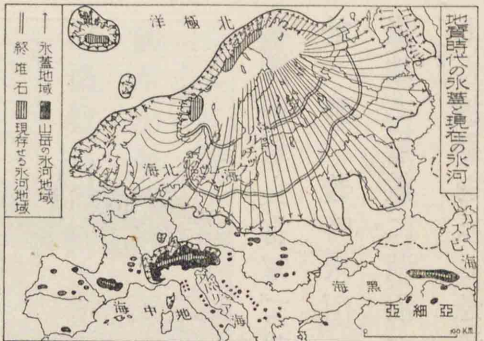
した流路をなし、急流で水力の利用によい。



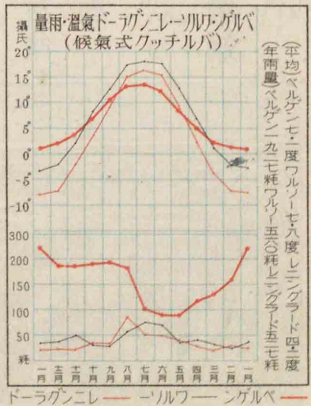
自然に恵まれない
當國民は冬は伐木
夏は畑作・酪農に
従事して職務に勤
勉である

1 牛酪・皮革

2 原始的遊牧生活
(馴鹿)をしてゐる
大戦後の新興諸國
中最も堅實な國の
一である



氣候・産業 寒冷少
雨で、北部に凍土帯
がある。地味瘠せ、
國土の大半は森林
で輸出總額の八〇
%は、木材・パルプ紙である。農牧は、森林伐採
地に行はれる。林畜産を輸出し、食料品を輸
入する。工業は、右の外に、綿紡織がある。

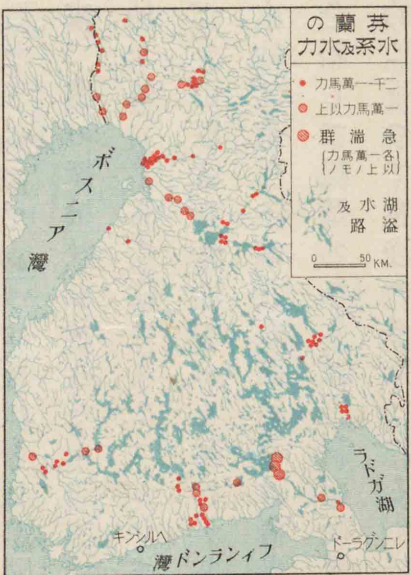


住民 フィンランドの住民の大部分は、亞細亞人種に屬するフィン
族で、つとに西隣の瑞典人と接觸した爲容貌風習が西歐化し、新教
を奉じ、文化も進んでゐる。南部には瑞典人、北部(ラップランド)には
少數のラップ人が居る。

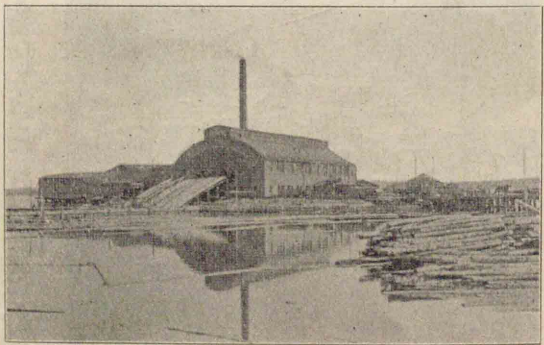
政治 もと芬蘭大公國と稱し、露西亞皇帝を君主に戴き、自治を

製材所の
ヘルシンキ

面積 四萬方軒
人口 五〇萬人
面積 三萬方軒
人口 二五萬人



シムキは、芬蘭灣北岸に位し、風景よく、我が公
使館出張所がある。水力利用の下に、製材が
行はれる。ハンゴは牛酪製造、ツルク(ボイ)は造船紡織が行はれ、
レアボルグは北歐大通商路の終點である。



許されて
ゐたが大
戰中獨
立共和國
となつた。
處誌
首府ヘル
シンキ

概観 スカンディナヴィアの東西兩斜面は、地理的事情を異にし、東
Scandinavia

第四章 瑞典・諾威

【圖説】 峽灣の内部
 灣頭には小平地がある
 最高峯はガルヘビ
 グ(三、五〇〇米)で附近
 に氷河がある
 峽灣は氷河谷の沈
 降したもので波が
 静かである
 地となる有名なソ
 ンナネ峽灣は長さ六
 〇軒高さ一〇〇米水
 深あ五〇〇米

に瑞典、西に諾威がある。前者は、瀑布國で、水力の利用が發達し、後者は、海岸、海洋を利用する漁業、航海及び探検に優れてゐる。

日本との關係 我が國は、兩國と通商條約を締結して、ストックホルムに公使、領事を駐在させてゐるが、通商は、まだ盛んでない。北東通路を探検したノルデンシールド【人、典】、中央亞細亞、新疆、西藏を探検したスヴェンヘデン【人、諾】、兩極、北西通路を探検したアムンツェン【人、諾】は、何れも我が國に來て、其の探検談を試みた。

地 勢 半島を縦走するスカンヂナヴィア山脈は、高臺性で、多く溪谷がある。主軸は、稍西に偏在し、西斜面は、海岸に急斜して、絶壁となり、又東斜面は、階段的に下つて、遠淺の海岸に終る。諾威



地質時代に歐洲の北半を覆ふた氷河は、此の地方から發し、地形に著しく氷蝕の跡がある

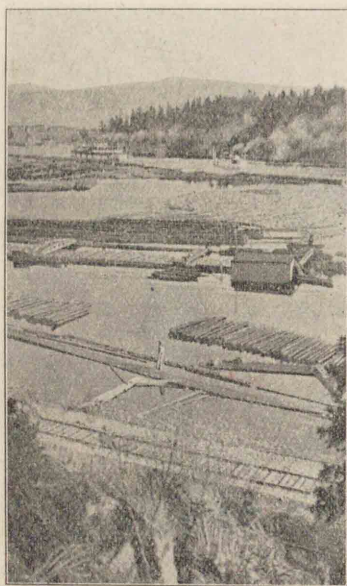
1 露西亞平原に續きウエーネル、ウエツテル等大小の氷河湖がある

2 ボスニア灣は約半歳氷に鎖される
 【圖説】 瑞典に於ける木材集積

3 芬蘭の續きて全面積の半を占める

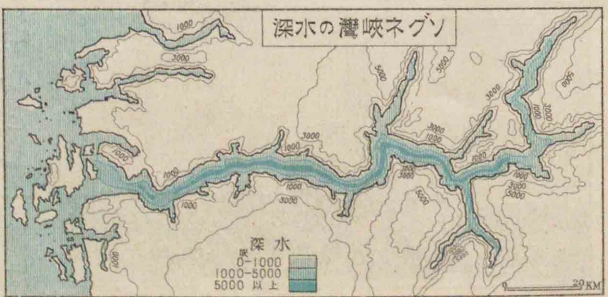
は、地盤降下の爲、數多の縁島、峽灣を生じ、瑞典側は、多くの狭長湖が並列し、河川は、此の狭長湖を川筋として、山麓の臺地を下る所に、急流、瀑布を成し、以て水力を供給してゐる。瑞典の南部にのみ、稍、廣い低地がある。

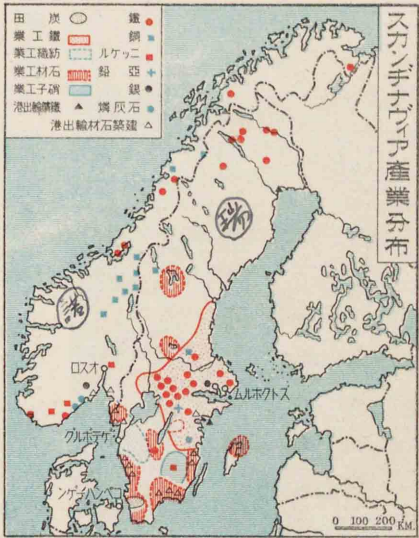
氣 候 東西では、著しい差異がある。諾威は、割合に氣温が高く、北端も氷結しないが、瑞典



は、寒帶大陸性で、冬季は、河海が凍結する。雨量は、諾威の南西部が多い。

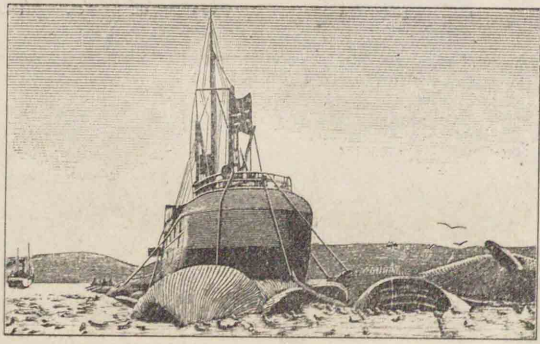
産 業 半島(特に)は、森林が多い。





【圖解】 諾威の捕鯨
 諾威海岸は世界三
 大漁場の一
 瑞典の主要輸出品
 木材及製品・鐵・鐵
 鋼・牛酪 諾威の主
 要輸出品水産物・
 木材・牛酪
 1 木材・パルプ・紙
 ・燐寸・軸木燐寸箱

ま、英・獨に輸出する。銅・銀・亜鉛は、兩國より産
 出する。耕地は、狭く且つ南部に限られて、僅
 に麥類、馬鈴薯を産し、瑞典は製酪、諾威は牧畜
 が行はれる。水産業は、諾威が盛んで、ロフトエテ
 ン諸島の鱈、峽灣・河川の鮭、南西岸の鯨、北海北
 極洋の鯨が著しい。工業は、水力利用の林産



くて、林産は、兩國の重要輸出品で
 ある。鑛産は、石炭を缺くが、鐵は、
 埋藏豊富で、瑞典のゲリヴァラ・ダン
 ネモラ兩地方を中心とし、一部は、
 水力・火力(材木)
 で製鐵し、一
 部は、鑛石の

瑞典の南部は對岸
 の丁・獨との間に
 列車航送連絡があ
 る

【圖解】 (上) 諾威の
 水力發電所(下) 瑞
 典パルプ工場(右
 端の瀑布により水
 力電氣を起してゐ
 る)

諾威は二九五萬噸
 の汽船を擁して世
 界有数の航海國の
 一である

北方には遊牧生活
 を営む少數のラッ
 プ人がゐる

工業化學工

業(特に窒)紡

織業がある。

交通 諾

威は、海運が

盛んで、他國

の備船ともなり、瑞典は、鐵道網の密度が、我が國

より稍、大きい。瑞典南部の諸湖は、ゲタ運河と

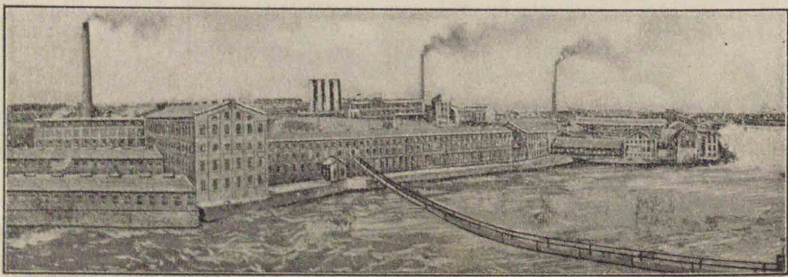
相通じて、汽船の便がある。

住民 人口は稀少で、海岸に都市が多い。概

ねチユートン族で、新教を奉じ、教育が普及し、體育

を重んじて、勤儉の美風がある。健兒ノルマン

(北人)の子孫として、探檢家が輩出する。諾威人



圖解 (上) 瑞典人の冬季運動 (下) ストクホルムのスキージャンプ



く君合國であつたが、近年(一九〇五年)分立して、共に

立憲王國となつた。諾威は大戦後、スヴァールバル

ド(スピッツベルゲン)諸島を領有した。

處 誌 瑞典 典 首府 ストクホルムはメララル

Stockholm

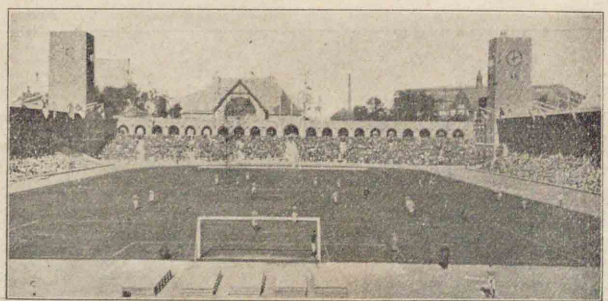
Melal

湖口の小島群に跨つて、水郷の美を鍾め、交通の

要路に當り、鐵等の金屬工業が行はれる。ノル

Norloping

ケピングは、水力利用の工業が発達して、毛綿の

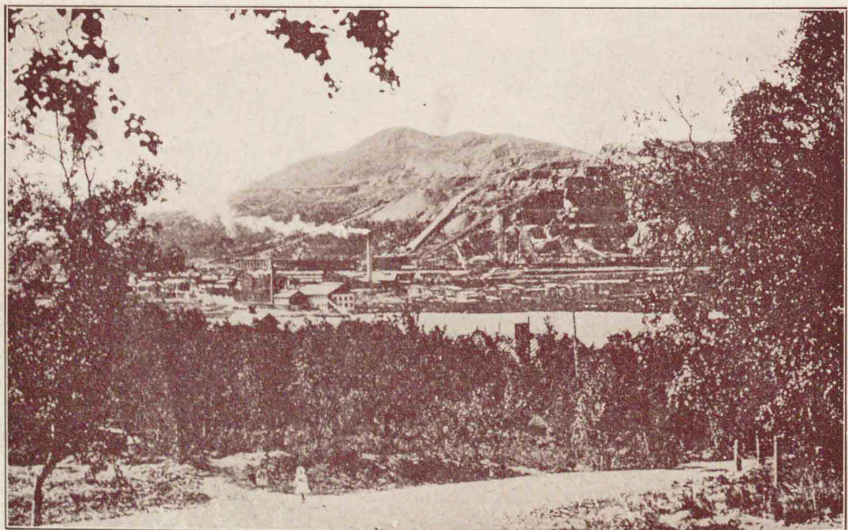


ストクホルムの運動競技場(一九三三年)日本が始めてオリンピックゲームに出場した處)北方のヴェニスと稱せられる。ウブサラは有名な大學のある處



ムルホクトス

都水るあに上島小の多數の間のと湖ルラメと入灣の海クッチルバは部大の街市の眞寫るればいとる優に彼にか遙は觀美の然天がるあが稱のスニエヴの北でるゐてえ見が殿宮・廳政に方左でループ用泳水な麗壯は景前



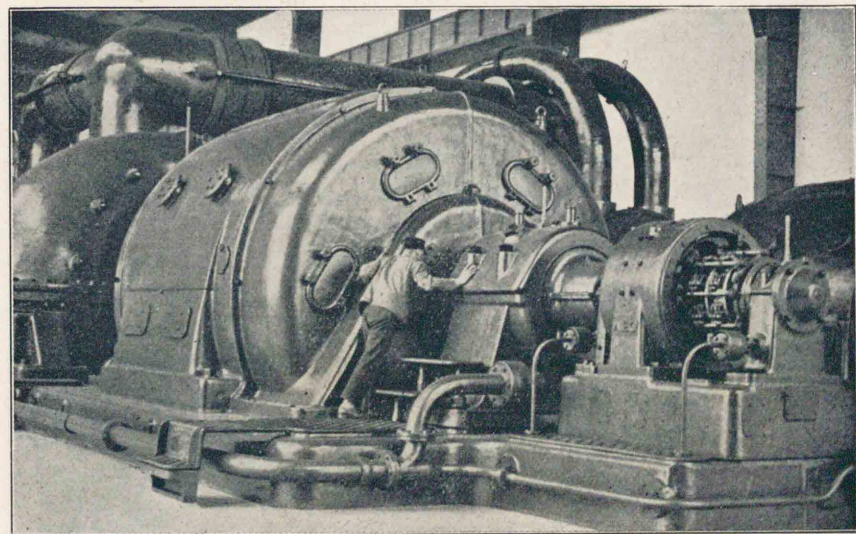
山鐵の典瑞

獨・英が石鐵の量多れら知て以を質良に特がるゐてつ有を山鐵鐵のく多は典瑞山全で山鐵ラヴナルキの部北は圖るなと料材の器具要重器兵てれさ出輸にるゐてれはいとる成りよ鐵鐵



林森の逸獨

本日し對に積地一同れらせ稱と範模の界世に共と利地塊はとこるせ達發の業林
てし入輸を材木の量多く多用需の内國は尙がるゐてげ擧を益利の上以倍十三の
るあで林密然自の近附森黒獨南いしほさふに名の其は眞寫 るゐ

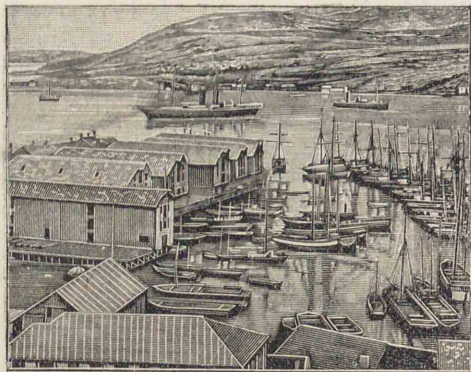


業工の逸獨

ゐてれさ示に實如も最がれそて於に逸獨で性天の人ントーユチはるす拜崇を力
一でンピータ用電發の大最界世るあにグルプスルメンの近附林伯は圖上 る
るあでのもる得し電發をトッワロキ萬八箇

1 此の國の林産工
業品の大部を輸出
する
ストクホルム・ゲ
テボルグは自由港
南端のマルメは獨
列車航送船を築く
してゐる
トロニエムは舊都
いて風光の美て名高

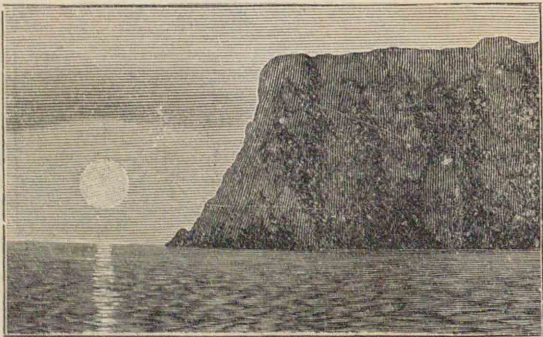
圖解 (上) ハンメル
ルフェスト港 (下)
スカンヂナヴィアの
北端の北岬に於
ける夜半の太陽



製品を輸出する。ゲテボルグは、カテガット海峡に面し、鐵道水路に
よつて獨英佛の諸港と直通航路を通じ、紡織が行はれる。
ノルウェー首府オスロ (クリスチアニア) は、クリスチアニア峽灣に臨み、木材、パル
プ紙の輸出が多い。ベルゲンは、安全な漁港で、南歐諸國へ魚類を
供給し、ナルヴィクは、瑞典北部産の鐵鑛を積出す。
Narvik
Oslo 26
Christiana
Bergen 9
Hammerfest

トは、漁船の根據地である。歐羅巴最北の都會で、夏季は、夜半太陽を見、冬夜は、二ヶ月餘も繼續し、又屢、極光が現はれる。

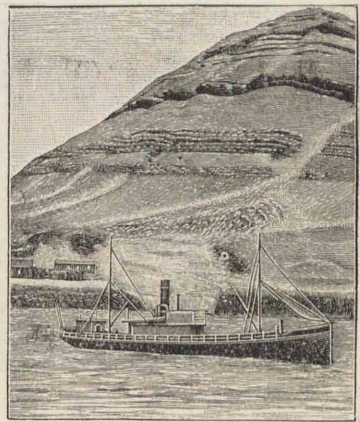
スヴァールバルド諸島 半島の
Svalbard



【圖解】(上)スヴァ
ルバルド島の炭層
(下)スヴァルバル
ド島のキングス灣
汽船は昭和三年夏
北海で遭難した飛
行船イタリア號を
救援に赴いたもの

1 面積 二四萬方
人 三三萬
面積 一〇萬方
人 九萬人
1 鐵物の少い國の
産業政策

2 大島はフイエン
ジーランド・ラー
ランドである



第五章

丁抹附氷州

遠き北方に横はり、石炭鐵を
埋藏し、海獸が棲息する。近
年、諾威人を始め、典・蘭露の諸
國人が、處々に現代式小都市
を建設して、漁獵採鑛に従事
してゐる。又飛行場も設け
られた。

概観 九州島程の小國であるが、主畜農業自
作農業の模範國で、又實に我が條約國である。
其の位置の關係上、西歐の大工業地方や、スカン
デナヴィア半島に對する交通・貿易によりて繁榮
する。

地勢 北獨逸平原の續きて、半島部・島嶼部に



1 最高所も一七〇米
に止まり、水河によ
る丘陵が南北に走
つて脊梁となつて
ゐる。
東岸は土地が肥沃
で海も深く、港灣海
峡が多い

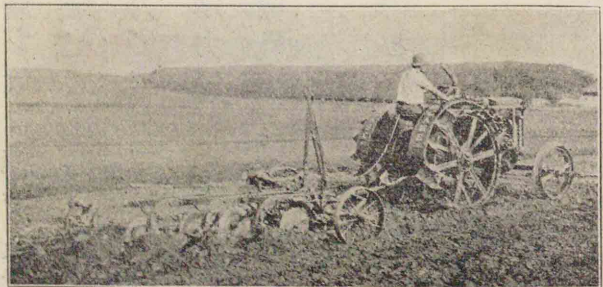
【圖解】丁抹の農耕
2 農耕地・放牧地
各々四割

3 不足の爲尙ほ輸
入する



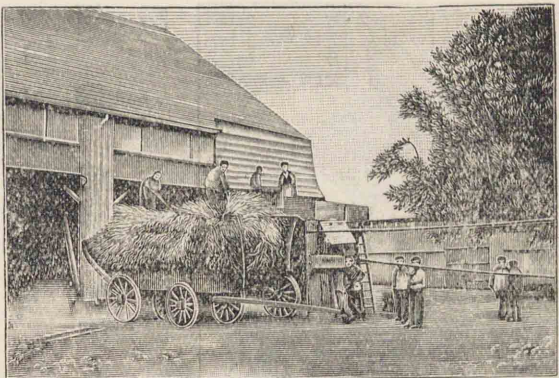
分れる。ユトランド半島は、スカンデナヴィア半島と、スカゲラク・カ
テガト兩海峽を挟み、島嶼は、半島・瑞典間にあつて、ズンド海峽・大帶
水道・小帶水道を通ずる。域内は、波状の低地で、大部は、漂積土で掩
はれる。西岸は、遠淺で沼澤・砂丘が發達し、北に
リーム峽灣がある。
氣 候 海洋の影響を受けて、緯度の割合には
暖かい、併し霧が深いので名高い。

産業 生産地が、無
慮、八割を占め、東部は
高地、西部は牧場が多
い。土地は、肥沃でな
いが、施肥によつて、地
味を補ひ、麥類・甜菜・馬



卵の産も多い
輸出品の大半は畜
産で殊に牛酪が其
の過半を占める
西岸で鱈を漁獲す
る
麥酒の産もある

丁抹の農家



鈴薯・秣を栽培する。酪農が大に進歩し、牛豚の頭数増加と共に、牛酪、乾酪、鹽豚の産額が増加し、且つ品質も優秀で、五分三は英國に輸出される。石炭、鐵水、力絶無の爲、工業は不振で、船舶、陶器、砂糖、煉乳、ブランデーの産のみが著しい。

交通 鐵道と水路(列車)とは、兩々相俟つて、重要交通路をなして

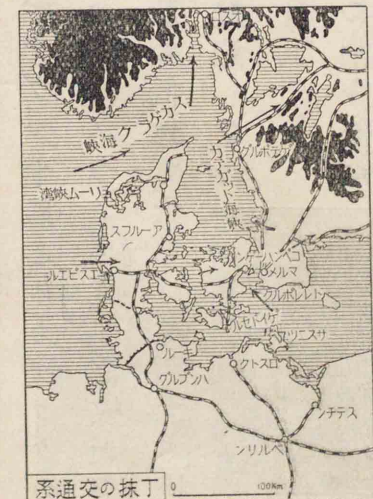
居る。即ち半島の西岸より、東岸の

フレデリクスハーフンを経て、ゲテボ

Catoborg

ルグに至るもの、西岸、又は南部より、

コペンハーゲンを経て、マルメ(典瑞)に



系通交の抹丁

冬季は碎氷船を用ひる

昔はデーン人といはれた

首府の東偏は當時の中央の位置そのままの爲である
大戦後半島南部一帯を獨逸より返還させた日本近海の海底電線を有する

ハゲケンの製陶場(下)氷州の景は熔岩火山の景は熔岩流である
深い大海峡より増え、大船運河の増え、打撃の受けて、此の地である

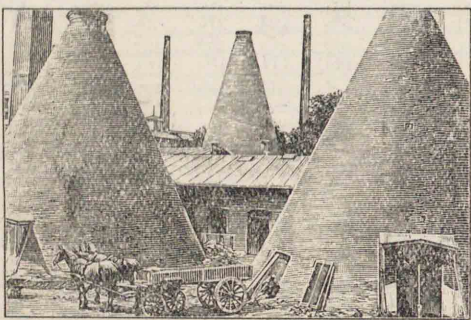
至るもので、英、獨、佛の汽船をも、盛んに利用してゐる。
住民 チュートン族で、新教を奉じ、勤儉力行して、瘠瘦地に、農村自治を發達せしめた。教育の進歩も、歐洲中屈指で、特に農村教育が、完備してゐる。

政治

昔はスカンデナヴィアと、大國を組織して、

北歐に雄飛したが、今は僅に
フェル諸島、綠州に、其の盛時を
偲ばせる。立憲王國で、近時、
徵兵制度を廢し、少數の傭兵
警備隊がある。

處誌 首府コペンハーゲン
は、ジールランド(シヘル)島の東
岸に位し、ズンド海峡を扼し、



アールフス・フレ
デリクス・ハーフン
ウルフブルグ・エ
スピエルグは要津
夏季は遊覽者が多
い

氷州の漁船

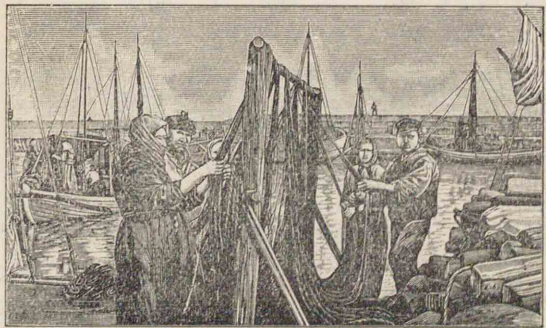
面積 興八萬方
人口 三二八萬 人

古來、商況が盛んで、製陶造船が行はれる。
氷州 大西洋北極圏附近に位し、概ね、雪原、
Ice Land Arctic Circle
氷河に掩はれる火山島で、ヘクラ火山峙ち、
Hekla
泉間歇泉が多い。住民は、諾威人の子孫で、南
部南西部の低地に住み、漁牧に従事する。丁
抹領であつたが、近年(一九一〇年)獨立して、立憲王
國となり、丁抹と君合國を組織してゐる。首
府は、ライキヤウイクである。

第六章

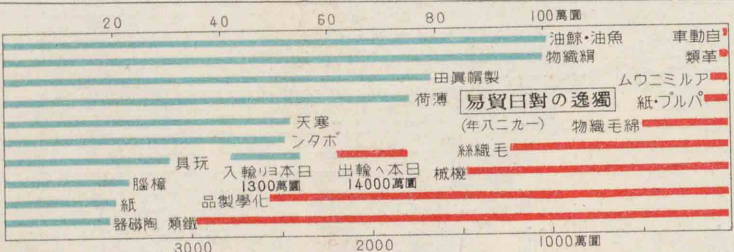
獨逸

概観 歐洲の中央部、即ち最も形勝の地にある。世界の大戦に、
一大蹉跌を來したが、國民の堅實な努力と、經濟同盟とによつて、産
業・國力が急速に恢復し、依然、教育・科學・産業等の先導者である。
日本が關係 我が國は、制度・軍事・學藝等の發達に就て、當國に負ふ



獨逸製品は東洋殊
に支那に於て我が
商品と競争の位置
にある
1 其の後支那に返
還した

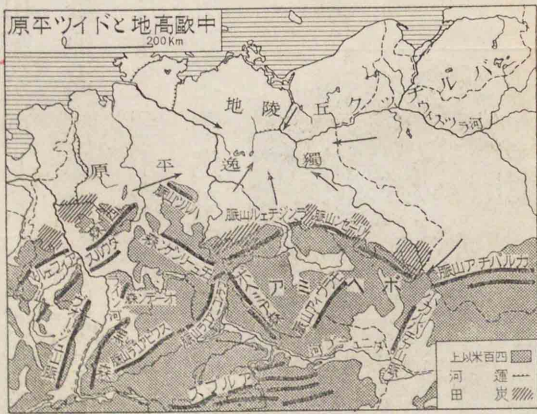
2 臺地もあつて森
林に掩はれてゐる



地勢

北部低地(低獨) 南部高地(高獨)に

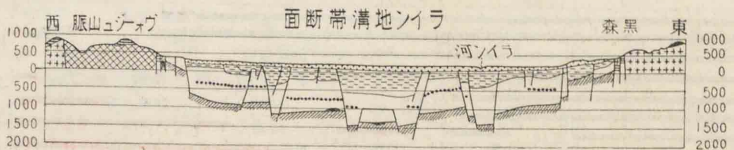
所が多く、貿易も漸次發達して、圖表の如くである。
大正三年、山東半島に於て交戦し、極東根據地の膠州
灣を取つて、山東省の利權を繼承し、又彼の領地の南
洋諸島を委任統治してゐる。今は國交復舊して、我
が大使は伯林に、總領事は
漢堡に駐在してゐる。
境域 中歐の北部に位して、東は
Poland
波蘭南はチェコスロヴァキア・オース
Czechoslovakia
トリア・瑞西は佛蘭西・ルクセンブ
Luxembourg
ルグ白耳義・和蘭と境し、北は、ユトラ
Belgium Nederland
ンド半島で丁抹に接し、又沼澤性の
北海岸瀉湖式のバルチック海岸に、
土地を擴張してゐる。



1 最高峰はツィーグ
スビッツェ(二六六
米)である
2 スワビアユラ
フランコニアユラ
黒森・ボヘミア森
エルツ山脈・スデー
ト山脈
3 チューリッゲン
森・ハルツ山脈・ラ
イン臺地

4 數列の弓狀の丘
陵を生じてゐる

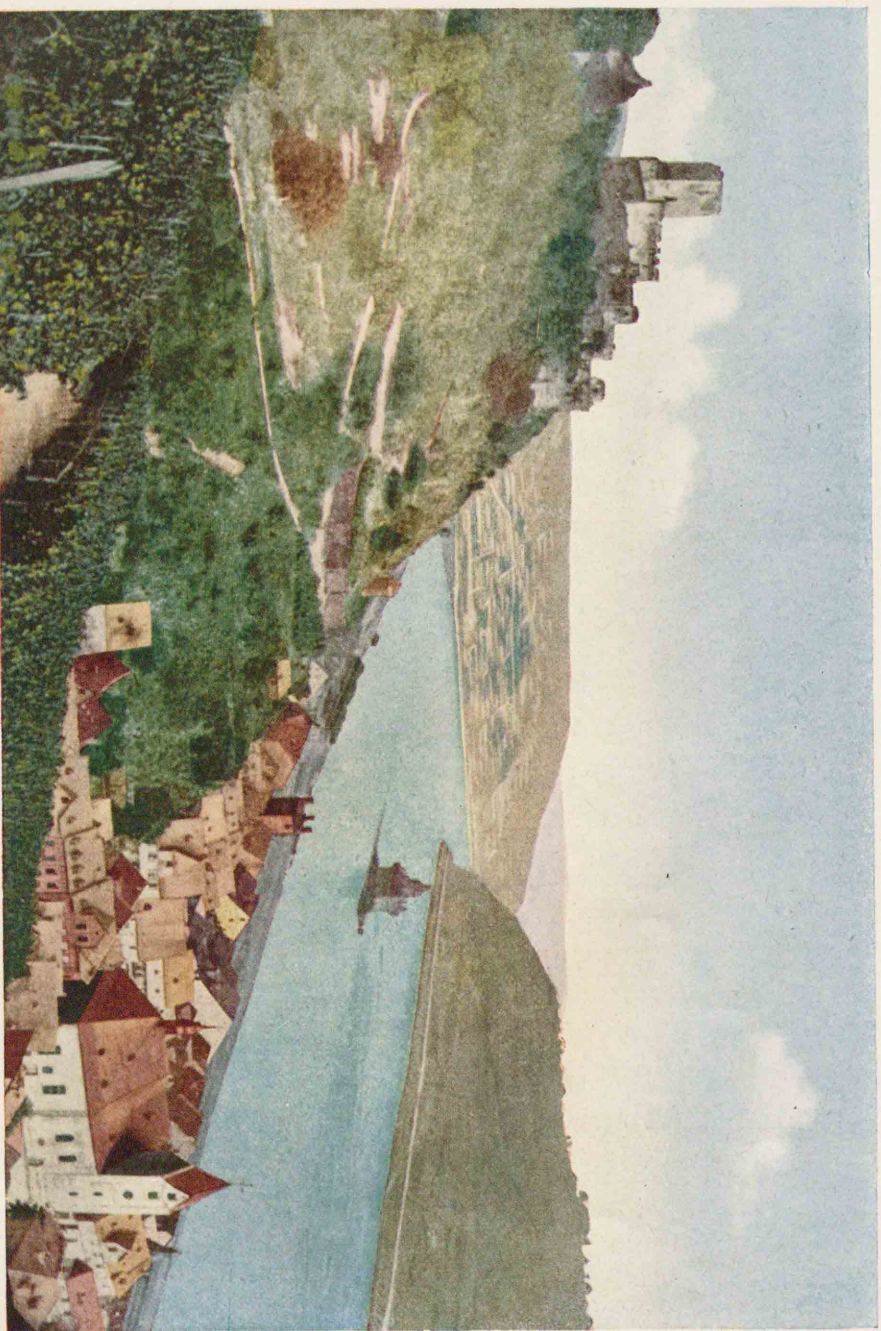
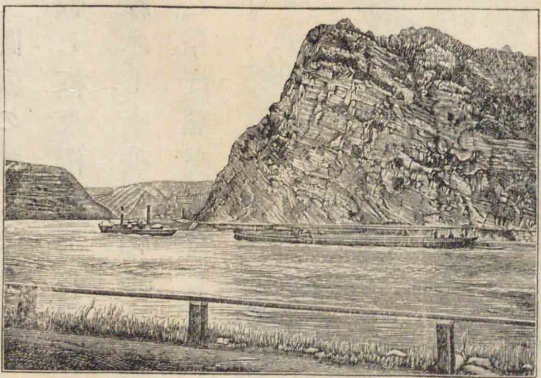
【圖解】 ライン峽流
のローレイの岩
角
ライン・エルベは
汽船を以て千噸の
の水運が之に次
ぐ
獨逸を始め北歐の
河川は舟運上次の
三特徴がある
一、流が緩やかな
二、水量が多い
と



大別する。

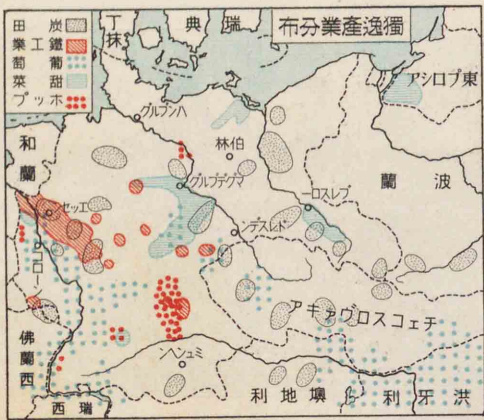
南部高地は、高峻なアルプス山脈が亘り、其の北に、ユラ山脈の餘脈中帶諸山脈がある。臺地・森林・盆地を含みて、中古以來、多くの小國が割據した、今も交通上政治上に、地形の影響が著しい。北部低地は、所謂北獨逸平原で、歐洲大平原の中央を占め、大陸氷河作用の爲、氷成の土砂礫が擴布し、小丘湖沼が列をなし、地味が瘠せてゐる。しかも聯邦中堅の普魯西亞は、こゝに發達した。

河流は、ダニューブ(ドナ)のみは東流し、ライン・エムス・ウエーゼル・エルベ・オーデル等は北流する。何れも支流が多く、運河によりて互に相



々果果紫はに地斜傾の岸兩間るれ漕てしなを谷峽な中塊地ノイラのてまる至にソロコリよツソイナ 谷峽ノイラ
くへす愛に誠光風し見隠てれま包に森の綠青は垣城ぶ徳を村寮の侯諸世中する在點に間の其れま營が園葡萄なるた
るゐてし開展を畫活の額一ら宛

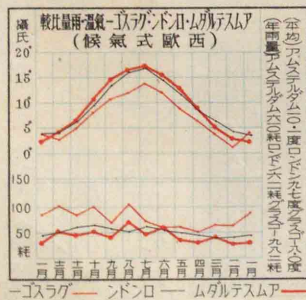
三、水準が略同じに開鑿して連絡し得ること
ダニューブとライプツィヒとを連絡する支流とを連絡するル・ウィヒと河は歐洲横斷水路として知られてゐる
イ・マイン・モゼル・エル・ルーン・河等山脈中に峡谷を作つてゐる
黒森(シュヴァルツワルト)・ヴオルツワルト(シュヴァルツ)・ワルト(シュヴァルト)・ワルト(シュヴァルト)が對稱的である
この地帯的標高が二山脈地帯である
つたが中央山地は、この地帯的標高が二山脈地帯である
つたが中央山地は、この地帯的標高が二山脈地帯である
つたが中央山地は、この地帯的標高が二山脈地帯である
つたが中央山地は、この地帯的標高が二山脈地帯である



連なり、舟運の便が多い、殊にライン河は、父ラインと美稱せられ、中流以下は、本支流共に、當國の大工業地帯を流れ、又他の河川と連絡して、古來重要交通路をなし、且つ地溝帯を緩流して、峡谷に佳景を展開してゐる。

氣候 低地の西半は西歐式氣候東半はバルチック式氣候で、冬期は、河水が凍結する。高地は、緯度が低い爲低地と氣温が大差なく、雨量は、却つて多い。北海沿岸と、ライン河域とは、溫暖である。

産業 耕地は、全土の一半を占めてゐる。平原は、地味氣候が不良であるが、科學應用



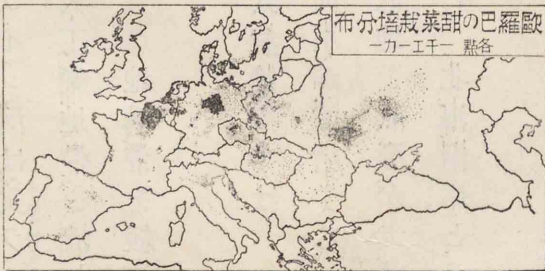
1 耕地の大部分に栽培され、食料の外、酒精原料となる。
 2 主として稈を原料として、黒パンは當國人の常食である。
 3 世界産額の三分一を出す。
 4 ホップの産が多い。

【圖】(上)馬鈴薯畑の收穫 (下) 甜菜畑に働く農婦
 國土の半は農耕地、四分一は森林で、残りの約三分は牧場である。
 農業は主に酒精・澱粉・砂糖・リンネルの原料を産出せんとする傾向がある。
 最近三十年間に豚は激増し、牛は之に反する。



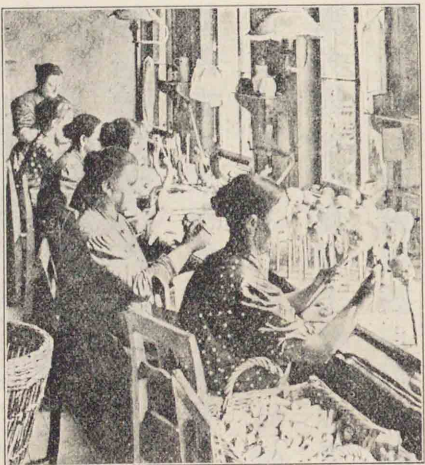
と努力とによりて、高地の盆地と共に馬鈴薯、麥類、甜菜、麻類等を栽培し、殊に甜菜はエルの流域、小麥・ポップ・煙草はバヴァリアの盆地、葡萄酒はライン河谷に主産する。牧畜はエ

ベル流域の豚、中帶山脈の羊を主とし、半島部は酪農が行はれる。林業は世界の模範で、中帶山脈以南に森林があつて、木材を産し、玩具、樂器器具



【圖】(上)獨逸婦人の玩具製造 (下) ホップとホップ摘

尙ほロレーヌ・ルクセンブルグ・瑞典・佛蘭西・西班牙よりも鐵鑛を輸入する。
 1 ルール炭田・シレシア炭田が有名で、何れも中帶山脈の北緯部にある。
 2 水力は多くないが、其の利用率は世界一である。
 3 麥酒は此の國の特色ある飲料で、葡萄酒も産し、陶器の産額も歐洲第一である。



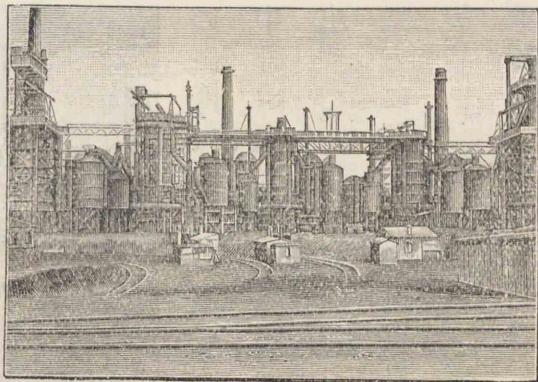
の原料ともなる。鑛工業は、當國の主要産業で、多數の國民が従事してゐる。其



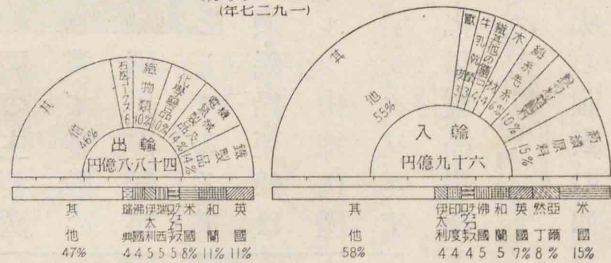
の鑛産は、甚だ豊富で、石炭・鐵・錫・鉛・亞鉛は中帶山脈、岩鹽、加里鹽はエルツ山地に産出する。工業は、ライン流域、サクソニア地方に榮えて、鐵器、刃物、化學製品、絹綿毛織物、圖書、樂器、機械の精製品を多量に出す。貿易は、主にアントワープ(Antwerp)を経て行はれ、重要貿易品と貿易國とは、次の圖表の如くである。

鐵道網の發達は無比である
キール運河は、戦前までは商船が通航しなかつた

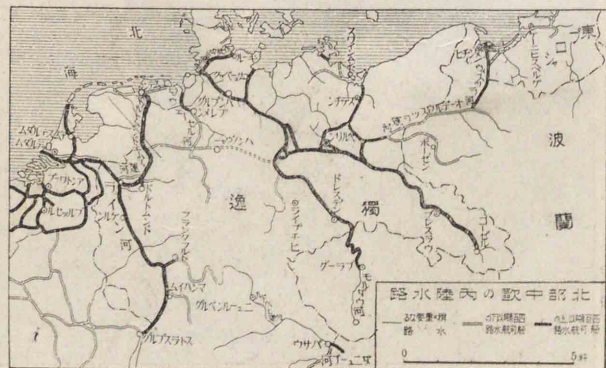
ライン流域の製鐵所(デュッセルドルフ)



獨逸の貿易 (年七二九一)



國內主要都市・隣國大都市に連絡する。河川運河の水運の利は、歐洲各國を凌駕し、又航空事業の發達は、世界に冠絶し、商船噸數も、次第に増加してゐる。



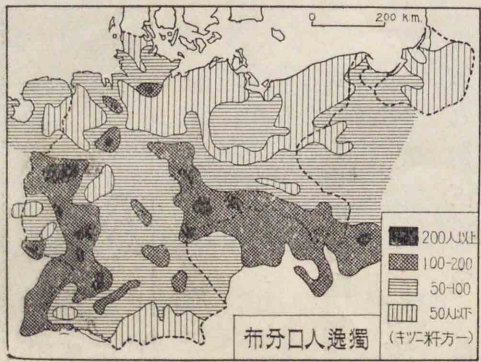
交通 整備した鐵道は、延長約五萬八千軒に及び、柏林を中心として、

新舊兩教徒の割合は二と一である

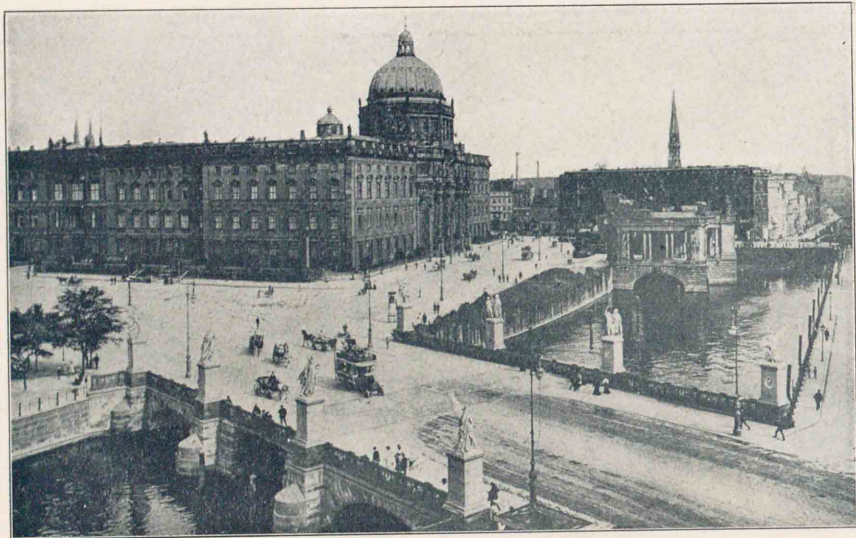
人口密度は我が内地よりも稍、小で兩米に移住するものが多し、密度の大なるはライン流域・サクソニア・シレシアの炭田地方

自由口(土)
自由口(二)
自由口(一)
自由口(三)

住民 大部は、新教徒のチユートン族で、南部西部には、舊教徒が多い。又都市には、猶太人がゐる。人口が急増し、近年、北米・南米に移住する者が多い。獨逸人は、着實剛健で、勤儉・愛國の精神に富み、思想が緻密で、研究心が強い。教育制度が完備し、著名な大學が多い。従つて、碩學が輩出して、世界學術の中心をなし、獨逸語は、實に世界の學術語である。



沿革政治 太古ライン・エルベの流域にあつたチユートン族は、フランク國を建て、後に獨逸佛蘭西に分れ、更に三百餘國に分裂して、ライン同盟を結んだ。十九世紀初に、奧地利を中心とする獨逸聯邦を組織し、普佛戰爭後、獨逸帝國を建て、プロシア國王が、其の皇帝を兼ねた。其の後、教育産業軍備を振興し、植民地(本國面積)を開拓し、又支那の膠州灣を租



(宮王舊)館物博業工林伯

皇は像銅の岸の河庭前の其で宮王舊ふいとるす有を室の餘百は物築建大の方左
の其がたつたと館物博業工來以命革の後戦大 るあて碑念記のムルヘルイウ帝
るめしは伺を端一の神精逸獨に貫るな正端の築建

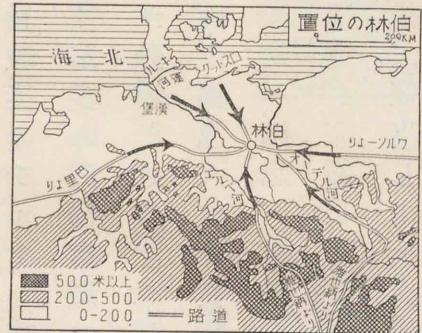
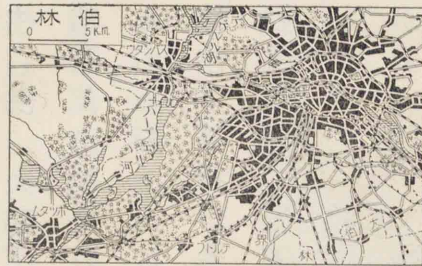


學大林伯

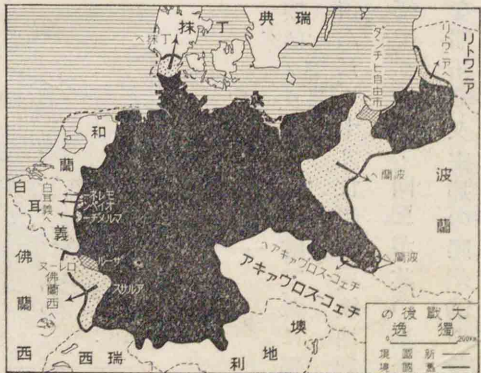
し擁を生學い近に萬一授教の百六め占を位一第の學大の逸獨い多數は學大林伯
す學留りよ國諸てれば著に界世は名の其 る成りよ部學四の哲・醫・法・神て
るあてつたと叢淵一の術學界世く多のもる

大戦の爲極端に國
力が疲弊したが舉
國回復に努力し目
覺しく回復しつゝ
ある

自由國 十
自由國 二
合同國 一
自由市 三



借して山東省の權益を收め、國勢が隆盛であつた。然るに大戦により、本國に於て面積七萬三千方糎、人口七百五十萬と、ザール炭田、上シレシア炭田(部大)、海外に於て植民地全部(萬方糎)を失ひ、ライン河以西(東部)を占領され、尙ほ軍備を制限されて、商船隊の殆ど全部を失ひ、河川運河を國際間に開放して、各國より莫大な償金を課せられた。一九一八年に共和制に變革し、各聯邦も、皆共和國となつた。



行政の首長は大統領で、立法院に二院制の議會がある。
處誌 プロシア自由國 北部平原の大部と、ライン河流域の一部分とを占める。首都

国際河川
 定義
 目的

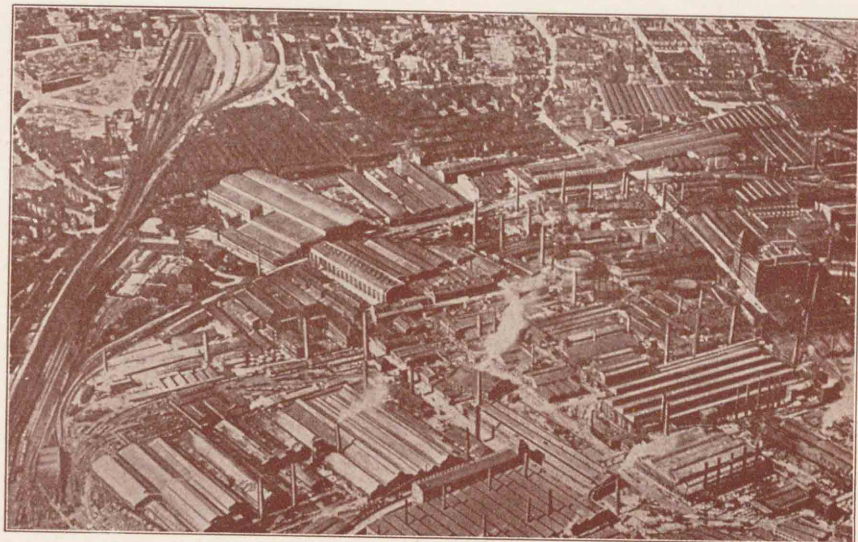
伯林大學は九千餘の學生を收容し世界學術の淵藪といはれる
 1 運河によつてエルベ・オーダー兩河に連なる
 2 特に化學工業が名高い

④ (上) ナウエ
 ン無線電信局(下)
 ステチンの造船所

3 獨逸民族の發祥地
 4 木材・穀物の輸出港

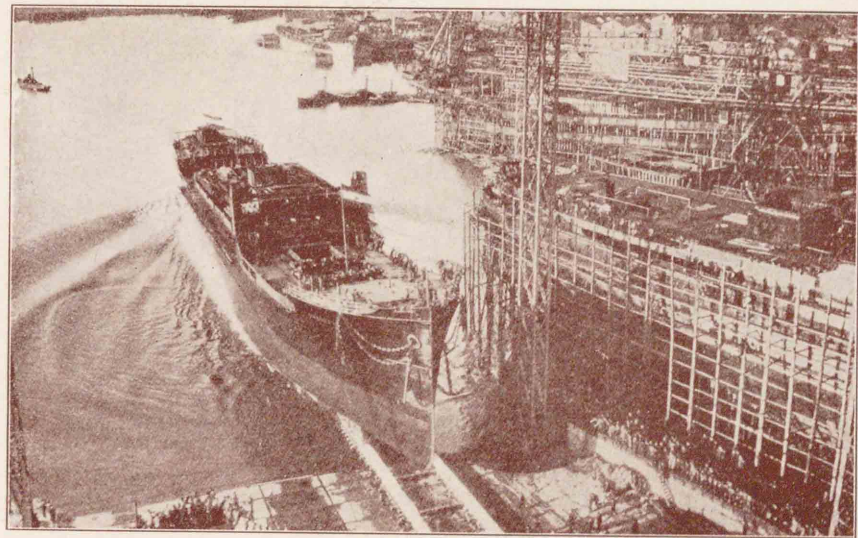
5 炭田の爲工業が勃興したが大戰後大部をポーランドに割讓した

ハレも製糖地



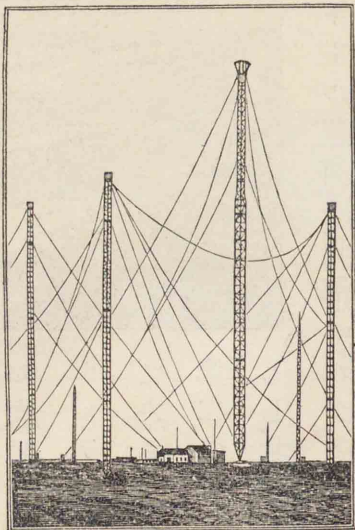
所工鐵プルク

たれら知名の砲プルクで秀に造製の器武はてま戰大で一の所工鐵大の界世
 生を量大の具器・械機製鐵の等具農・車汽は在現てれさ示禁を造製器武後戰大
 ぬは失をるた場工鐵的界世は尙がるゐてし産



所船造のンメーレフ

圖 るゐてし呈を氣活に頼爲ふ行を充補の船船たし失喪に戰大は業船造の逸獨
 るえ見がのもの中造建の數多ばに方右で船物貨の中水進るけ於にンメーレフは

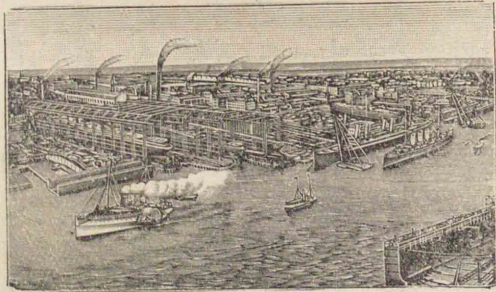


隔てた飛地の東プロシアは、農林業が行はれ、ケ
 ーニヒスベルヒ港がある。オーデル上流地方
 Konigsberg 28
 U. Prussia

のシレシアは、麥畑牧羊場が相連なり、上シレシ
 アに炭田がある。ブレスラウは、農畜産の市場で、
 Breslau 55
 U. Silesia

羊毛工業も盛んである。オーデル河口に近い
 ステチン港は、造船製糖が著しい。エルベ河中
 Stettin 55
 Magdeburg 29
 流のマグデブルグは、南歐に至る要路に當り、製

府伯林は、又獨逸共和國の首都で、
 Berlin 80
 エルベの支流スプレー河に跨り、
 Spree
 街路整然、建築壯麗、交通・商・工業・學
 術の大中心である。ポツダムに
 Potsdam 6
 舊離宮、ナウエンに無線電信局が
 Nauen
 ある。波蘭を

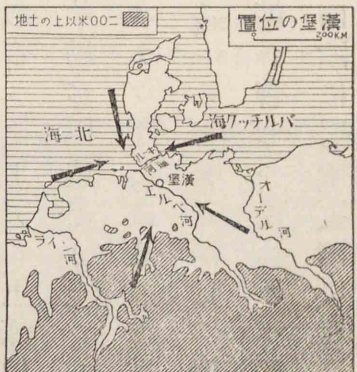
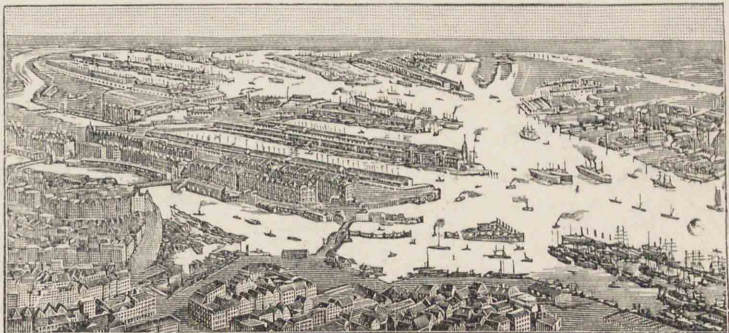


1 岩鹽・加里鹽の大産地
 2 對米貿易が主で大陸諸國の通過貿易も多い漢堡亞米利加汽船會社がある

エルベ河口のクックスハーフェンは漢堡の外港

圖解 漢堡

3 移民出立港として名高い
 リエベックは漢堡・ブレームン如くハンザ同盟以前の自由市であるが地理的位置が劣つて振はない
 北海沿岸のウィルヘルムスハーフェン・エムデンは共に軍港である



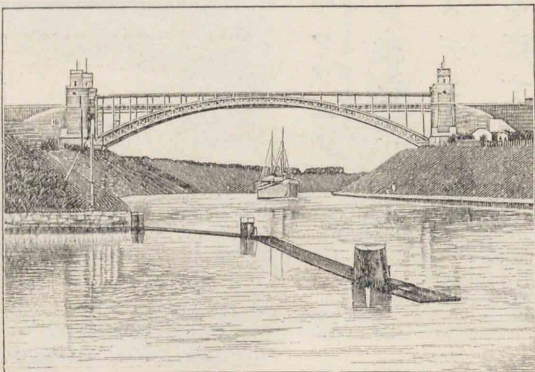
漢堡は自由市の
 一で、エルベ河口より百二十料の上流にある。
 中世より繁華の地で、壯大なる築港に、内外の大船巨船が輻輳し、當國一の商港、チエスロヴァキアの要門で、船舶・麥粉・石鹼の製造も盛んである。ウーゼル下流のブレームンは當國第二の貿易港で、ブレームルハーフェンを外港とし、北獨逸ロイド汽船會社がある。

キール運河は、北海・バルチック海を連絡し、各國商船の通航が多い。キールは、バルチック海に面し、丁抹に渡る要津で、造船所がある。

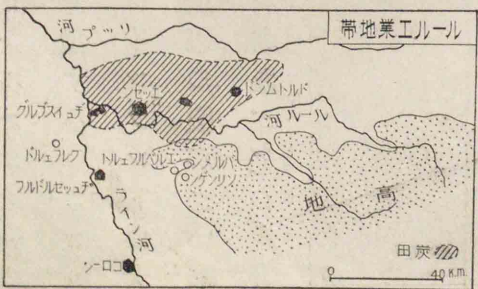
圖解 キール運河

1 ラインの河港ツイスブルクが咽喉

モーゼル河・ライン河會合點のコブレントスは交通上、軍事上の要地である



が盛んである。エッセンは、クルップ大鐵工所の所在地で、製鐵機械製造を以て名高く、デュッセルドルフ〔大河〕、ドルトムントは、鐵器を産し、ゾーリゲンは、刃物を出す。クレフエルトは、絹織物を産

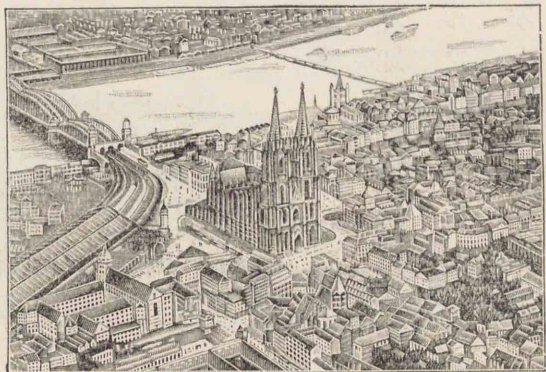


1 古の羅馬の都の
 一で市名はコロ
 1を意味する香
 水コロレットの
 特産があり・洋航
 船の週江し來るも
 のがある

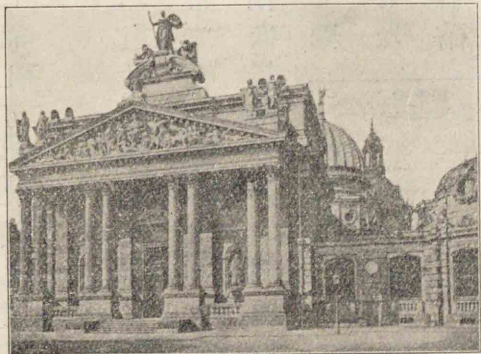
圖解 (上) コロン
 (下) ドレスデンの
 美術館

チエコスロヴァキ
 アとの境界にある
 エルツ(鐵物の意)
 山脈はボヘミア盆
 地に斷層崖をなし
 獨逸側に緩傾斜を
 なしてゐる

サクソニア自由國 エルベの上流地方で、石
 炭・鐵を産し、工業が盛んである。首府ドレ
 スデンは、風光秀麗な美術都で、附近に、漆器
 を産する。ライプチヒは、印刷・出版・ピアノ
 の産する。



し姉妹市エルベルフルド・バルメンは、染料
 用の化學製品、各種織物を産する。首府ド
 (ケル)は、獨逸第三の都會、ラインランドの大
 中心、重要な河港で、また鐵道の便がよい、織
 物・硝子・化學製品を産し、有名なゴシック式寺
 院がある。首府ド
 クフルトは、マイン
 河に臨み、製糖が盛
 んである。



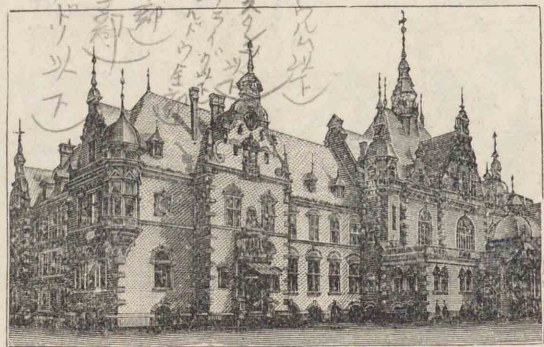
マイッセンは硝子・
 陶器を産し、ドレス
 デン陶器は有名で
 ある

圖解 (上) ライプ
 チヒの書肆(下) ミ
 ュンヘンの麥酒バ
 ー

マイッセン(ヘッセ
 國)はコフレンツ・
 コロンと共に獨佛
 通路の要地である
 渡河點である
 ダニューブ・マイ
 ンは運河で連絡さ
 せて北海・黒海を
 通ずる

1 美術の中心を
 なし又有名な大
 學がある

ウルムはダニユー
 ブ通航の終點であ
 る

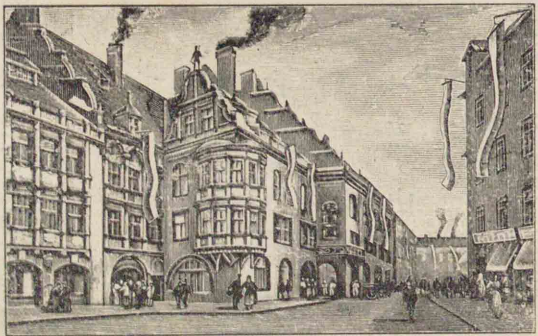


ヘンは交通の要點で、水力利用の下に、機關車
 自轉車麥酒を産出して、近年急速に發達した。
 名高い大學がある。ニールンベルヒは鉛筆
 玩具樂器を製造する。

製造が盛んで、名高い大學がある。ケムニツ
 ツ・ツウイカウは、織物業の中心である。

チューリンゲン合同國 首府ワイマルは、獨逸
 共和國憲法の制定地として有名である。

バヴァリア自由國 アル
 プス・ユラ兩山脈間に
 あつて、ダニユーブ・マイ
 ン兩河流域の高原盆
 地にある。首府ミューン



國際河川
 (目的) (航線)
 ダニユーブ
 ライン
 こんぼん
 オール
 ライン
 ライン
 ナイロ
 ナイロ
 ナイロ

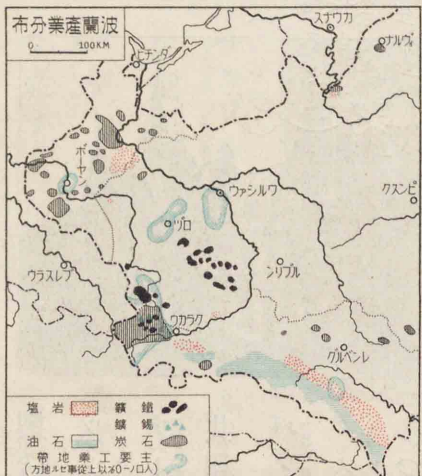
ウエルテンベルヒ民國 首府スツットガルトは、交通の要地で、ピアノ織物を産する。

第七章 波蘭附ダンチヒ

概観 日本が關係 農業本位の平原國、露獨間の緩衝地帯で、東西に、好箇の自然的國境がない爲防備上不利である。我が國の通商國で、ワルソーに日本公使館がある。

地文 南境に、カルパチア山脈がある。ウイストラ河は、中央を流れ、ナスボ河(オーデル)と共に、豊沃な平野を灌漑し、又水運の便を與へる。大陸性氣候であるが、西風が、冬寒を和げる。

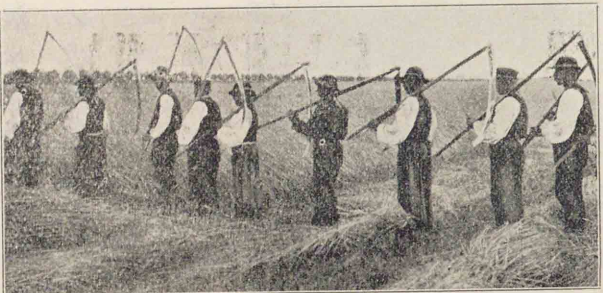
産業 麥類、馬鈴薯、甜菜、亞麻を産し、羊、馬の飼養が盛んで、豚肉、牛酪、鶏卵を



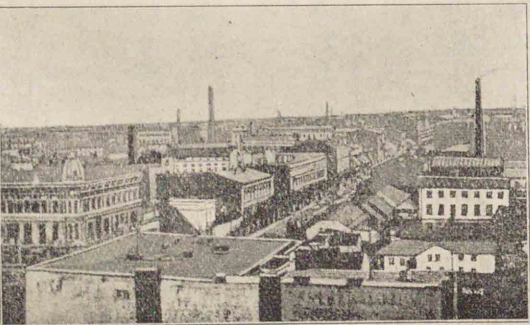
面積 三萬方軒
人口 二七〇萬人
ポーランドはポーランド人の國の義で、ポーランドは平原を意味する。
露西亞平原より北、獨逸平原に至る漸移地帯を占める。
1 歐洲大平原の一部

1 上シレシア
2 カルパチア山地に多い
貿易は主に獨逸との間に行はれる

3 ウイストラの流域に多く、東プロシヤと獨逸との兩獨逸人間を貫いてバルチック海に達する。この分布状態を波蘭廊下と呼ぶ。
4 經濟上の實權を握るものが多い。
5 波蘭(上)の農夫(下)ワルソー



年前に起つた波蘭王國は、一時強大であつたが、其の後、露獨の三國に



産する。南部の山地は、木材を産し、臺地は、石炭、鐵、亞鉛、石油、岩鹽を出して、製鐵冶金が行はれる。工業は、右の外、ロツの綿紡織が著しい。波蘭人は、産業に不熱心で、貿易の如きも振はない。

住民政治 ポール人(ウ族)

が七割を占め、露獨人も少くない。又都市には猶太人が多

い。九百

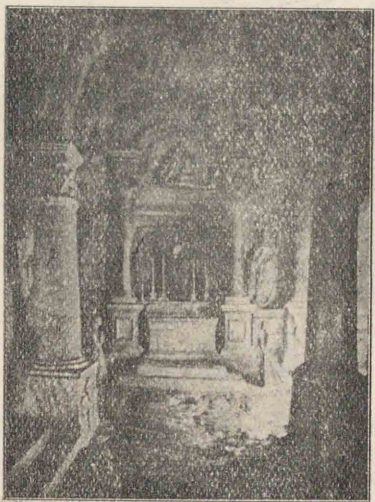
5 約三年前

1 農産取引の中心をなし製糖・醸造も盛んである
 ルウオウは森林地方の中心で木材・紙の集散地
 2 岩層層の厚さ巴〇米地下に岩鹽都市がある

3 波蘭廊下の北端に當り獨逸人が多く自由市で波蘭人は自由に港を使用し得る
 面積 1000万平方
 人口 1元萬軒
 圖説 ウイリツカの岩鹽坑内にある鹽層を彫刻した祭壇

分割され、以來壓制に苦しんだが、世界大戰後獨立して共和國となつた。

處誌 首府ワルソー(ワル)は、ウイストラ河に跨り、鐵道の交叉點に當り、露國・西歐の物産の伸繼をする。ロヅは綿紡織が榮え、ポーゼンは、農産物を集散し、製糖を行ふ。要塞地クラコー(カウ)は、舊波蘭の古都、ガリシア地方の中心市場である。附近のウイリツカは、岩鹽を産する。
 Galicia
 Luow(Lemberg) 21
 至る要路に當り、木材、紙を産する。



ダンチヒ ウイストラ河口に近い。
 世界大戰後、獨逸より分離し、國際聯盟保護の下に、自由市となり、金融業、造船業が榮え、波蘭の海口である。英國に、木材、穀物を輸出する。

面積 一四萬平方
 人口 二六萬軒

1 波ヘミア・ア森・エ
 ルツ山脈・リーゼ
 ン山脈・ステード
 山脈・モラヴィア丘
 陵地

2 弓形の新褶曲山地でアルプスとの連絡點にカルパチア門の峽路がある
 主に農業はスロヴァク人商工業はチエク人工業は獨逸人が營む
 甜菜糖の産額は獨逸に次ぎ大部を英國に輸出する

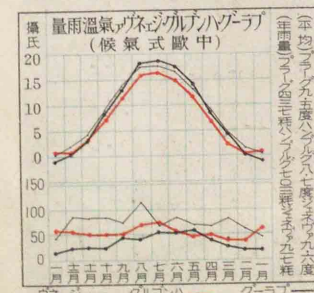
第八章

致須

チエコスロヴァキア
 Czechoslovakia

概観 日本が關係 東西に細長い内陸國で、中歐南北通路の要衝に當り、中歐新興國中、最も進歩してゐる。我が公使は、プラゲに駐在してゐるが、彼我の貿易は、まだ振はない。

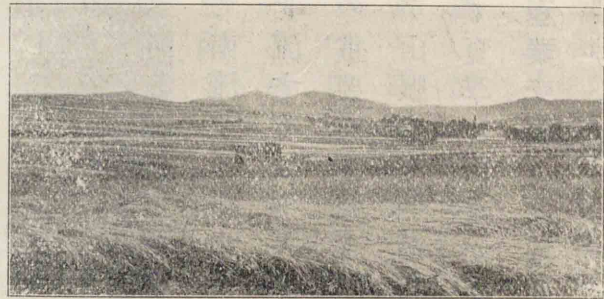
地文 西部は、ボヘミア盆地で、四周の山地より下る諸水は、エルベ河となり、エルベ門を開いて獨逸に入る。中部は、モラヴィアの地で、南流する諸水は、ダニューブの流に合して、ウイーン盆地を灌漑する。北流するは、オーデル河で、モラヴィア門を出て獨逸に入り、古來、南北の重要交通路を開いてゐる。東部は、カルパチア山脈の内側面で、平地が少ない。大陸性氣候で、夏季は雨量が多い。
 Bohemia
 Moravia
 Wien
 産業交通 盆地は、地味が肥沃で、麥、甜菜、馬鈴薯、ホップを産し、モラヴィアの河谷は、甜菜を産する。



西部山地はラヂウムを産する

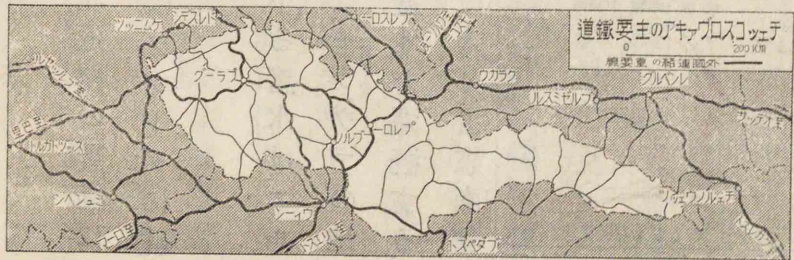
④ ⑤ ボヘミア盆地の耕地

① プラトグ附近にしてゐるサクソニアとの境界附近は獨逸人が多くて工業に従事する
② 水力の義
③ 此の國の特産で硝子硝子器具が有名パーゼル附近産の陶器も名高い



鐵石炭、カルパチア山地は鐵・銅・亞鉛を産する。石炭、白炭を動力とし、鉄鐵・鋼鐵・鐵器・砂糖・織物・硝子・麥酒の工業が行はれる。當國は三個の國際河即ちエ

山地は、模範林があつて、木材を供給し、パルプの産出も亦多い。盆地は



獨逸の漢堡・ステチンの一部を租借して貿易にあてゝゐる

① ② ダニユープ河岸はマジヤル人が多いが河の水運を得る爲カルパチア門のプラチスラヴァ附近を得た

③ ④ ⑤ カルルスバードの温泉場

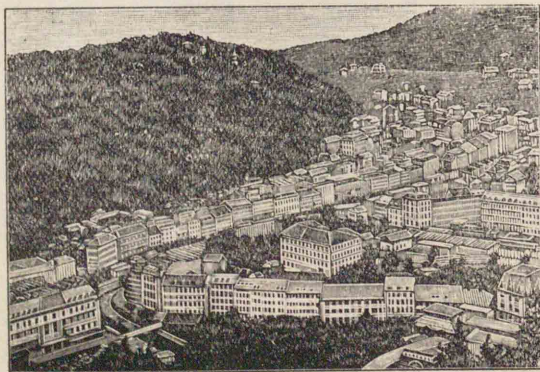
⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑳ 附近は鐵・石炭を産する

ルベ〔支流モルダウ〕・オーデル・ダニユープにより、夫々北海・バルチック海・黒海に達せられる。鐵道は稍發達し、隣國の主要都市と連絡してゐる。
住民 大部は舊教徒の西斯拉ヴ族で、其のチエク人は中央以西、スロヴアク人は中央以東、ルテン人は東端に多く、又獨逸人は盆地の四周に住む。教育は、何れも普及してゐる。

沿革 チエク人は、昔のボヘミア國建設者で、後壞地利に屬し、スロヴアク人は、洪牙利に屬し、兩族とも、長く異種族の迫害を受けたが、大戰後、民族自決主義に従ひて、一個の獨立共和國を組織した。

處誌 盆地中央の首府プラトグは、モルダウ河に跨り學術・交通・商工の要地である。カルルスバードは、有名な温泉地で、硝子・磁器を製造する。プルゼン(ゼン)は麥酒、ブリュ



ン(ブル)は毛織物、ダニユーブの河港ブラチスラヴァ(ブルグ)は穀物の市場である。
(Brno) 22 Bratslava (Pressburg) 9

面積 八萬方
人口 六〇〇萬人

二地理區(東アルプス山地、ウィーン盆地)

平地が狭小で穀産が不足し食料品の輸入は全輸入の三分一

一アルプス斜面の牧牛が主で當國重要物産の酪製品を産する
二クラウンフルト
三ザルツブルグ工業は小規模のものが多い

第九章

奥地利

概観日本との關係 純獨逸系の内陸國で、鑛林産が資源である。我が公使は維也納にゐるが、彼我の貿易は振はない。

地文 大部は高峻な東アルプス山地で、其の戴く氷河雪原は、夏季、美林幽谷の間に湧出で、牧場保養地を作る。ダニユーブ河は、北東部のウィーン盆地を灌漑してゐる。氣候は大陸性であるが、雨量が多い。

産業・交通 密林が互りて、木材・パルプ・木工品を産する。農牧稍榮え、鑛産に、鐵・岩鹽がある。原料を輸入して、水力利用の下に、絹綿の織物を産する。

沿革 奥地利は、嘗て獨逸聯邦の盟主となり、北伊太利も占領したが、プロシアに敗れ



街市納也維

の俗風くなのもふ並麗壯の街市は前戦大りあに地斜傾陵丘の岸右のブーニダ國敗戦び愚を影面の其みにに物築建は今爲の弊疫の後戦がだい次に里巴亦麗華るあで場廣いし美のンアリミシキマは圖るむしぜ感を衷悲の



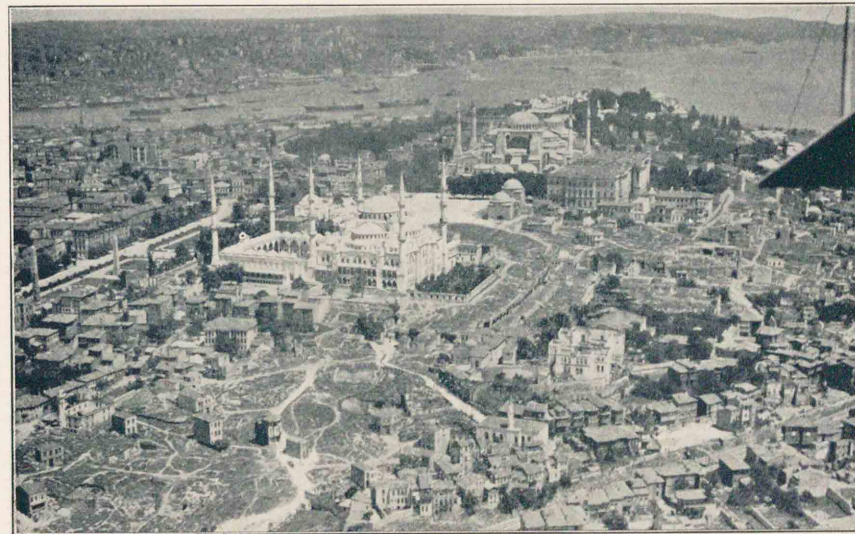
河ブーニダ

變の多幾てしと路通交大の歐中來古料千三に正路流き注に海黒てし源發に逸獨原平アィヴルセルす流曲と々態は圖るゐてれ流に久永てめ秘に底河を跡の遷るあでのもるけ於に部一の



物築建古の典雅

いなく少が物築建な大壯るめしは偲を代時臘希古てつ繞を丘のスリホロクア
址廢の一の院寺大最の代古たつ祭を神のスウゼのアピリオで一の其亦も眞寫
る得し像想をかるな大壯に何如てし較比と物人がるあて

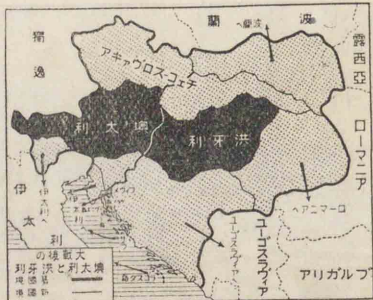


ルーブントスタ見りよ機行飛

上左眞寫 るあてめ占を地要の上外交・易貿・通交ち立に點觸接の洋西・洋東
多の千一ルーブントスタはき遠殿宮はき近の物築建大二の央中で灣角金は江入の
るあて寺アィフソトンセな美佳大壯も最中院寺の數

當國は舊帝國領土
を經由してアドリ
ア海に出る鐵道通
過の自由を有する
1 塊地利・洪牙利・
致須・波蘭・セルブ
クロアトスロヴェ
ニア・羅馬尼亞・伊
太利
古來關係の深い隣
接國獨逸との合同
も未だなし得ない
2 ダニユーブ河國
際委員會所在地

④ ウィーンの
國會議事堂
3 特に陶器が名産

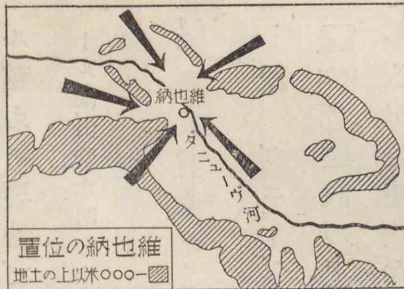


處誌

首府維也納

て同盟を脱退し、洪牙利と君合國を組織して歐洲強國に列し
たが數多の民族を包括した爲、世界大戰の結果遂に七箇國に
分裂して、新塊地利は、面積人口共に舊帝國の約八分一の聯邦
共和國となり、重要産業地が減少し且つ内陸國となつて國力
恢復が困難である。

ナンは、ダニユーブ河と鐵道
との便により、洪牙利平
原獨逸の貨物を集散す
る。織物・工藝品・皮革を産
し、市街が莊麗で、有名な
大學博物館がある。リ
ッツは、毛織物を産する。



置位の納也維
地上の上以米〇〇〇一



1 此の附近の谷地をチロル(トレンチノ)といひ其の中心である

面積 九萬方人
人口 八〇〇萬人

2 カルパチア・デナルアルプス兩山脈間
3 バラトン湖も灌溉する
4 主部はタイス河の流域

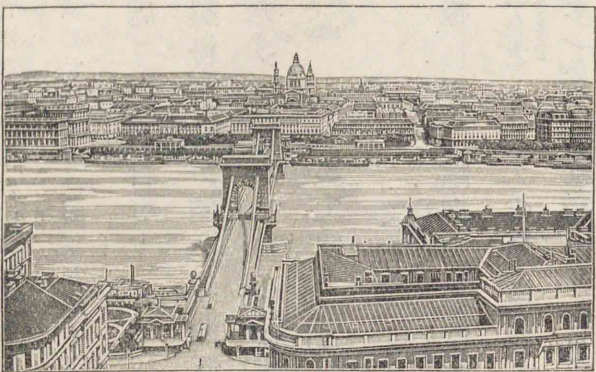


第十章 洪牙利
ハンガリー(ホンガリー) Hungary

1 インスブルックは、ブレンネル越えの要地である。
Innsbruck
2 リヒテンシュタイン 西奥地利チロルは、山紫水明の佳境で、其の西方に此の小侯國がある。
Lichtenstein Throl

概観 ダニューブ中流の内陸國で、マジヤル族〔亞細亞〕建設の王國である。我が條約國であるが、公使駐在せず、貿易も振はない。地文 廣大な洪牙利平原の北部を占め、ダニューブ河は、支流タイス・ドレーヴ(ウラ)と共に、之を灌溉する。カルパチアの餘脈が斜走して、國土を狭い西部と、廣い東部とに分けてゐる。氣候は、大陸性である。産業交通 少雨の結果東部は、ブスタ(地)を

1 牛・馬・豚・羊・雞で穀物・麥粉と共に重要輸出品
2 夏熱高き爲歐洲首位の産額
3 鐵産が少ないので工業は振はない
3 長く歐羅巴人種の間に住んで言語風俗以外は歐化し歐洲に於ける亞細亞人種中最も進歩してゐる
4 (上) アダヨリベストを望む(下) マジヤル族日曜日の晴衣を着けた青年
住民は貧困者が多い



生じ、飼牧・酪農が盛んである。近年、開拓が進んで、西部と共に、玉蜀黍・小麥・煙草・甜菜・葡萄を産し、主な輸出品である。工業は、麥粉・砂糖・煙草及び葡萄酒等の産出があるが、概ね振はない。

住民政治



マジヤル族〔舊教〕の外に、西部にチュートン族〔新教〕がある。て、宗教言語を異にするが、風習は、殆ど同様である。教育は、一般に振はない。
沿革 マジヤル族は、九世紀末に王國を建て、其の後、土耳其や奥地利に屬し、一八六七年王國を復興し、奥地利と君

大戦の際一時共和制を布いた

合國を組織したが、世界大戦後悉く異民族の地を失ひ、面積人口共に舊王國の三分一に減じた。實際は國王がなくて選舉された攝政が政治を掌つてゐる。
處誌 首府ブダペストは、ダニューブ河に跨り、交通・商工の中心で、製粉・屠獸が榮え、最近、温泉が湧出して一層賑しい。東部のデブレチェンは、馬市で名高い。

第十一章 巴爾幹諸國

一、總説

概観 歐洲南東の大半島と大陸の一部とで、狭い水道を挟んでアナトリア半島に對し、古來歐亞の橋梁である。地形複雑住居雑多で、屢、戦亂紛争が起つたが、大戦後、國土の分合が行はれた。但し所謂近東問題の解決は、尙ほ完全であるまい。

日本との關係 我が國は、希臘、ブルガリア、セルブクロアトスロヴェニア、土耳其、ローマニアと通商條約を締結して、大使をスタンブール

面積 四百萬方料
人口 四〇〇萬人
1 森の義

2 ダルダネルス海峡・マルモラ海・ボスボラス海峡
西歐人は極東に對して此の地方を近東と呼ぶ
巴爾幹半島はフィウメ灣頭よりセーヴ河ダニューブ河に沿うて黒海に至る線以南の地をいふ

公使をアゼンス・ブカレストに駐在させ、大戦後は、土耳其を始め、政治・經濟關係が緊密になつた。

二、地文

境域 北は、自然の境界が乏しいが、其の他は、黒海・多島海・イオニア海・アドリア海に臨み、セルブクロアトスロヴェニア（ユーゴスラヴィア）・ローマニア・ブルガリア・歐羅巴土耳其・希臘・アルバニアの六部がある。

地勢 山地で、到る所に小盆地がある。



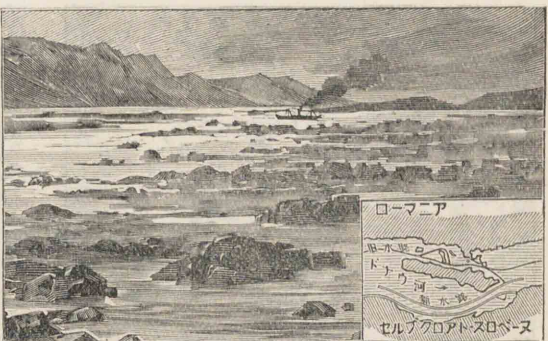
ユーゴスラヴィア（ユーゴスラヴィア）
ラヴニア（ユーゴスラヴィア）
ローマニア



1 政治上は露・波・チ・洪・埃・伊に隣する地理上は略、ダニューブ河及び其の支流セーヴ（サウ）河を以て境としローマニアは其の漸移地帯となる
2 トラシルヴァニアアルプスと其の森林

- 1 運河を設けて航行を便利にした
- 2 クリト島・キクラデス諸島を経て小亞細亞のタウルス山脈に連なる
- 3 鐵門の峽
- 4 タイス・ドレヴ・セーヴ・ブルトの諸河
- 5 エーゲ海・マルモラ海は陥落で出来た
- 6 夏季は高温少雨で時に旱魃を招き冬季は溫和多雨

- 7 馬は少ない
- 8 オリーブ・無花果・葡萄・杏を産し



氣候で、雨量は、南西部より北東に向つて漸減する。

三、人文

産業 北部は農、南部は牧を主業とし、北部平原は小麦・玉蜀黍、中部以南は煙草・生絲、西岸は地中海式果實を産する。北部山地は、木

北部には、カルパチア(南)トランシルヴァニア(Transylvanian Alps)ルプス・巴爾幹の三山脈が、乙字形に連なる。ダニューブは、之を横ぎり、鐵門の急湍をなしてゐる。アドリア海岸のジナルアルプス山脈は、ピンドス山脈・モレア半島となり、其の東側の臺地は、半島の骨格である。ダニューブ河系の流域は、廣く、モラヴァ(ドナウ)の支流、ヴァルダル・マリツァの諸河谷は狭い。何れも交通路を開いてゐる。

氣候 南西岸一帯は地中海式、内地は大陸

一部は乾果・ジャムとする

圖解 (上)セルブクロアトスロヴェニア南部山地の牧畜(下)ブルガリア人



本地方との貨物運送に、多大の利便を與へる。其の支流タイス・プルト(河國際)も、各水運の便がある。鐵道は、近東直通鐵道(行線方急)の外、獨波露諸國の大都市より來り、スタンブ



北東部に露西亞人
北西部にマジヤル
族が住み各地に猶
太人・獨逸人がゐ
る

【圖解】 スタンプ
ールの回教徒(音樂
に合せ踊りながら
祈をしてゐる)

スタンプールは近
世の世界政局を動
かした



ール・デデアガチ(國際)サロニキと連絡する。
住 民 位置は人類の移動に、地勢は民族の
割據に適する故住民は、雜多である。
割據に適應する故住民は、雜多である。
割據に適應する故住民は、雜多である。
割據に適應する故住民は、雜多である。
割據に適應する故住民は、雜多である。
割據に適應する故住民は、雜多である。
割據に適應する故住民は、雜多である。
割據に適應する故住民は、雜多である。
割據に適應する故住民は、雜多である。
割據に適應する故住民は、雜多である。

り、長く異種族異教徒の壓迫に苦しんだ諸民族は、土耳其の衰微に乗じて、數箇の小國を
建てた。其の後半島は、久しく歐洲の禍根となり、世界大戰も、實に其の端を此處に發した。

面積 二五萬方軒
人口 一〇〇萬人

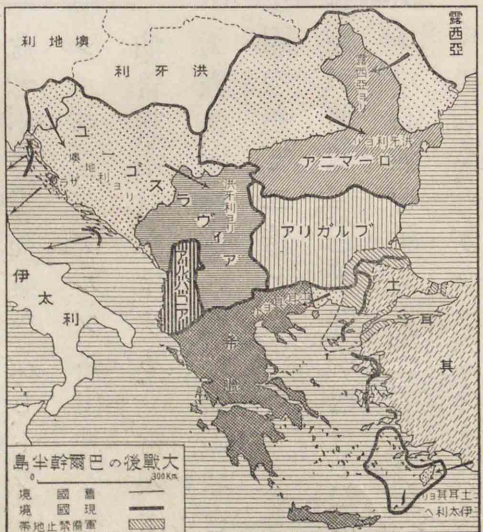
- 1 石灰岩の荒地で産業が振はない
 - 2 伊太利人が多く伊領の所もある
 - 3 戦前は奥洪國に統治されてゐた大戦前モンテネグロ人のモンテネグロ國があつたが大戦後合同した
 - 4 舊セルヴィアの首府バルカン縦貫路の要地
- チエチニエは舊モンテネグロの首府

現在の國境は、略々民族本位であるが、内に政争、外に干渉があつて、餘炎がまだ消えない。

四 處 誌

セルブクロアトスロヴェーヌ (南スラヴ系)
Serb-Croat-Slovene (Yugo-Slavia, Jugo-Slavia)

内地は、ダニエーブ本支の流域以外は臺地である。アドリア海岸のデナルアルプス山脈は、カルスト地形を呈し、ダルマチア海岸は、屈曲島嶼が多いが、背後との連絡が好くない。北部の平野は、小麦、主蜀黍、煙草、豚を産する。セルヴィア人、クロアト人、スロヴェーヌ人は、大戦後同族の地を併合し、セルヴィア王家の下に、一大王國を建てた。
首府ベルグラードは、ダニエーブ・セイヴ(サウ)兩河の會點に位し、近東直通鐵道に沿ひ、巴爾幹の鍵といはれる。サライェヴォは、ボスニアの



1 一九〇四年六月三日
埃洪國皇太子同妃
はセルヴィアの一
青年に暗殺された

面積 二四萬方
人口 二四〇萬

2 トランシルヴァ
ニア・ブコヴィナ
3 ベッサラヴィア・
モルダヴィア・ワラ
キア・ドブルジャ

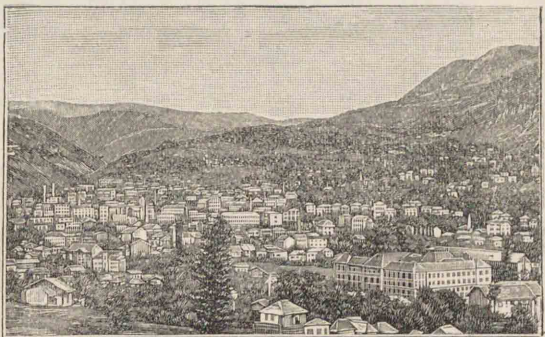
4 特にワラキア産
が有名
トランシルヴァニ
ア山地は平原に出
る所にロトツル
ム(赤塔)峠がある
カルパチア山麓に
も石油・岩鹽を産
する

季節により臺地・
平野を移動して牧
畜する
少數の獨逸人・猶
太人・マジヤル人
がある

内政整理後は歐の
主要國となるであ
る

5 面積 一四萬方
人口 五〇萬

1 マリツァ河の上
流と支流との流域
2 スレス地方と
いひ後に希臘に割
かれた
3 中歐・近東間の
近道はベルグラ
ド・ツファイア・マリ
ツァ河谷・アドリ
アノブル・スタン
ブールで今は近東
鐵道が通じてゐる



中心都市で、世界大戰の起因地
である。

羅馬ニア ダニューブ・ドニエス
トルの兩河間に位し、二臺地²・四
平原を含む。平原は、歐洲の穀
倉で、小麥玉蜀黍を産し、トラン
シルヴァニアアルプス山地は、石
油岩鹽・木材を産する。當國は、
大戰後、埃洪露の同民族の地を

併合し、面積・人口、舊王國の殆ど二倍となつた。

首府ブカレストは、建築が華麗で、巴爾幹の巴里と稱
へられる。プロエスチは、石油を産し、グステンジャ(コ
ツァン)は、之と穀物とを輸出する。ガラツ・ブライラは、

主要河港で、
農産物を集
散する。

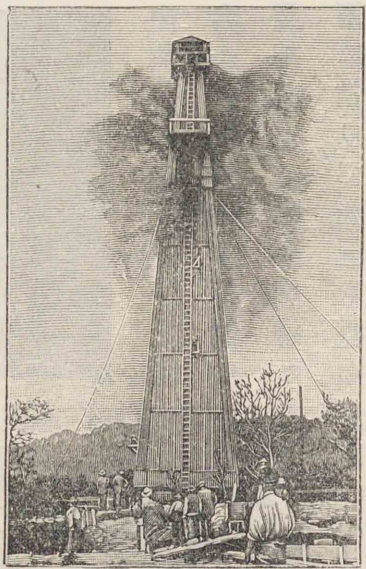
勃ガリア 北
境にダニュー
ブ河中央に

主要河港で、
農産物を集
散する。

勃ガリア 北
境にダニュー
ブ河中央に

主要河港で、
農産物を集
散する。

勃ガリア 北
境にダニュー
ブ河中央に

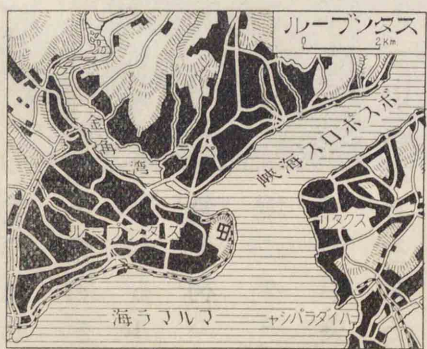


巴爾幹山脈南部にロドッパ山脈がある。ダニュー
ブ流域は小麥玉蜀黍、東ルメリアは小麥・葡萄
煙草・薔薇油を産する。當國は、曩に土耳其を破
つて領土を擴張し、更にエーゲ海岸地方をも占
有したが、巴爾幹戰爭及び世界大戰で、多くの領土を削られた。
首府ソフィアは、西方の盆地に位し、交通の要地である。ヴァルナは、黒
海岸の商港で、小麥を輸出する。

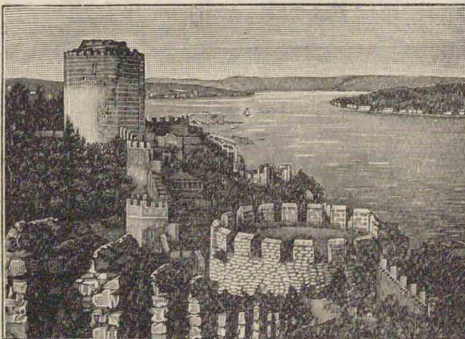
面積 二萬方人
人口 二〇〇萬
1 大戦後帝政を廢した大戦の爲スタンプール附近のとなつたが希臘と戦つてマリツァ河以東を回復した
2 多島海の數島ブルガリア及び希臘の國境
3 羊毛・敷物を集散する
4 近東鐵道に連絡してスクタリ附近よりバグダード鐵道が起つてゐる



り、對岸のスクタリをも含んで、黒海・地中海間の要地を占め、歐亞交通の衝に當りて、商況も盛ん

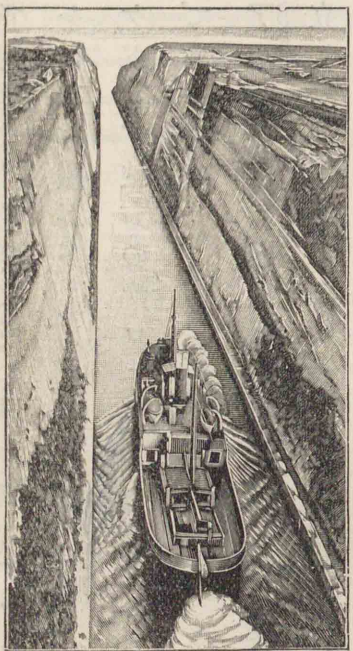


歐羅巴土耳其 マリツァ河以東の小地域で、小亞細亞との間の狭水道は、各國の軍艦・商船・航空機に開放せられ、其の他の地方と共に、軍備禁止區域である。
ボスボロス海峽岸のスタンプール(コンチノブル)は、金角灣が深く入



1 紀元三〇年

面積 三萬方人
人口 六〇〇萬
2 大理石を出す
3 運河がある
4 エーゲ海の島は殆ど希臘に屬する
5 アレクサンドリア・カイロに送る
6 海上生活者が多く貿易商として地中海諸港・西歐都市に住む者が多い
河 コリント運河
希臘人は多くスミルナに住んで勢力を振ひ又米大陸への移民出稼も少くない



である。1 コンスタンチン大帝以來、東羅馬土耳其の首都で、建築風俗等、亞細亞風を帶び、今や土耳其の首都は、アンゴラに移されたが、各國の使臣は、尙ほ此處に駐在してゐる。アドリアノブルは、マリツァ河に臨み、東スレースの中心で、煙草・薔薇油を集散する。
希臘 2 ピンドス山脈が縦走し、モレア(ペロポネソス)半島は、コリント・エギナ、兩灣間のコリント地峽によつて繋がつてゐる。島嶼は、エウボエア島・クリト(チア)島を始め、頗る多い。産物は、穀物・煙草・果實等である。希臘人は、歐洲文化先驅者の子孫で、十九世紀に立憲王國を建て、最近共和制を布いた。先年、土耳其を破り、又世界大戦に加はり、大に境域を擴めた。

1 中歐・近東間の最短通路の終點で、ベルグラードよりモラヴィア河谷・ウスクア・ヴァルダル河谷を通る縦貫鐵道が通じてゐる。

面積 アクロポリス

人口 四萬方人

アルバニア人は好戰的民族で三分二は回教其の他は舊教を奉じてゐる。

面積 一三萬方人

人口 四〇〇萬人

首府雅典アセンスアテネ Athens (Athens) 36は希臘文明の淵源地で、アクロポリスを初め古蹟が多く、ピレウスを外港とする。マケドニア地方のサロニキサロニカ (Salonica) 24は、有數の貿易港である。

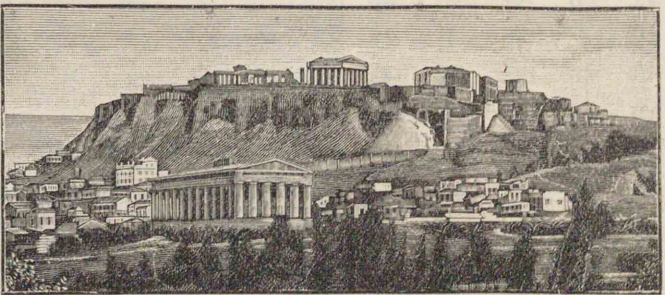
アルバニア 巴爾幹戰爭の結果、土耳其より獨立し、最近王國となり、伊太利の勢力下にある。

カルスト地形の山地が廣く、牧畜が行はれ乾酪を輸出する。首府は、チラナである。

第十二章 伊太利

Italy (Italia)

概観 南歐の大半島で、地中海に突出し、美術國・遊覽國で、外賓と海外渡航者が多い。世界大戰後の疲弊、今尙ほ癒えず、外に移住を奨励し、内に伊太利國粹主義を實行してゐる。



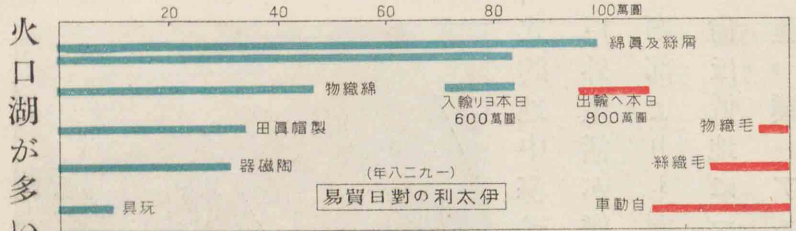
パルチノ

日・伊兩國は地理的事務(海國・火山・地震・風景・氣象・美術・人口過剩)に共通點が多い。

三地理區(大陸部・半島部・島嶼部)

1 最高峯はグランサツ山集のウルノ山(五二米)である

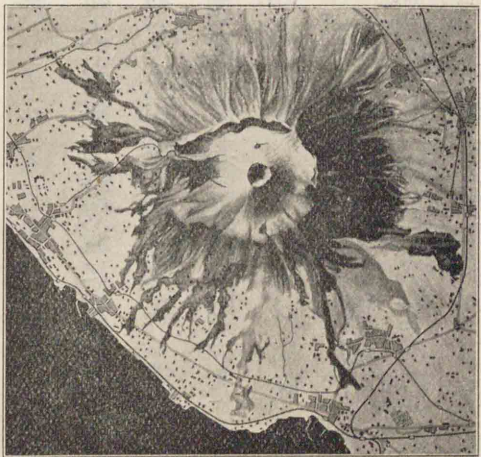
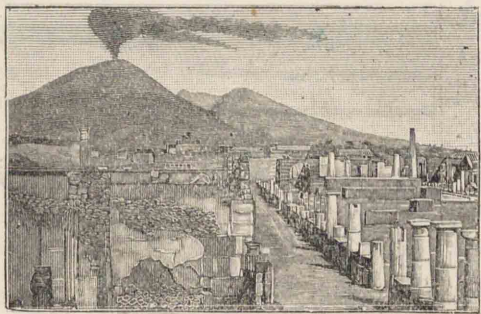
シシリ島の北方にストロンボリ・リバリ・ヴルカノの火山島がある又火山に伴ふ地震が屢々起る



日本と關係 徳川幕府の初期伊達政宗は、羅馬法王に使節を送つたが、今や日本法王廳は、交誼が著しい。日・伊貿易は、明治年代に開け、將來有望である。我が大使は羅馬に、領事はミランに駐在し、日本郵船會社船は、ネーブルスに寄港する。

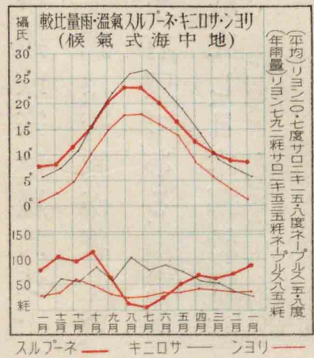
地勢 アルプス山脈は、佛瑞奧等の國境をなして、高壯雄大を極め、溪谷に瀑布を懸け、湖水を堪へ、鐵道之を通じて、中歐との交通を便にする。ロンバルデー(ロンバ)平原は、其の麓に開けた寶庫で、水量多きポー河が灌漑する。アペニン山脈は、ジェノア灣岸に起り、半島の脊骨となつて、シシリ(シチ)島に及び、内側に火山脈が通じて、ヴェスヴィアス(ヴェス)・エトナ等の火山やイストリア半島は、アドリア海に突出し、メシナ海峽

大ナボレオンはコ
ルシカ島に生れエ
ルバ島に流され後
セントヘレナ島に
流された
○(上)ホンベ
イよりヴェスヴィ
ア山を望む(下)
ヴェスヴィア山の
鳥瞰模型圖
1 北部には冬季ボ
ラ(寒風)夏季フェ
ン(暖風)が吹く又
時に阿弗利加より
熱風(シロッコ)が
襲来する



アルプス山地は避
暑地北西海岸は避
寒地
2 一年中に四種又
は六種の作物を收
穫する雪・氷河の
融水で水田が發達
し氣候が桑の生育
に適して養蠶が榮
え又葡萄・葡萄酒
も産する

式的地中海式氣候で、冬季の他は、快晴打續き、
戶外生活が楽しい。西岸は東岸よりも、北部は
南部よりも雨量が多い。防疫設備が出来たが、
尙ほ低地に、マラリアが流行する。
産業 アルプス南斜面、ロンバルデー平原

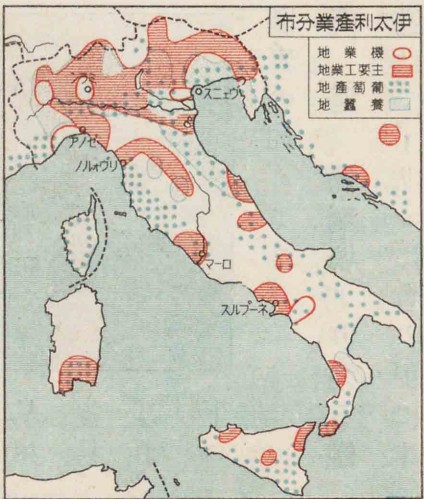


の彼方のシチリ
1 島は、サルヂニ
ア・コルシカ(領佛)
島と共に、チレニ
ア海を圍む。
氣候 北部の
山地平原は稍、大
陸性、其の他は、標

1 全國到る所に産
し玉蜀黍と共に國
民の常食となる
米・生絲・オリヅ
油の産額と葡萄酒
培面積とは歐洲中
第一である
葡萄酒の産額は佛
蘭西に次ぐ
レモン・オレンジ・
無花果の産も多い

2 少雨で最良マカ
ロニの産地
3 小麦稈はタスカ
ン帽の原料
○(上)オリヅの
實拾ひ
4 當國の美術・建
築を發達せしめた
5 水河又は河水の
義

6 ヴェニス産



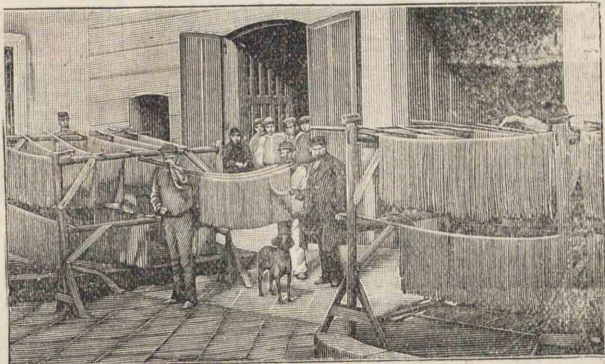
布分業産利太伊
地業標
地業工要主
地産葡萄養
地産蠶養
プリア(半島南) 3 タスカニー(アルノ) 兩地方に産す
る。 鑛産は、カララの大理石、シシリ島の
硫黄、エルバ島の鐵鑛が著しい。石炭缺乏
の爲、白炭地熱利用の工業が起り、前記の外、
人造絹絲、造船、硫黄精製、自動車製作が行は
れる。美術工藝は、國民の長所、硝子器、陶器

は木材、小麦、米、麻、羊類等を産出し、水
力が豊富で工業が榮え、生絲、絹布、乾
酪、綿毛織物の産が多い。半島、島嶼
は耕地は狭いが、葡萄、オリヅ、柑橘
を栽培し、マ
カロニの原
料小麦は、ア

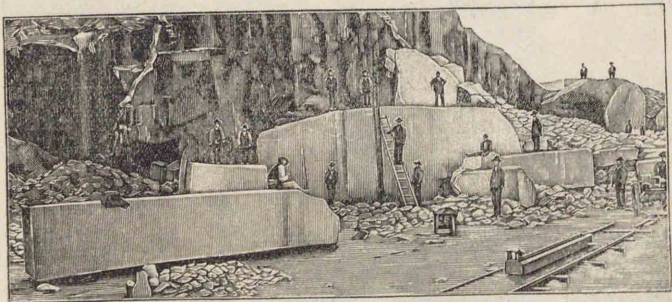


（上）マカロ
ニの乾製（下）カラ
ラの大理石石切場

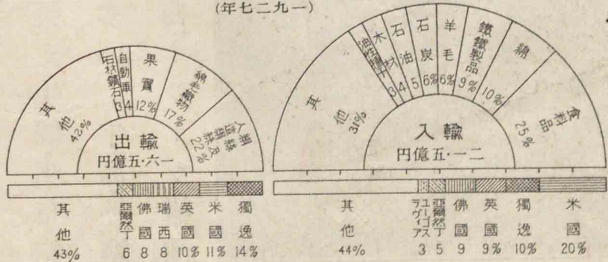
アルプス横断四幹
線IIサンゴタルド
シンブロン・モン
スニ・ブレンネル



交通 佛瑞奥より来る鐵
道は、チューリンに會し、更に半
圖表の如くである。



伊太利貿易の圖表
(年七二九一)

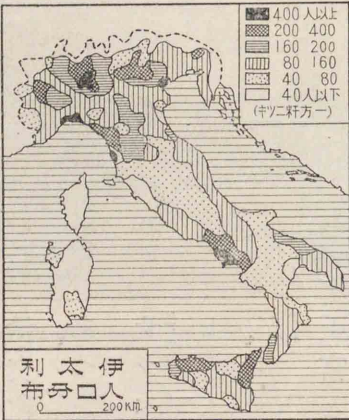


帽子彫刻品珊瑚細工を産する。外國貿易は、
スエズ運河アルプス横断鐵道の開通の爲

1 印度急行線の終
點で近東郵船と連
絡しボートサイド
を経て印度・極東
に達する最短郵便
線路に當る

伊太利語は典雅で
音調がよく國民性
に合致する
南部は生産少く貧
困者・無教育者が
多いこれ等の海外
在留は一千萬に達
し尙ほ年々十餘萬
ネーブルス等より
移住し毎年巨額の
送金をする

2 五世紀以後



島兩岸の諸港を過ぎ、ブリ
ンヂシ又はタラントに至つてゐる。海
運は、近時其の發達が目まし
い。

アルジェンチンに渡航する者が多い。

沿革政治 羅馬の盛時には、地中海沿岸の
三大陸を領有し、文化富強、世界に冠絶した
が、北蠻に蹂躪せられた後、數多の小國に分
かれ、一八七〇年再び統一されて、現王國の



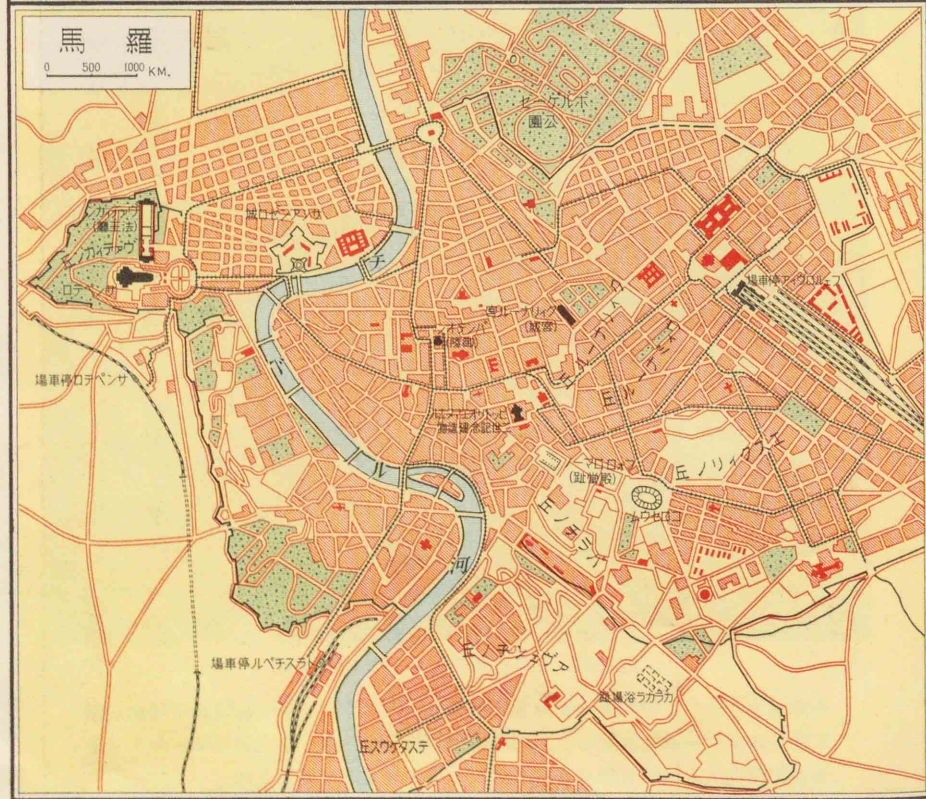
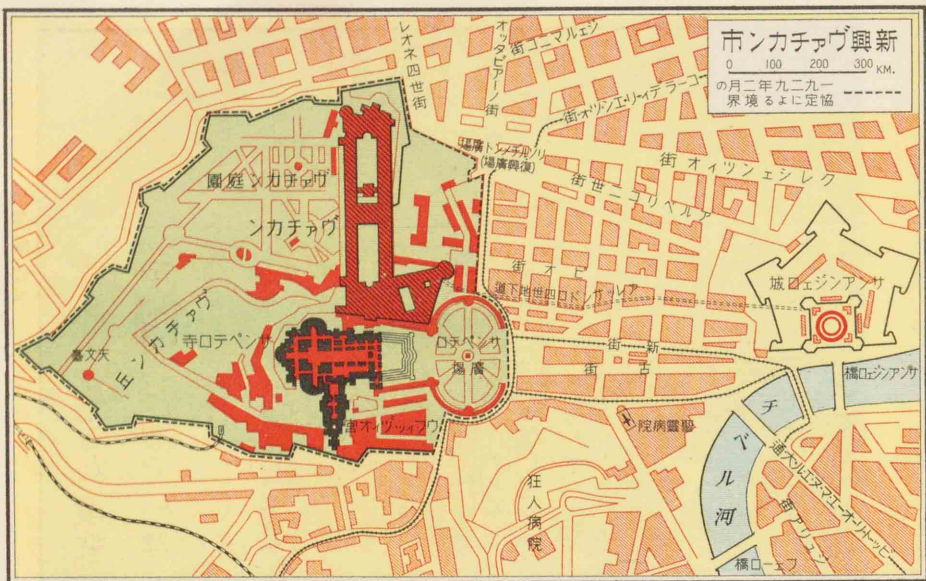
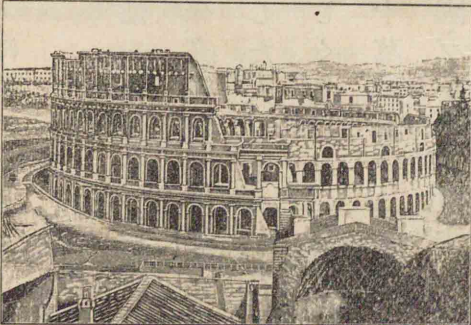
1 トリポリ・キレ
 ナイカ・エリトリ
 ア・ソマリランド
 2 南チロル・イス
 トリア半島・フィ
 ウメ・ザラ・ラゴス
 タ島
 3 ドデカネス諸
 島・ロードス島
 4 舊教の中心で羅
 馬法王は今も舊教
 界の首長である

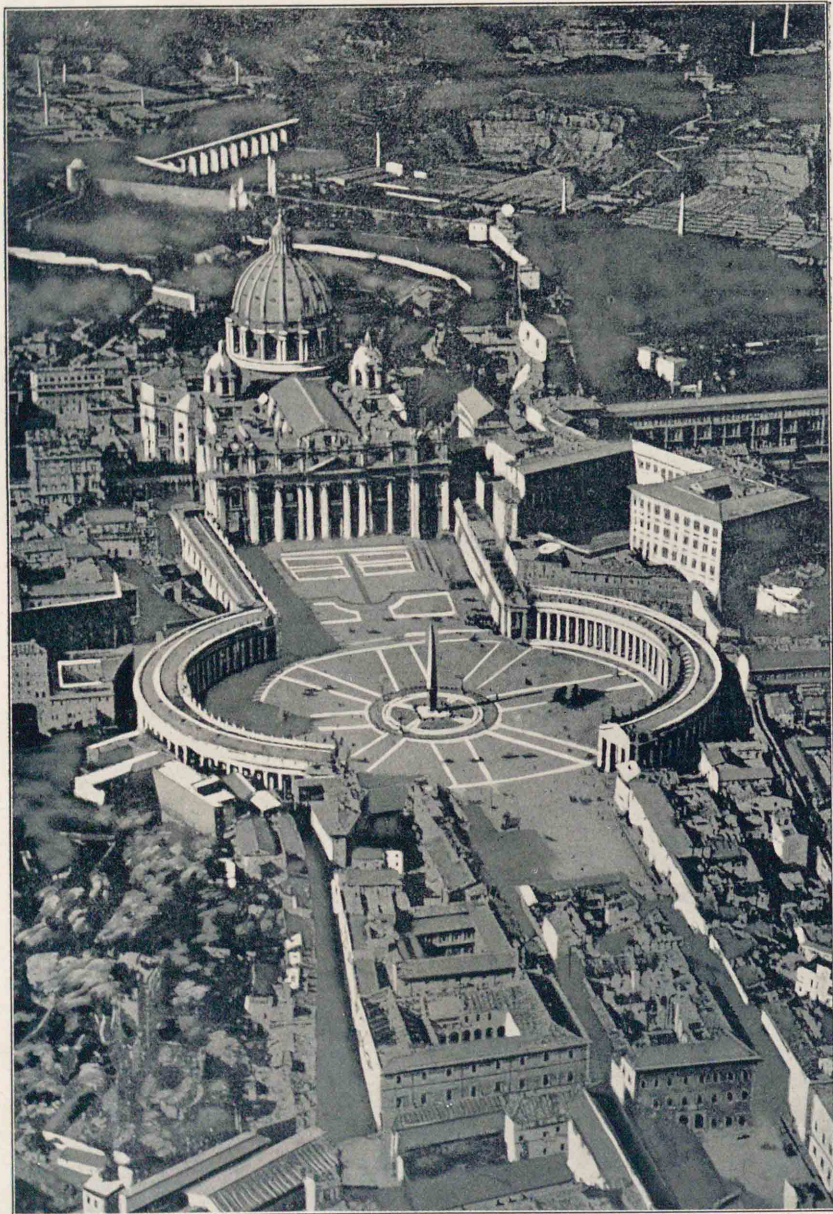
【圖説】(上)羅馬市
 を流れるタイバー
 河(下)コロセウム



基礎が出来た。爾來國運急に開けて、^{ITALIA}阿弗利加に領土を得、大戦後、^{ITALIA}舊國舊土國の一部を合せ、アドリア海・東地中海に勢力を保つやうになつた併し、世界列強の一としては、稍、遜色がある。

處 誌 首府羅馬は、タイバー(ルチベ)河に跨り、舊羅馬帝國の故都、羅馬法王の居住地として、長く政治・文化・宗教・交通の中心であつた故、名蹟遺物が多く、サン・ペテロ寺、^{Vatican}法王宮、^{Colosseum}コロセウム等を主とし、遊覽者が多い。羅馬法王廳は、法王宮と、其の周圍二十エーカーの土地とを領土とする獨立法王國で、歐洲等の





近附寺ロテベンサ馬羅に見りよ機行飛

法は方前の其殿宮ンカチ ッヴの王法は方右でと院寺と場廣のロテベンサは央中
 市ンカチ ッヴが地土のーカーエ〇二近附の此來以月二年九二九一 るあて廳王
 了し立成が國立獨の小最界世るす有な餘百三口人し立獨てしと



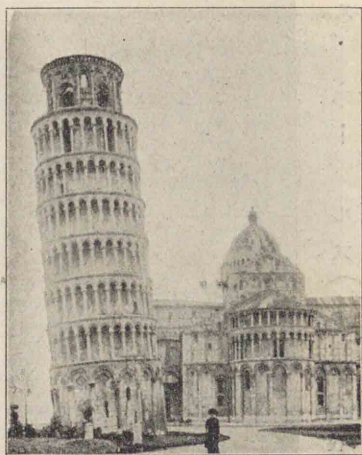
光風のスルプーネ

紺で和温候氣し達發にと麓の其と面斜の陵丘るす起隆に狀段階りよ岸海は街市
覽遊好の歐南く如の繪光風てし映を姿雄のヌァィヴスュは灣スルプーネの碧
つなと地港寄な要主の路航洋東・海中地又は港 るゐてれら知てしと地寒避・
るゐて

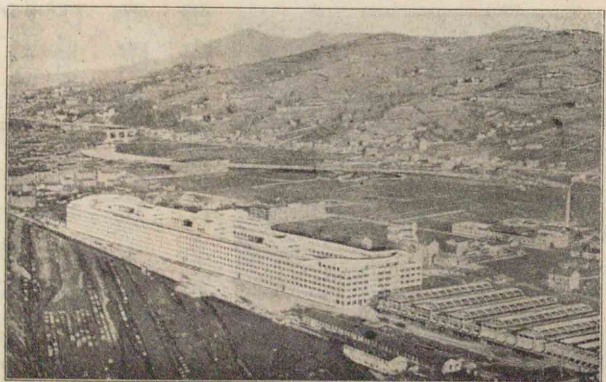


都水のスニェヴ

るあが感の街ぶ浮に水然宛てじ通な河運の條十五百ち立に上島小の十二百小大
船ラドンゴの夜き清月で景遠の寺コルマンサるな名有と船ラドンゴの有特は圖
るゐてればいとのもぬ得しがのき開の客覽遊は唄舟の



諸國と使節を交換し、伊國政府は、干渉
を加へない。アルノ河畔のプロレン
ス(ソッフェ)は、近代美術の中心で、名畫の保
存が歐洲第一
である。ピサ
は斜塔で名高
く、リヴォルノは、オリヴ油を輸出する。スペ
チアは、軍港で造船所がある。ジェノア(ジェン
ノア)は、ロンバルデー平原を控へ、又シンプロン
隧道開通後、瑞西南獨逸をも後背地とする
大貿易港となり、綿織物、造船、鐵工業も行は
れる。チューリン(トリ)
に當り、人造絹絲、毛織物業が盛んで、ヴェルモ
ン(ヴェルモント)



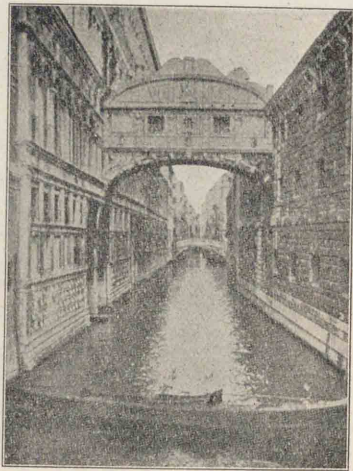
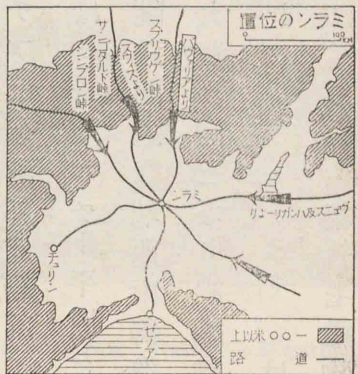
く、リヴォルノは、オリヴ油を輸出する。スペ
チアは、軍港で造船所がある。ジェノア(ジェン
ノア)は、ロンバルデー平原を控へ、又シンプロン
隧道開通後、瑞西南獨逸をも後背地とする
大貿易港となり、綿織物、造船、鐵工業も行は
れる。チューリン(トリ)
に當り、人造絹絲、毛織物業が盛んで、ヴェルモ
ン(ヴェルモント)

① 北伊太利の要港
のみでなく、瑞西・
南獨地方の門戸と
もなつてゐる

② ポー河の終航點

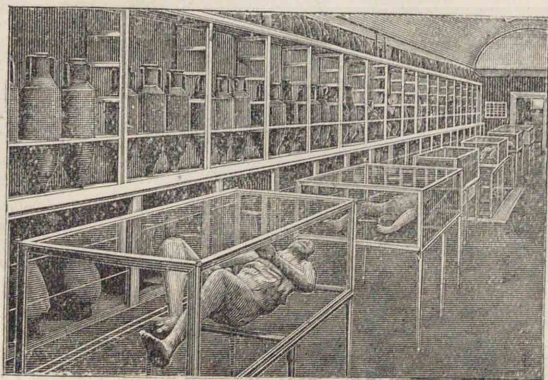
1 アルプス横断諸鐵道の集中點當國第一の商工業地である。南はジェノアを門戸とする。
2 土手道に設けた鐵道で達レゴンドラ船で市内(運河)を往復する。中古は南歐隨一の港市であつたが今は交通系より偏して昔日の面影がない。

【圖録】(上)ヴェニス市中の水路(下)ボンベイ發掘品
3 大戦後得たイストリア半島の基部を扼し前者は奥・チエゴ後者は洪・ユイゴスラヴィアの門戸をなす之により伊國はアドリア海權を握つた。
4 ヲウメの所屬に關しユイゴスラヴィアと紛争を生じたが後當國に合併した。

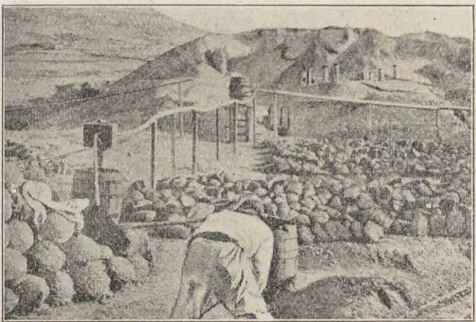


る。ネーブルス(リボ)は、當國の最大都で、織

ト酒を出す。ミラン(ミラ)は、近東急行線アルプス南麓線に沿ひ、北方のコモと共に、絹織が盛んで、有名な寺院がある。
ヴェニス(ヴェネチア)は同名灣内の潟湖にある百二十餘の砂島上の水都で、商港・軍港を兼ね、造船の外、硝子・陶器・金モールを産する。
トリエスト、フィウメは、中歐諸國の門戸である。



【圖録】 シシリ島の硫黄採取



1 大戦當時我が出征艦隊の根據地であつた

【面積】 四萬方軒
【人口】 四〇〇萬 人

マルチース諸島(英領) シシリ島と共に、地中海中央の海峽を扼して、軍事上重要な爲、古來、數多の國に争はれたが、一八一四年英國に歸した。主島マルタの港市ヴァレッタは、地中海艦隊の根據地である。

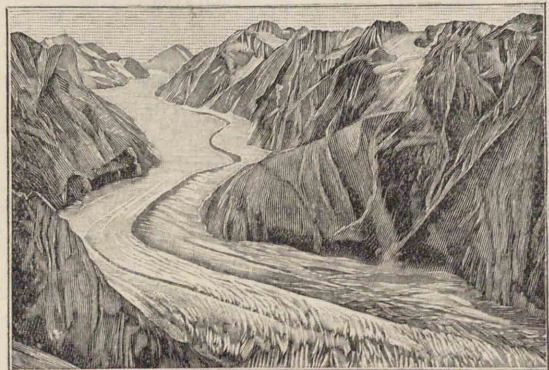
第十三章

瑞 西
Switzerland (Suisse)

概観 獨逸・伊佛間の緩衝國、自然美・人情味の多い遊覽國、國際平和事業の本部で、白炭・綠炭利用技術本位の工業が發達してゐる。日本が關係 我が國は生絲を賣り、時計・染料・モスリンなどを輸入し、公使をベルンに置いてゐる。

地勢 本洲第一の山嶽國で、アルプス山脈と、ユラ山脈と、此の兩山地間の臺地との三部に分れる。臺地は狹長な氷河湖が多く、^{AR}アル河(ライン)が諸水を集めてゐる。

アルプス山脈は褶曲によりて生じ、國の南半を占め、二大縦谷(ライン・ロ)等の深谷の爲數群となる。何れも高峻で白雪を戴き、約六百の氷河が懸り、殊に南境は、モンテローザ等四千米以上の高峯三十を算して、分水界即ちサンゴタルド山塊の西方には、マッテルホルン[四五〇]等の峻峯が屹



1 漂積土又は黄土に掩はれる
2 ボーデン・チューリヒ・ルツェルン・ニューシャテル・ジュネーヴ
ローヌ・イン(ダニユール支流)・チチノ(ボー支流)も當國より發源する
[圖解] アルプスの氷河

1 1000米内外で規則正しい褶曲・侵蝕作用で出来た古い山脈である

[圖解] マッテルホルン

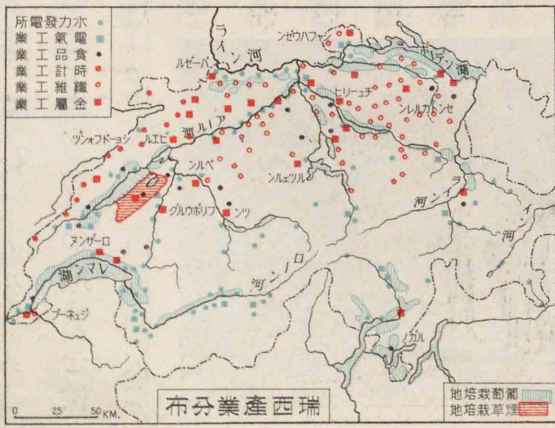
小麦・燕麥・馬鈴薯湖水の南斜面には葡萄を栽培する國土は不毛山地・牧場・森林・果樹園並に耕地の四つが各々四分一づつを占める

3 ロツテルダム
[蘭]・マンハイム
[獨]・マルセイユ
[佛]・ゼノア[伊]を経由する
4 降雨は穀物よりも牧草の生育を助け、牧牛・牧羊を主とする



立し、アレッチ大氷河もある。ユラ山脈は、アルプスの前山で、佛國との國境を走り、頂上は平坦であるが、横斷が困難で、縦谷が交通路となつてゐる。
氣候 山嶽性氣候で、高度、谷の傾斜方向、風向、湖水の遠近によつて、氣温に差異がある。夏は涼しくて、避暑登山に適する。

産業 アルプス山麓、溪谷は、農産を出す。尚ほ多量の食料品を輸入する。農業地方は、寧ろ牧畜が盛んで、特に乳牛は山腹(夏季)谷地を牧場とし、乾酪・煉乳・ミルクチ

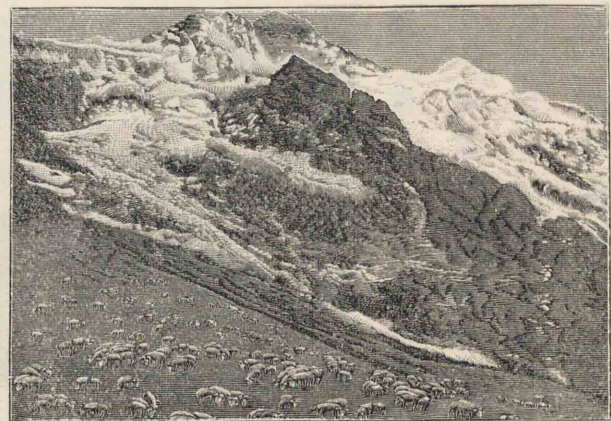


1 針葉樹が多く經營が行届いてゐる

2 内陸國で運賃低廉な精巧品を作る
時計・樂器はユラ

3 歐洲の樂園と稱せられ觀光客の當國に落す金額年一億圓

4 鐵道・ライン河によりて工藝品を輸出し食料品・原料品を輸入する



は、世界各地よりの觀光客來集する故に、交通機關旅館娛樂機關を完備し、以て懇切に外賓を優待する。貿易は、稍盛んである。

コレートの産が多い。森林は、アルプスの中腹以下にあつて、木材・玩具の原料を供する。鑛産原料は乏しいが、白炭・綠炭が豊富で、勞銀が安く、工業教育が進歩してゐる故、原料を輸入して、精巧な工業品手藝品を製出する。佳景に富み、夏季



伊國のサヴォナは當國の自由港

1 密度は白・英に次ぎ電力のものが多く輕便・鋼索登山鐵道が發達してゐる

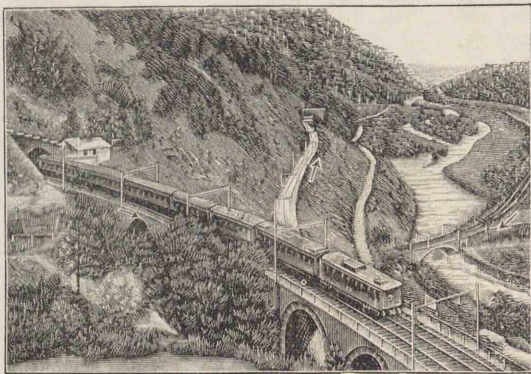
2 鐵道 瑞西の鐵道

3 ローマ河谷・トチェ河谷間

4 横斷線は六線で佛・伊海岸線を加へれば七線

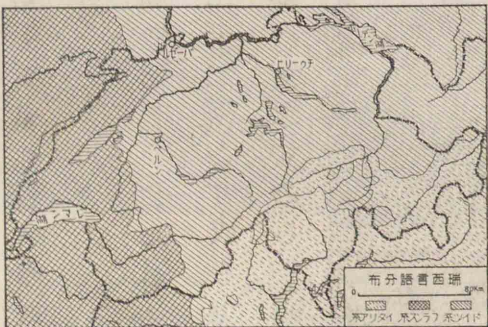
三種の言語が公用文にも併用される

5 迫害を避けて移住し來たもの



交通 南北交通上、重要な位置に當り、非常の難工事を冒して、縦横に鐵道を敷設し、ループ式を併用してジンプロン・サンゴタルド等の大隧道を鑿ち、以てアルプスを横斷して、隣國の鐵道、ラインの水路と連絡した。又航空路は、佛獨

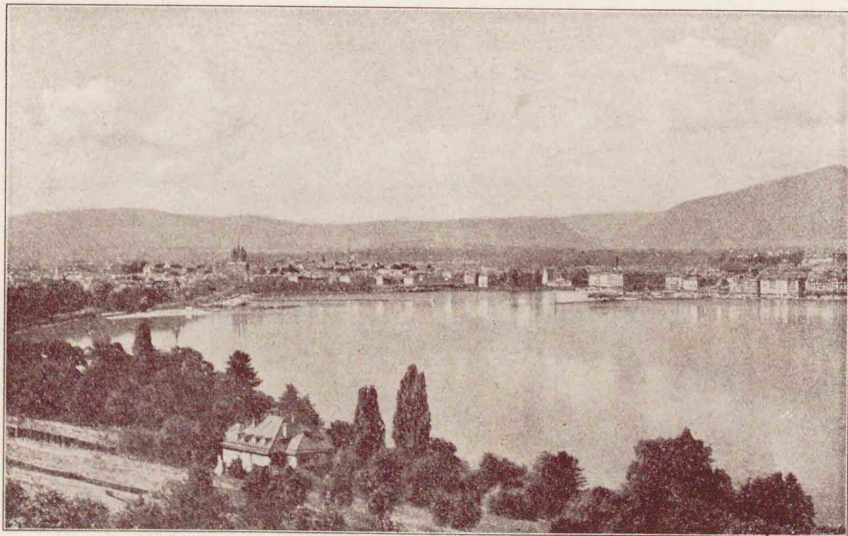
部に、之に次ぐ佛人は西部に、少數の伊人は南境に住み、各、母國語を用ひる。新教徒は五分三で、他は舊教徒である。人口が稠密で、中央臺地殊にベルン以北の工業地帯に多い。教





山連スプリアの部南西瑞た見りよ機行飛

の踏未人萬 るあて分部な峻高も最の其は部南の西瑞で義の所高はとスプリア
はるな央中眞寫 く湧もさ嚴壯な別又がるす露暴をて總げれよに機行飛も境秘
るあて(米〇〇二四)ンルホルーアルテスニフ



ヅネエジ都際國

ヅネエジるすと景背な嶺雪のスプリアみ臨に湖ヅネエジるあ稱の一第西瑞光風
しと地合會的際國の他の其盟聯際國れまぐめに通交・候氣・置位て於に方一は
るあてへ備分充を格資のて

【圖解】(上)瑞西山
間の乗落(下)ジュ
ネーヴ國際聯盟本
部

都會は多く遊覽者
の爲に發達し河湖
の沿岸に多い

1我が國際聯盟事
務局がある
ローザンヌは近東
會議が開かれた處
ニューシャテルも
時計の産が多い



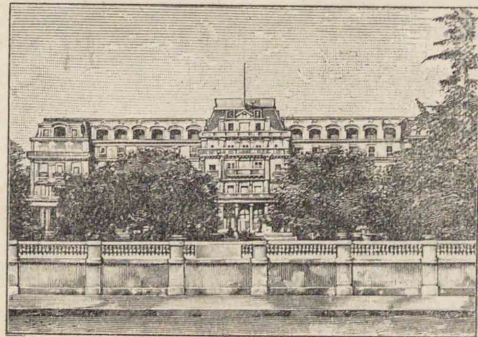
部が多く置かれてゐる。

處 誌 バールゼルは國境に近く、ラインの水

運を有して絹織化學工業(染料)が行はれる。

1ジュネウヅ
壽府(ジュネ
Geneva)は同名湖に臨み、風光明媚で、遊覽者

育は普及し、勤勉・融和の美風に富み尙武
の氣象が盛んである。
政 治 もと壤地利に屬し、十七世紀の
半頃獨立した。今は二十二州より成る聯
邦共和國で、政治組織は簡單である。永
世局外中立國で、國
際聯盟本部、國際手
形交換所を初め、各
種の國際協會の本





凱旋門

ナポレオン一世が歐洲の大半を征服してパリに凱旋した時に建築された凱旋門に、ナポレオン一世の功績を彫刻した。この凱旋門は、パリ市第一の美しき路である。

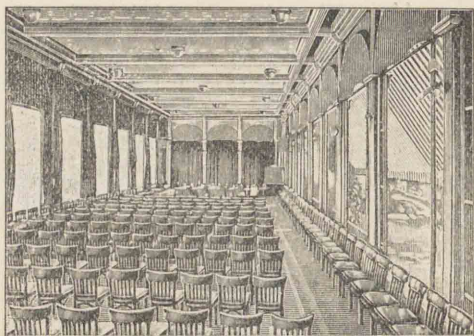


ルーヴル博物館

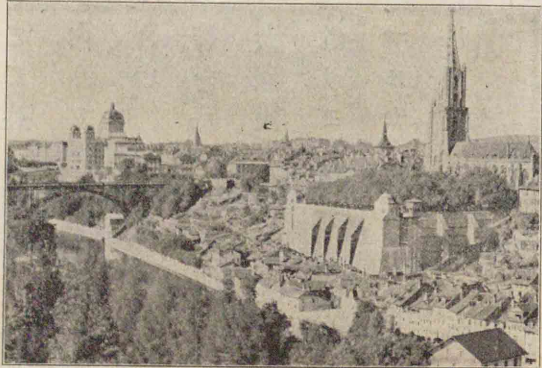
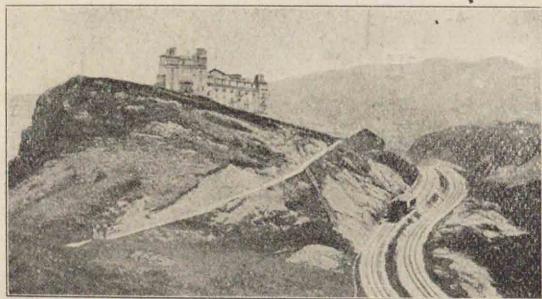
セザール・ルソーの命で建てられた宮殿は、その建築の大数に、ナポレオン一世の命で建てられた。この博物館は、ナポレオン一世の命で建てられた。この博物館は、ナポレオン一世の命で建てられた。

1 有名な工業学校がある近時化学工業が勃興した

【圖説】(上) 國際聯盟本部硝子の間 (中) リギ山登山電車 (下) ベルン



ルツェルン湖に臨み、織物業が行はれ眺望で名高いリギ山が程近く聳えてゐる。首府ベルンは、萬國聯合郵便電信事務局の所在地である。



が多い。萬國赤十字社・國際聯盟兩本部の所在地で、時計機械を製作する。チューリヒは、同名湖に臨み、絹織物を輸出する。

面積 五百萬方
人口 四七四萬人

白・獨とは自然的
國境がなく大戦
の中心となつた

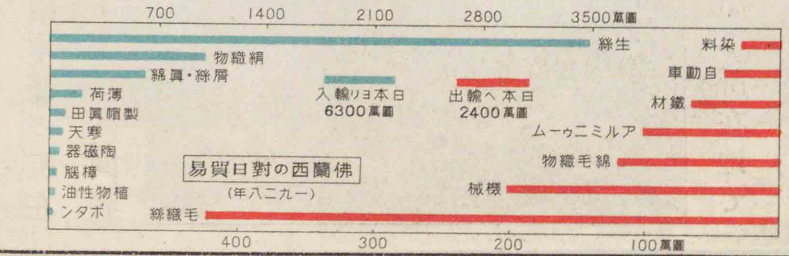
西側に大縦谷を距
て、前アルプスが
ある
1 只(ミ)
2 アルプスの續き
で佛國側に急傾斜
をしてゐる

第十四章 佛蘭西

概観 不正六角形又は急須形を呈する。三面、海に臨んで、白・獨瑞・伊・西と相隣り、英吉利海峡を隔てて、英國に對し、軍事上、通商上、交通上、重要な位置を占めてゐるが、大戦による財政上の瘡痍が、まだ癒えない。

日本が關係 我が國は、明治維新後、軍事、法律等を佛國に學び、又近來は、美術研究の留學生を送り、大戦後、國交は親密を加へた。我が大使は巴里に、領事はリヨン・マルセイユに駐在する。日本郵船會社はマルセイユ、大阪商船會社はダンケルクを寄港地とし、彼我貿易は、盛んで特に我が生絲を多く消費する。

地文 伊國境のアルプス山脈は、最高峰モンブランを始め、高峻を極め、西國境のピレネー山脈も、辛く

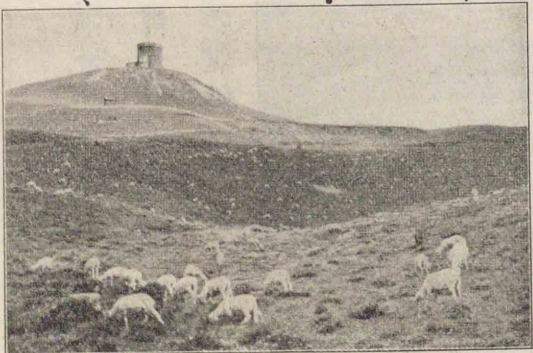


1 古い山地の削磨
高原で北東の方
高ジエ山脈、ライ
ン地方アルモリカ
山地となる
2 モンドルが名高
い



(上) モンブラン(下) 中央高地の舊火山(今は良牧場となる)
パリ盆地(セイヌ・ロアール流域)・アキテーヌ盆地(ガロンヌ流域)・ローヌ・ドニャーヌ(ローヌ・ドニャーヌ)等
の低地がある
これ等相互の分水界は低い故連絡が容易である
ビスカヤ海岸のラピドは砂丘が多く松の防風林がある
セイヌ・ロアール・ガロンヌの河口は三角江でロメヌ河口は浅い
ミチ運河はガロンヌ河・地中海を連絡してイペリア半島の迂回を避ける

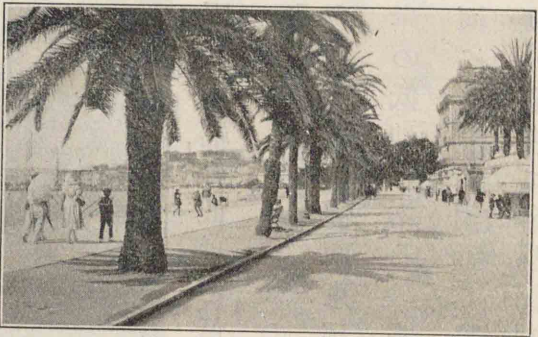
三條の鐵道を通ずる。中央高地は、丘陵性で、就中オーヴェルニュ高臺は、消火山・温泉が多い。中央高地とノルマンディー・ブルターニュ半島の間の間は、歐洲大平原の西端の低地で、低い丘陵によつて、セイヌ・ロアール・ガロンヌの流域に分れる。東境にライン地溝帯、南東部にロイヌ下流、リオン灣岸の低地がある。右の四大河は、緩流して、運河によりて相通じ、舟運の便が多い。海岸は、概ね砂濱で、砂嘴・潟湖が多い。地中海に、コル



セイヌ・ローヌ二河はライン河に運河を通じてある
1 冷涼で夏に雨が
多い
アルターニユ半島は特に雨が
多い

（上）地中海沿岸避暑地のカンヌ
（中）佛蘭西の農家
（中央高地地方）
（下）佛蘭西の葡萄園

2 小麦産額は露西亜に次ぎ燕麥の産も多い
北部は甜菜南部は米を産する



産業 農が主業で、耕地は全土の半に近く、²麥・馬鈴薯は、低地一帯に産し、自給自足す



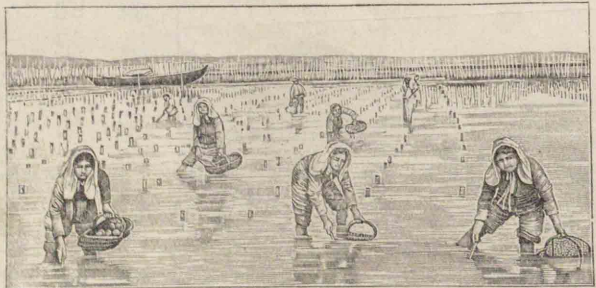
シカ島がある。
氣候 一帯に溫和で、雨量は適度である。
中央高地は中歐式、地中海岸・ローヌ下流は地中海式、其の他は西歐式の氣候である。

1 アキーン盆地（ガロンヌ流域）の赤葡萄酒セイヌ上流・ロアール及び支流アリエーの河谷のシャパンは有名でボルドー・シャロン・ランスは其の中心である
2 牛・馬は北西の半島部に多くランスは牧羊の中心で羊毛の産が多い
3 ビスカヤ海岸の牡蠣の養殖

3 ヴァレンシエン・ルクレン地方も多産する
4 炭田は獨領であるが或る期間採掘権をもつてゐる
5 ナンシーの北西



葡萄は、北部以外到る所に産し、葡萄酒の産額、品質は、世界第一の稱がある。養蠶、オリヴ栽培は、ローヌ下流地、地中海岸地方に行はれ、リヨンは絹布、マルセイユはオリヴ油、白石鹼を産する。牧畜、養鶏、酪農は、農家の一般副業で、沿岸は鱈、鯨、鰯の漁利が多く、リオン・ビスケーの兩灣岸では、製鹽、牡蠣養殖が盛んに行はれてゐる。森林は、東部一帯の山地に繁茂する。鑛産物の中、石炭は、ザール・センテチエンヌ地方に多く産し、ザール炭は、主に瑞西・伊太利に輸出される。鐵は、ブリエー・ロレーヌ・ノルマンディー半島（附近）東部・ピレネーより多く産する。白炭利用は、東

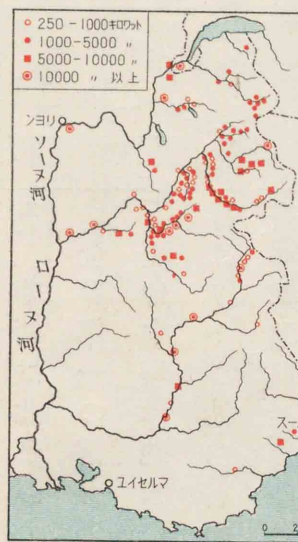


1 原料の羊毛は亞爾然丁綿は米國亞麻はバルチック沿海諸國より輸入する

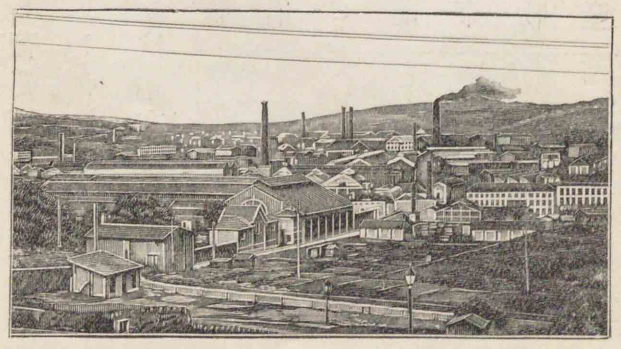
センテチエヌの製鐵工場



ローヌ河流域水力分布

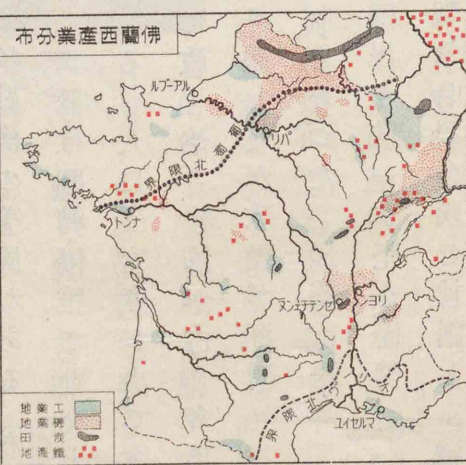
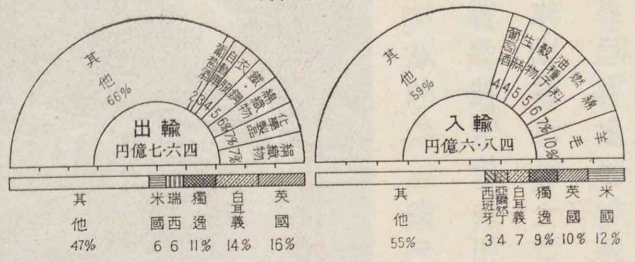


部殊にアルプス山麓が盛んで、石炭と共に、工業を發達させた。工産は、既記の絹布・白石鹼・オリイヴ油の外、北東部の製鐵・機械・機織・砂糖・ルクルソーのレーール・機
 Le Creusot
 關車兵器、センテチエヌの製鐵・機械が著しい。また世界に、奢侈品・美術品化粧品を供給する。貿易は、隆盛で通過貿易が多く、重要な貿易國



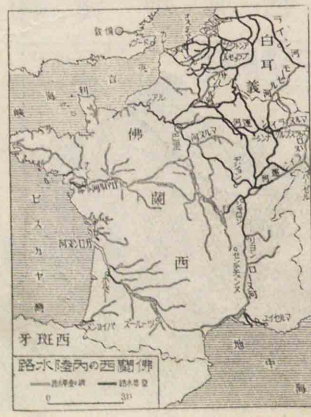
1 主要鐵道 歐亞大幹線、近東直通線(パリ・スタンプール間)、東方急行線(カレ・パリ、デジョン・モンスニ・プリンデシ間)、南北縱貫線(カレ・パリ・デジョン・マルセイユ間)
 2 汽船 三五萬噸 帆船 八九萬噸

佛蘭西の貿易 (年八二九一)



易品は、圖表の如くである。交通 鐵道は、延長四萬餘軒、パリを中心として四通し、四大河の水運の便亦よく、運河が之を連絡してゐる。海

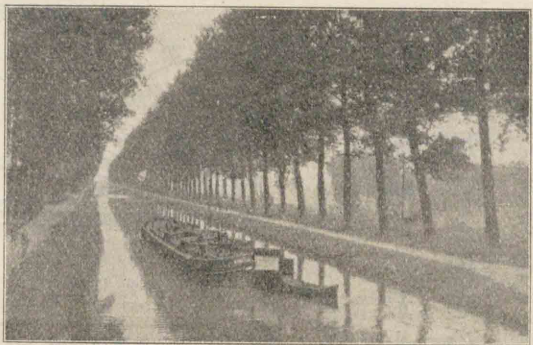
運は、商船が多くて、世界の諸要港に通じ、英吉利海峽航路が最も著しい。航空路は、阿弗利加にも通じ、倫敦・パリ間の輸送は、最も盛んである。



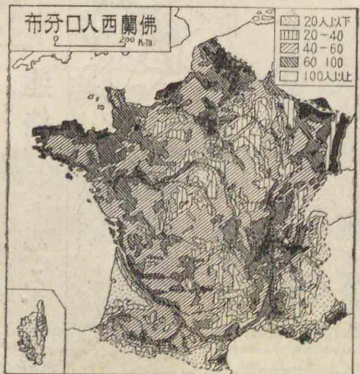
1 ケルト族・チュートン族と混血してゐる
原住のケルト族は北西の半島部にバスク族はピレネー山中に住む

2 佛蘭西の運河
3 外國に多額の投資をしてゐる

4 ナポレオン一世
5 近年少しく増加した

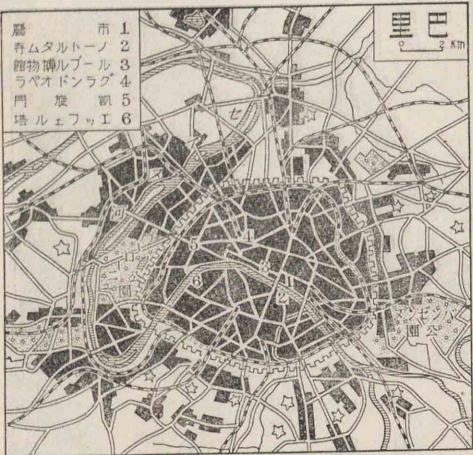


住民 大部は舊教徒のラテン族である。教育が普及して、美術音楽文藝に長じ、多血質、神経質で、愛國の熱情、勤儉の美風がある。言語は、圓轉優雅で、社交上外交上に用ひられる。人口は、密度が小で、増加率が少ない。

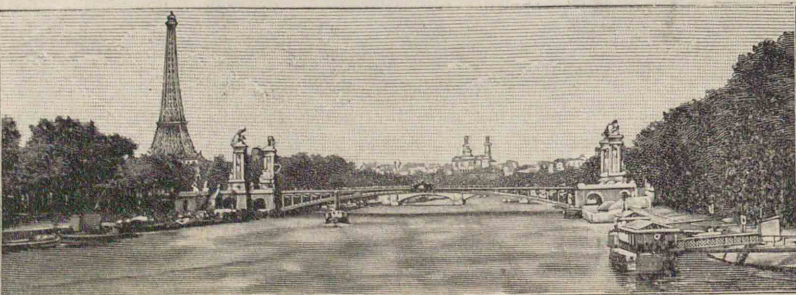


時は歐洲の一半を征服したが、政變が打續き、普佛戰爭後、共和制となつた。民族言語宗教風習が單一で、國民の統一が堅く、優勢な海陸軍を擁し、大戰當時、聯合國の首脳と

屬地は亞細亞・阿弗利加・南米・大洋洲にあつて本國の面積に二十二倍するも、多くは開發が進んでゐないアルジェリアが最も重要視されてゐる。シエール・ポール・プレスト・ロリアン・ロシュ・オール・ツィロンは軍港で造船所がある。



なつて、最後の勝利を占め、以てアルサス・ロレーヌを恢復し、舊土領シリア、舊獨領カマルン・トゴを統治地とした。大統領(七年期)行政を統へ、上下兩院より成る國民議會がある。陸軍は、甚だ優勢で、海軍は主力艦十七萬五千噸である。航空隊も、亦強大である。



1 寶石・金銀細工・青銅器・婦人服装具・手袋類

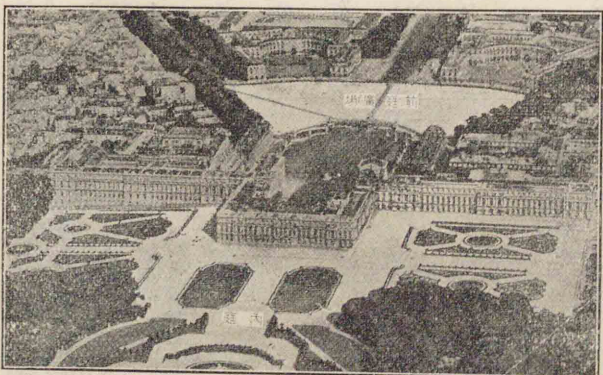
2 ルイ十四世の造營に係り建築の粹を盡してゐる

3 巴里南方のオルレアンと共に百年戦争の時ジャンヌダークの勇名を遺した所である
中央高地西端のリモージユは製陶地



セイヌ河口のルアーヴルは、佛國第二の貿易港で、大西洋航路の起點となり、主として英米と貿易する。

Le Havre 16

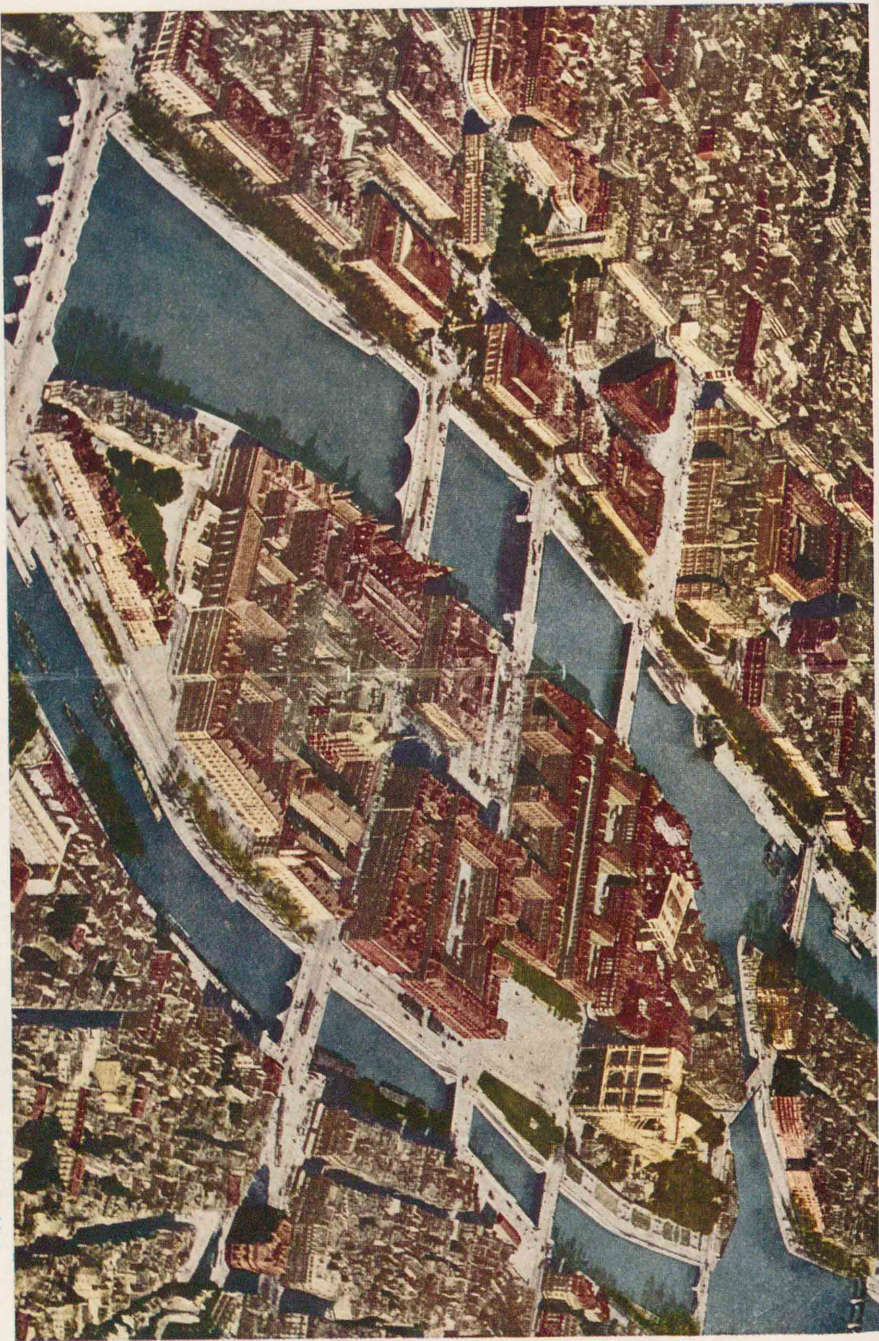


凱旋門・エッフェル塔・ルーヴル博物館・ノートルダム寺院・大劇場がある。世界の所謂巴里美術品を産し、外賓も雲集し、従つて流行の源となつてゐる。南西

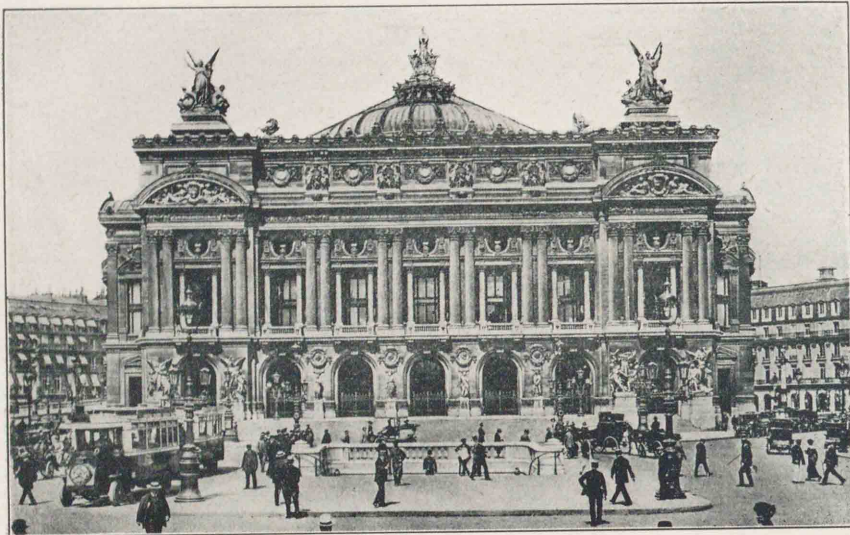
なるヴェルサイユの宮殿は、世界大戦の講和會議場に充てられた。

ルアンは、大船遡江の終點で、綿紡織が行はれる。

Loire 12



の街市し流貫てい描を形圓半な中央の里巴てせば浮を島イルンサ・島(テシラ)市は河ヌイセ 心中の里巴た見り上機行飛
てしと地の群發を島の此で近眺島市るは横に中河にく如われき留繋の船大は圖 るゐて通相てつよに橋大一十三は部廟
有に隅の上右の島 多い多が物築建大の等所判裁・會教・殿宮てれき裝飾で石部全は表地の島 るあでのたし建發は里巴大
るゐてえ繁が院寺ムダルトーノなる名



ラベオドンラグ場劇歌大

分部な要重の活生里巴は賞觀ラベオく多がのもつ持を好嗜の樂音は民國西蘭佛
も最通交し工竣て經な月歳の年五十頃中の紀世九十は場劇歌大 るゐてめ占な
るゐてつ建に所い近に部央中の市里巴な繁頻



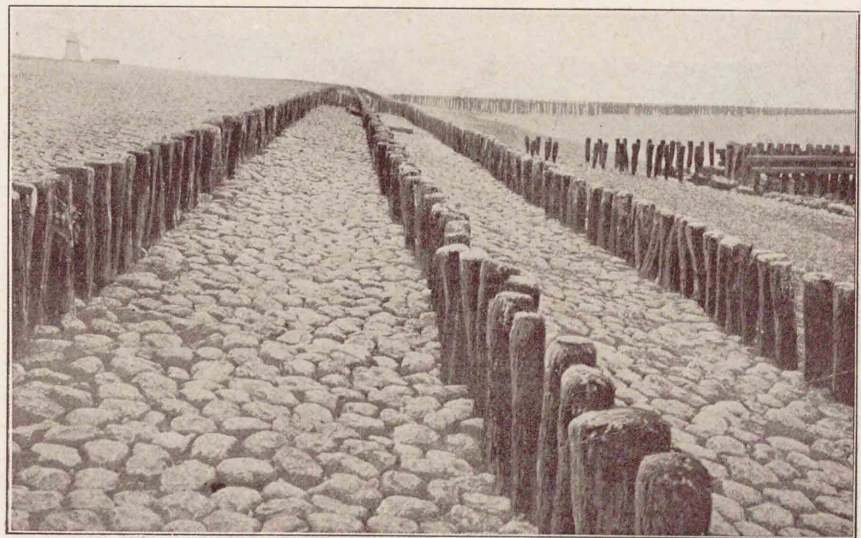
場廣ドルコンコ里巴

の里巴ど殆で場廣大の數有里巴るす達て經な通大の一セリセンヤシリよ門施凱
築建の後背の其クスリベオたつ來び運りよ及埃はのつ建に央中 るす位に央中
るあて殿宮ドルコンコは物



場農室温の蘭和

野の々種に共と卉花は蘭和 るあで列の室温の張子硝いなはで根屋の場工は圖
るれらせ給供に獨・英く廣がのもな價高のれ外節季に特實果・茶

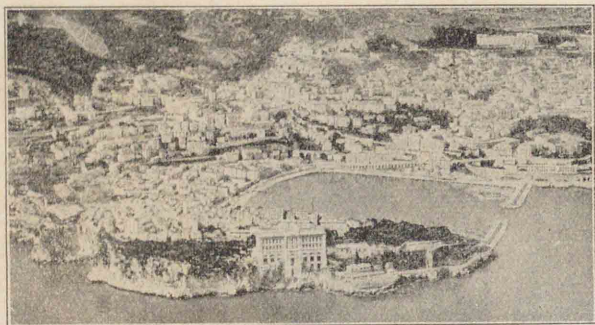


止防行進の丘砂の蘭和

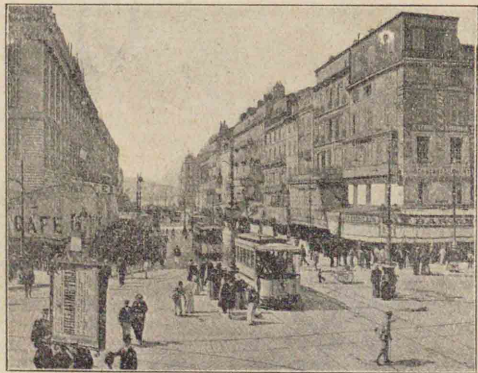
と風と波はで地低岸海るす面に海北 めらなばれは戦と水でまく飽は民國蘭和
に岸海に様の圖にく防をるす入侵に地内の丘沙るず生で砂るれさら齋てつよに
るゐてい敷を石に面一はに間の其て立を杭の列敷

① 佛國第三の貿易
港で對米貿易が多
い

② 希臘人に發見さ
れた古い安全港で
植物油の世界的市
場である
チジモンは交通の
要地である



シエルブルは、ノルマンディー半島の北端に
位置し、紐育・漢堡・倫敦・サザンプトンと航路を
通じ、重要な商港・軍港である。ロアー下
流のナントは、製糖が
行はれ、上流のセント
チエンヌは、工業の中心
地で、附近に鐵・石炭を
産する。ガロンヌ河
口のポルドーは、メドック地方の葡萄酒・果實を
輸出する。ツールーズは、交通の要地で、煙草
を産する。



馬耳塞は、佛國第一の港で、ローヌ河谷・巴里盆
地を後背地とし、多く東洋諸國・アルジェリアと

1 リヴィエラと呼ばれる
面積 三万平方
人口 二萬人

2 原料は日・伊よりも仰ぎセントエレンヌの石炭アルプスの水力電氣を用ひる
図説 (上) リヨンの絹絲紡績(下) ストラスブルグ(廣場と教堂)



取引し、工業も盛んである。南東海岸は氣候溫和、風光明媚で、カンヌ Cannes、ヌ・ニース・モナコの如き世界的保養遊覽地がある。モナコは、世界最小の獨立公國で、佛國の保護を受け、公設賭博場の收入を以て國費に充て、海洋博物館がある。コルシカ島は、地質・人種・言語等が伊太利に似て地中海式産物がある。首府アジチオは、ナポレオンの一世の誕生地である。里昂は、ローヌ河流域の交通商工業の大中心で、精巧な絹布を産するので名高い。

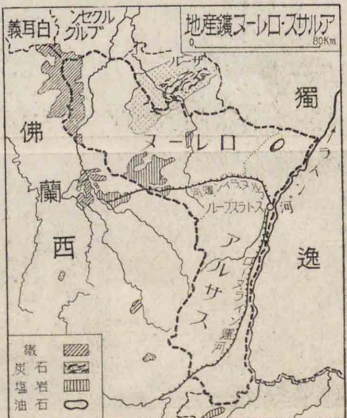


1 ヴェルダン・メッツと共に世界大戦の激戦地で附近に岩鹽を産する

ジェップは渡英の要港

面積 三萬平方
人口 七五〇萬人

アルサスのストラスブル(ストラス)は、交通上、軍事上の要地である。ナンシーは、製鐵・製鋼の工商が行はれる。リールは、炭田を控へて、機械・機織(綿)・製鐵・精糖が盛んで、附近に、亞麻・毛綿の紡織都市が多い。カレーは、ドーヴァー海峡に臨み、英國に渡る要津である。ダンケルクは、北東工業地帯の主要門戸である。

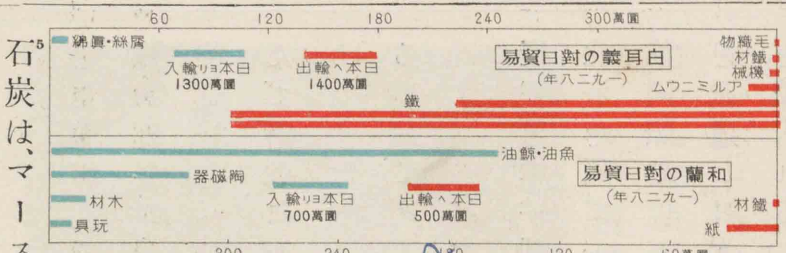


第十五章 白耳義

概観、日本の關係 歐洲大平原の最狹部の小國で、蘭・獨・佛と相接し、北海を隔て、英國に對する。人口稠密で、産業・交通が發達し、大戦後、國際地位が高まつた。我が國は、ブルッセルに大使、アントワープに領事を派遣し、日本郵船・大阪商船兩會社船は、安土府に寄港して、鐵・機械を積入れる。

1 最高點六九米
海岸は短く且つ砂
丘が発達して利用
の途がない

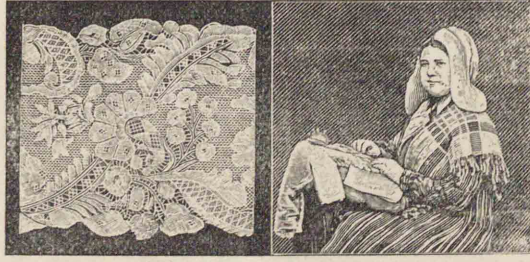
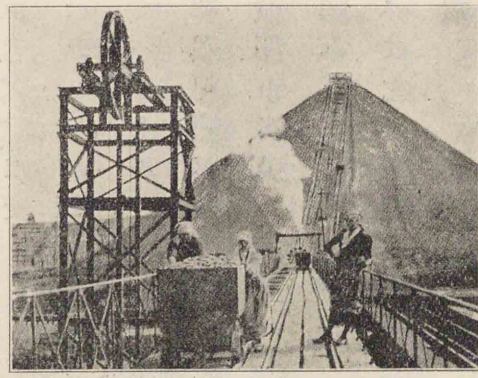
2 農産收穫率は世
界第一 燕麥・裸麥が丘
陵地に産する
馬鈴薯の産も多い
東部の炭坑(下)レ
イスの手編と(上)白耳義
の炭田がある
3 耕地の一半を占
め良品を輸出し安
価なものを輸入し
て工業原料とする
5 面積に比較して
産出が多く又諸所
に泥炭を蔵する



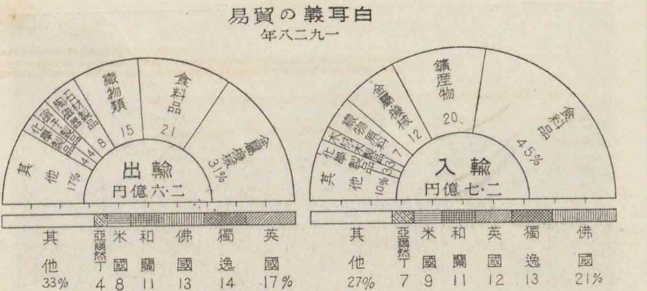
5 石炭は、マース・サンブルの

地 文 シェルト河以西は低濕な平地で、沿岸に砂丘が多い。マース河・サンブル河以東は森林地のアルダマース・臺地である。右の中間帯は炭田・灌木林を含む丘陵と、シェルト盆地とである。臺地は中歐式、其の他は西歐式の氣候で、西風が多い爲、濕潤である。

産業・交通 農業は、中間帯に發達し、麥・甜菜・亞麻を産し、又酪農品を出す。



1 獨逸のルール炭田に續きモンス・シャルロア・ナミュール・リエージュ等の炭田がある
鐵は炭田地方・アルダマース各地に産するが製鐵原料の大部はルクセンブルグより輸入する
鉛・亜鉛はヴェルヴイル(リエージュ東方)で採掘する
海運は多く外國船舶による
鐵道網の密度は世界第一である



内側及び北部に産し、附近に、大工業地帯を現出して、鐵鋼・兵器機械・レース・リンネル・綿織物硝子砂糖・セメント・化學製品を産し、小英國の稱がある。當國は、河川運河・道路・鐵道が網狀を呈し、隣國との交通が便利な爲、通過貿易が盛んで、獨逸のライン工業地帯の輸出入品は、殆ど安土府を經由する。

住民 人口密度が世界一で、殊にマース流域が著しい。チエートン族・ラテン族の接觸地帯で、北半は、フレミング人(チュル族)が多くて、蘭語に近い

多く公用語・都市名に兩語を併用する
中世には歐洲の羊毛工業の中心地であつて當時の壯麗は都市の建築物に残存する

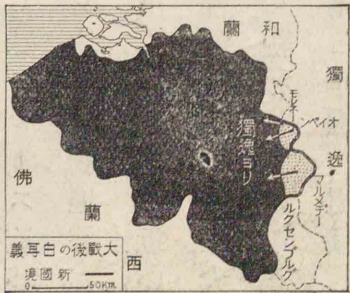
政治 順次蘭・西・佛等に歸し、一八一五年、和蘭と一國を組織し、

フレミング語が行はれ、南半は、ワールン人が主で、佛語を用ひる。大部は舊教徒で、殊に實業教育が發達し、國民は、よく融和してゐる。

1 ルアンダ・ウル
ンデ
2 西風を防ぎ得な
い
3 小巴里の稱があ
る
ブルッセル
市街
モンス・シャルロア
は鐵・機械ナミュー
ルは及物シャルロ
アは硝子マリーヌ
はレース・タールト
レー・ツールコア

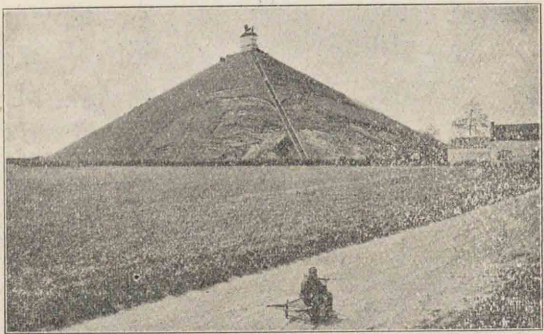


後に分離して、立憲王國となつた。西歐中歐の漸移地帯に位し、歐洲の戰場といはれ、獨立當初、永世局外中立國となつたが、大戰當時、獨軍は之を蹂躪した。平和條約の結果、永世中立を撤去し、國境を東方(モレネー・オイベ)に擴張した。阿弗利加のコンゴを領し、其の東隣の舊獨領の一部を統治することになつた。處誌 オスタンドは英國に渡る要津である。ガンは、中世よりの工業都で、ヴェルヴィエーと共(Ghent(Gand) is Bruges)に、綿織物リンネルの主産地である。首府ブルッセルは、國の中央に位し、佛國風の市街で、水陸交通の中心をなし、レース・毛氈を産する。其の



ンはリンネルを産する

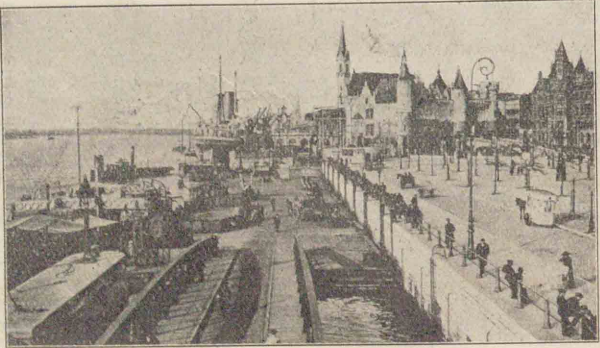
1 和蘭の領海を通過する不利があるが鐵製品、輸出小麦、原料品の輸入が多く、阿弗利加産物の市場である
2 (上)ワテ
ルローの戦捷記念碑(下)安土府の埠頭



の一部分を占め、佛・白獨間に介在する小面積の大公國で、同名の首府がある。鐵の産が多く、白耳義と經濟同盟を結んでゐる

第十六章 和蘭 (Netherlands)

概観 世界の最低國で、白耳義に比し、面積



が大で、人口が少い。内は治水酪農園藝外は航海貿易が發達して
ある。

日本と關係 徳川幕府の鎖國中も、蘭人のみは長崎で通商を許され、醫學・博物學・地理學を始め、歐洲の文物を齎して、明治文化の近因をなした。今や蘭領東印度とは、關係が密接し、貿易が盛んで、農林園を經營する在留邦人がある。我が國は、ヘーグに公使を置き、日本郵船・大阪商船の兩會社船は、ロッテ *Rotterdam* ルダムに寄港する。

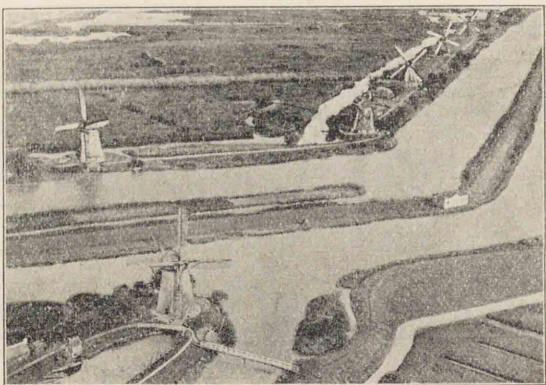
地文 大部は、ライン・マース・シエルトの三角洲と、海岸砂丘・新陸地^{ポラゲイ}で、淺い南海^{ノイデゼー}が彎入してゐる。國土の五分三は、海拔三米以下、四分一は海面以下の低地で、殊に西岸地方が低い。從



北東部の漂積土の外は砂又は粘土で南東境に最高點(三〇米)がある。フリシア諸島は海嘯に没はれた砂丘列の殘部。一部は沈降一部は十三世紀末の海嘯で出来た中央にアムステルダムに通ずる水路を残して埋立工事進行中

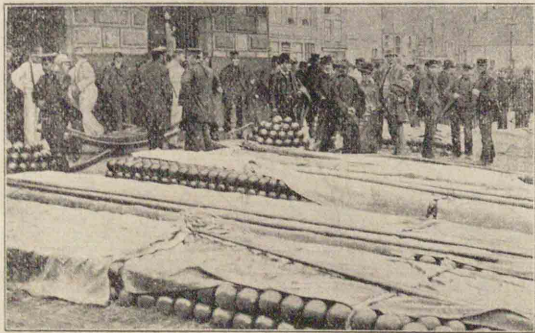
圖(上)ボルダ

1(下)和蘭のチーズ市場(球は罐に入つたチーズ)
1 收穫率白耳義に次ぐ
2 ボルダは牧牛、牧羊が盛大
3 球根植物が有名で、英、米其の他世界に之を輸出する
4 南東部は少量の石炭を産する
5 古來海國であるは此の國の特色
6 甜菜糖の外蘭領東印度産の粗糖を精製する



つて砂丘築堤によりて、河海の侵水を防ぎ、風車蒸氣唧筒を用ひて排水し、進んで新陸地を開拓し、政府・國民は、堤防の建設・維持に努力・注意を怠らない。氣候は、西歐式で、西風が卓越し、快晴の日が少い。北東部は、冬季、運河が凍結する。

産業交通 農牧が主要で、酪農品・甜菜・花卉、麥・馬鈴薯を産する。鐵・石炭の缺乏、水力利用不便の爲、工業は、造船・製糖・製陶・機織(絹)のみが行はれる。運河は、網狀を呈して、水路延長四千五百軒、國民の十分一は、傳馬船に生活して



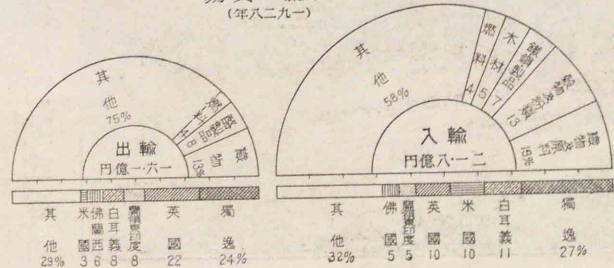
圖録(上)和蘭の小兒(靴履けるに注意せよ)(下)和蘭のヒヤシンス畑
海水との苦闘は國民の海事思想を涵養し又多濕不健康の氣候は國民の潔癖性を助長した



ある。ロッテルダムは、ライン水路及び鐵道(倫敦伯林間直通線)によりて、獨逸西部工業地帯の伸繼貿易を營み、安土府とともに、馬來諸島の産物の大市場である。



易賣の蘭和 (年八二九一)



住民政治 チュートン族(新教徒)が多くて、人口密度は、白耳義に次ぐ。國民の大部は海と戦ひ、剛毅堅忍な船員、探檢家を輩出して、十七世紀の中頃には、多數の商船を擁

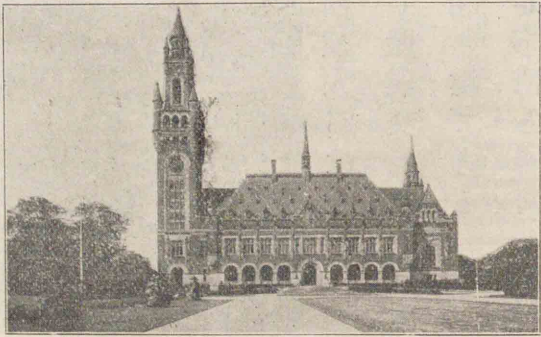
1 本國に六十二倍の面積

圖録(上)ロッテルダム(下)海牙の國際裁判所(平和殿)
2 平和殿にある列強、緩衝國である爲設置された



して、海上に覇を唱へた。其の後、英國に全盛を奪れたが、今尙ほ多くの商船を有して、主に外國貨物を輸送する。又領土は、馬來諸島の大部等を有する。當

國は、十六世紀末に、西班牙より獨立し、後に、白耳義と君合國を組織し、一八三〇年に分れて、今日に及び、立憲君主制の下に、二院制の立法部がある。處誌 フリシンヘン(フランク)は、主要郵便路に當る港津で、對英交通が頻繁である。首府海牙は、西岸に近い閑靜な都で、國際裁判所(Hague)は、西岸に近い閑靜な都で、國際裁判



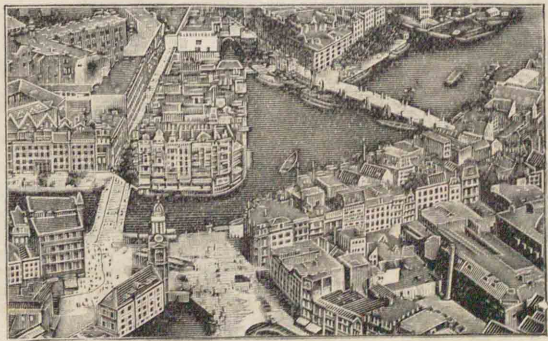
1 安土府と共に
歐・北佛の咽喉を
占め、中繼貿易が盛
んで、阿姆斯特ダ
ムの繁盛を凌ぎ、特
に東印度産物の大
市場である。
2 往時は熱帯産物
を歐洲諸國に供給
し、隆盛であつた。

所があり、陶器を産する。¹ロッテルダムは、當國
第一の貿易港で、ライン河口に近く、遠洋航路
の起點である。ハーレムは、衣服・リンネル園
藝の中心地である。²阿姆斯特ダムは、古來
著名の港市で、北海運河・北蘭運河の水運と鐵
道の便を有し、植民地貿易が盛んで、夙に金剛
石琢磨・造船が行はれる。ユトレヒトは機織
〔綿〕地である。³

面積 二萬、四萬方
人 四、四〇〇萬

第十七章 英吉利

概観 歐洲北西の島國で、我が内地に比し、面積・人口は七割に過
ぎない。併し、世界の四分一土地・人口を領し、産業・交通・文物・制度
が發展して、經濟上・政治上、實に世界の中心、平和の鍵である。
日本の關係 日英の大陸・大洋に對する地理的事務と國情とは、類



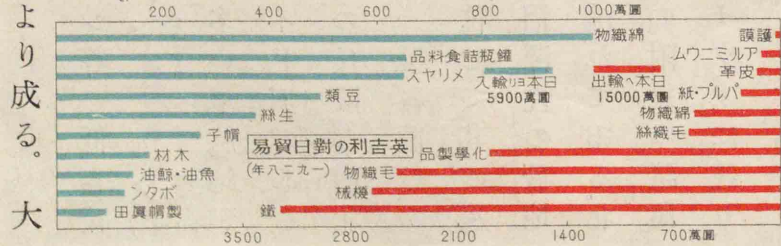
日本は往々「東洋
の英國」と呼ばれ
る。

1 ヘブライツ・オ
ークニー・オトラ
ンド・チャンネル等
の諸島



似點が多く、我が海軍・造船・海運・貿易・教育等の發達は、
英國に負ふ所が多い。東洋平和の爲、一時、攻守同盟
を結び、今も世界平和の爲、國際的に提携努力し、貿易
關係は圖表の如く密接である。我が大使・總領事は
倫敦に領事はリヴァプールに駐在し、日本郵船・大阪商

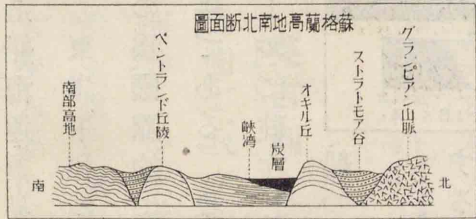
船の兩會社船は、倫敦
ミッドルズバラに寄港
する。
境 域 英吉利海峡
を隔て、大陸北西の
廣き陸棚に位し、大ブ
リテン・愛耳蘭の二大
島と、約五千の小島とより成る。大



英蘭・佛蘭西の兩對岸は白崖崖各河川の河口は喇叭狀である
最高點ベンネヴィスも三三三米である
何れも景色がよい

蘇格蘭の水河湖(英國最大のロモンド湖)

ヘブライツ、外ヘブライツ・スキーク、オークニー・シエトランド



ブリテンは更に英蘭・ウェールズ・蘇格蘭に分れる。
地勢、英蘭の低地は歐洲大平原より連續し、ペニン等の低き丘陵に横斷せられて波浪狀を呈し、テムス・セヴァーン・ハンバー・マーシーの諸河が灌漑する。蘇格蘭は南北に氷河湖の多い卓狀地があつて中央に地溝を挟み、クライド河がある。
ウェールズは、二條の丘陵が南北に連なつてゐる。愛耳蘭は、アイルシ海の西に位して、其の邊縁は丘陵、中央は沼澤性の盆地で、シャノン河等が流れてゐる。北部は、蘇格蘭や其の附近の諸島と共に、スカンデナヴィアに連り、南部は、コルンウォール半島(英)と

あつて中央に地溝を挟み、クライド河がある。
ウェールズは、二條の丘陵が南北に連なつてゐる。愛耳蘭は、アイルシ海の西に位して、其の邊縁は丘陵、中央は沼澤性の盆地で、シャノン河等が流れてゐる。北部は、蘇格蘭や其の附近の諸島と共に、スカンデナヴィアに連り、南部は、コルンウォール半島(英)と

延長三〇〇軒

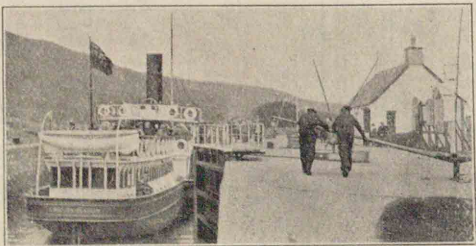
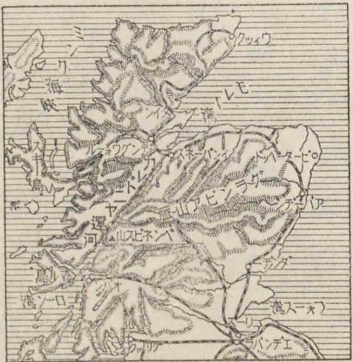
運河 カレドニア

全國土が北緯五十度以上でありながら氣候が溫和である濕度は夏季よりも冬季が大で生活に好都合である南東部は寒暑の差が稍大である



共に、ブルターニ半島(國佛)に連絡がある。河川は皆緩流で、水量が多く、三角江を開いて、船舶の碇泊出入によい。海岸線の發達は、世界屈指で、西岸は特に出入が多い。蘇格蘭のローン・モーレー・クライド・フォースの峽灣は、兩々、東西より彎入して、カレドニア・クライドの二運河を通ぜしめてゐる。

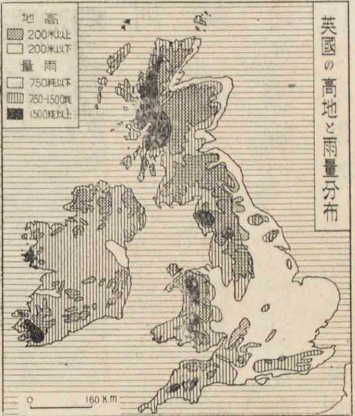
河を通ぜしめてゐる。
氣候 海洋の影響が著しく、等温線は、一月には南北、七月には東西に並ぶ。西風が



1. 倫敦は一年間の晴天の日が、原日よりも多い。因に煤煙の多し。工業勃興の爲に、田舎に集る人、口が荒れ、小作民の生活が窮乏した。小麦の生産が減少し、輸入に支えられた。食料は三ヶ月の貯蔵に頼る。地味は多量に輸入する。

漁船 ヤー・マスの

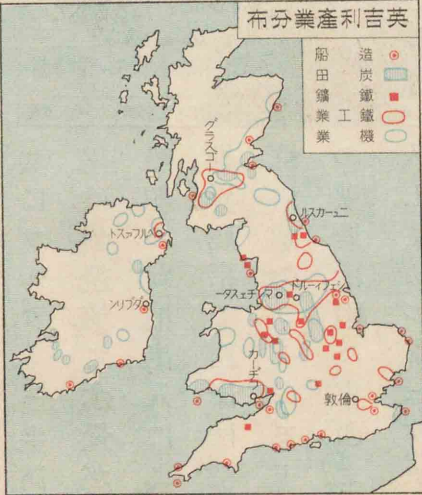
工業都市の発展に伴ひ、牛乳の製造品に家用の乳種を畜せられ、羊毛の生産は、不足である。人口は、羊の頭数は、多量に輸入する。



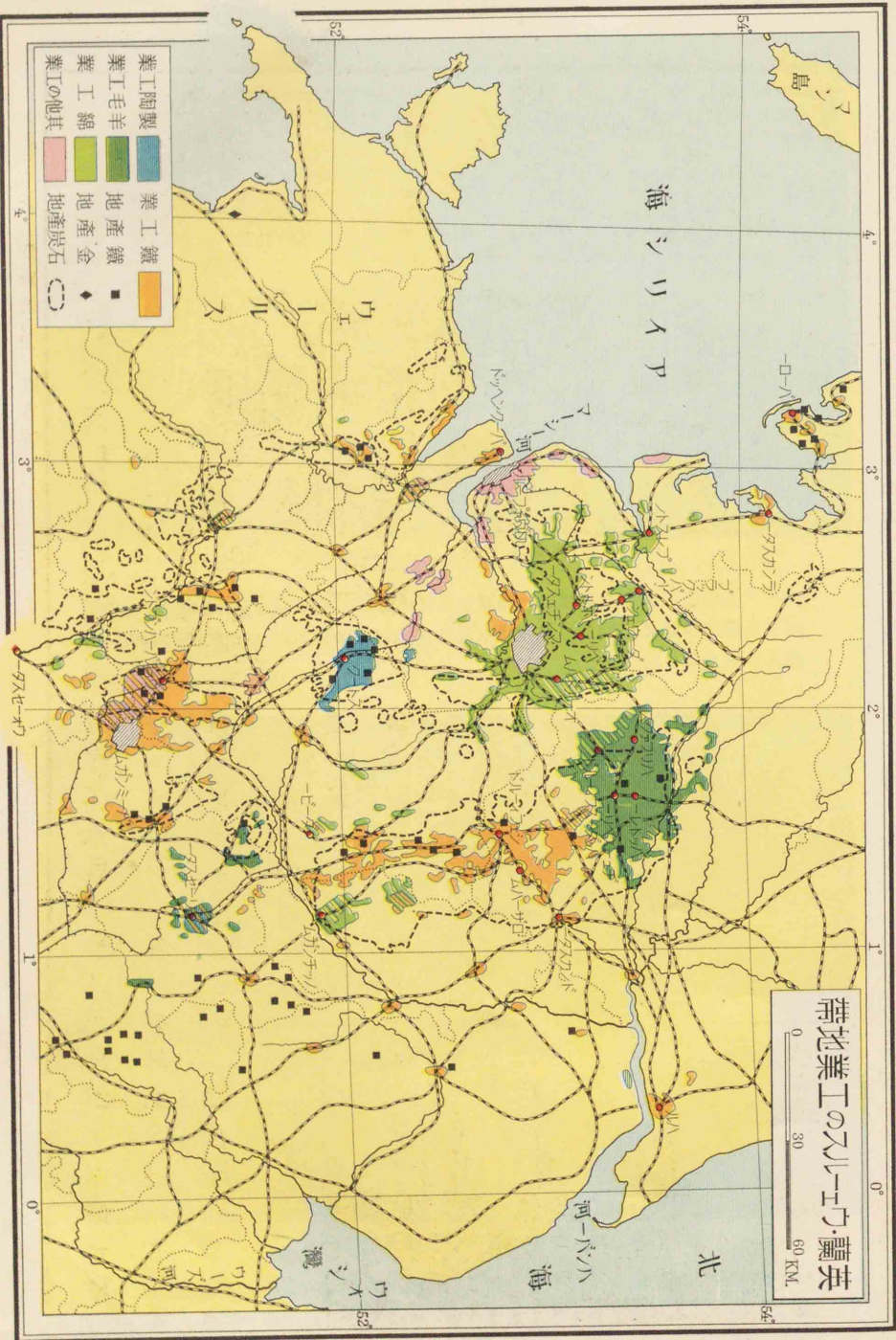
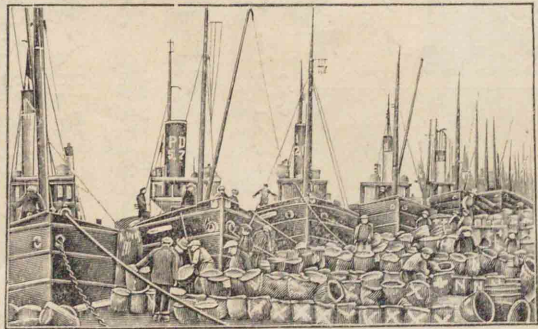
英國の高地と雨量分布

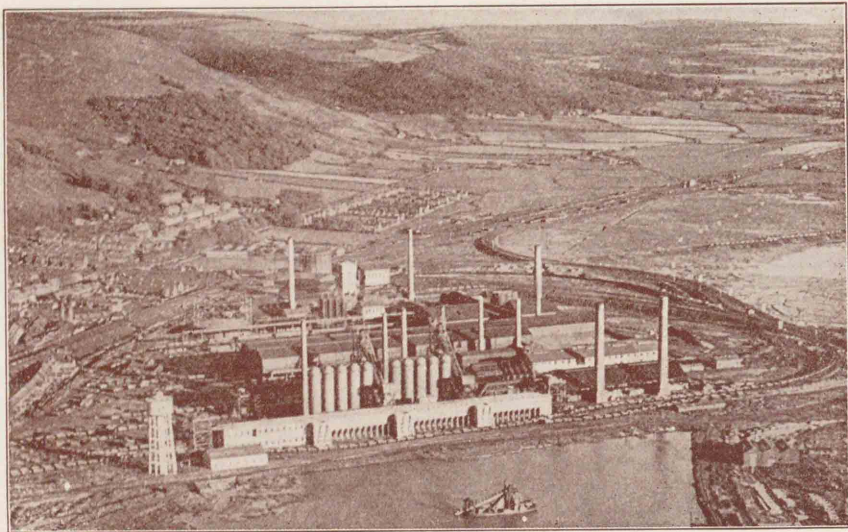
の東部低地は、
麥馬鈴薯、愛耳
蘭のアルスタ
ーは亞麻を出
す。牧場は、年々
増加し、牛馬豚
羊を飼育する。

英吉利産業分布



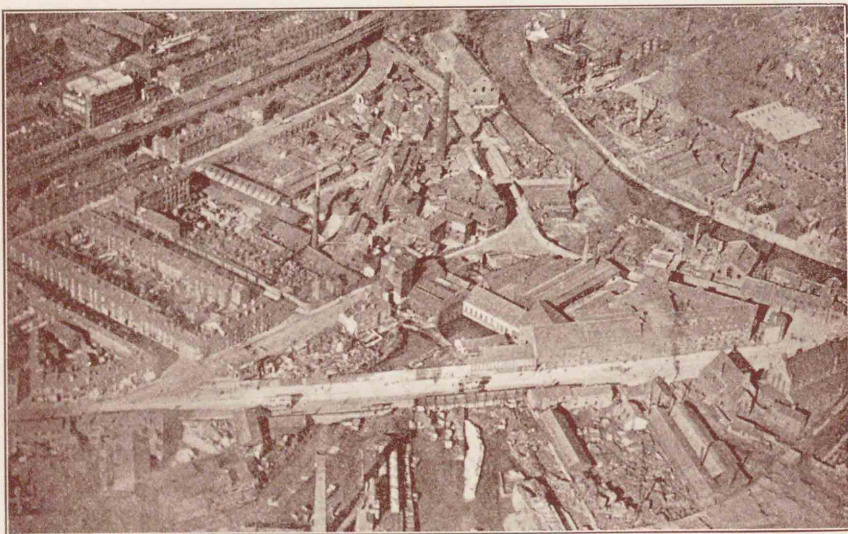
發達する爲、一般に雨量が多く、蘇格蘭ウ
ェールは最も多く、愛耳蘭が之に次ぎ、英
蘭の低地は最も少い。霧が深く、快晴
の日が少い。
産業 大戦後は、
農業が衰へた。英蘭





所鐵製のスルーエウ南

煉精の屬金の々種め始を鐵てひ用を炭石な富豐の近附はに岸海方東のフナーカ
 らか牙班西は鑛鐵の料原での一所鐵製を見らか機行飛は圖るあて大盛が工加
 るあてのもるれらせ入輸



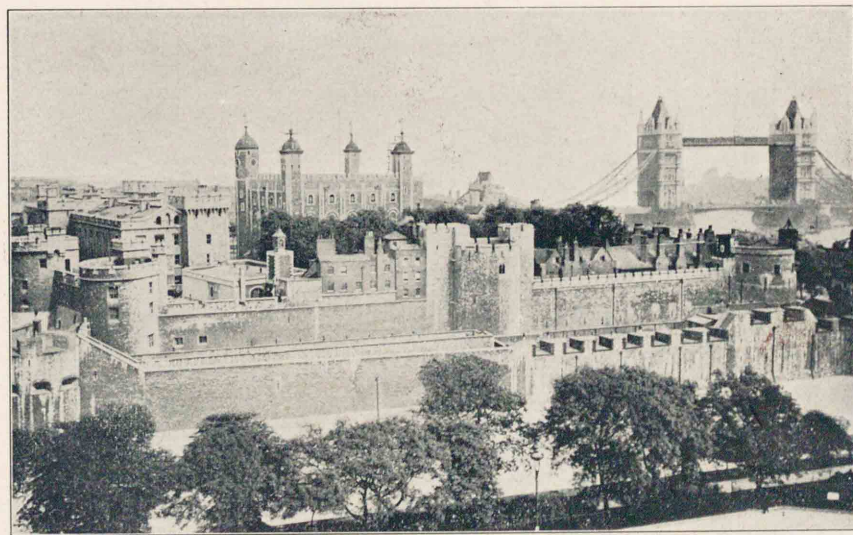
部一の帶地場工のドルーイフェシ

製で市都業工たし達發に岸河の地低たれま園に陵丘い多木樹はドルーイフェシ
 の地陵丘の外郊は地宅住るなく赤に帶一が空上の市は夜爲の光閃の爐鑛熔鐵
 るあてしなな地天別はと帶地場工し位に中林の綠



堤築の河スムーテの中市敦倫

築てつ互に籽三約が堤築の式園公いし美で一の所名敦倫は堤築の畔河スムーテ
で橋ーロルターワは橋るえ見に圖 るなてつなとスシアオーの中市の踏雑れか
るあに央中の市ど殆



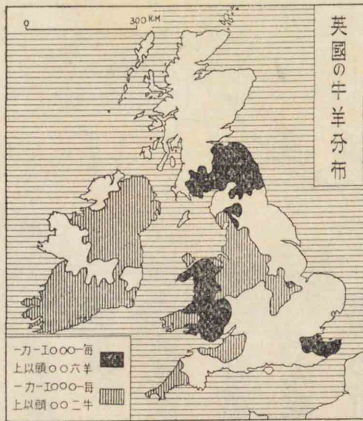
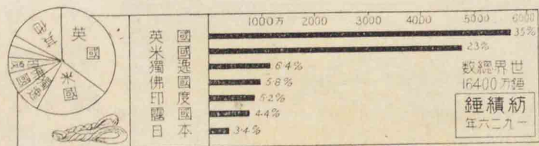
橋塔と塔敦倫

と營兵は今たつなもと獄牢りなもと殿宮に後れき築建てしと塞要ともは塔敦倫
橋塔の的代近の方左で築建古る語物を面半の史歴の敦倫てれき用使にと館物博
るてつなにうやく開に上が部橋は際の際の過通船大は橋塔 るあてしなを稱對好と
る

の生肉・牛酪を穀物と共に大フリテ
ンに送る
漁港ニアバーデー
ン・グリムスビー・
ハル・ヤーマス
石炭産額の二五％
は伊・典・亞爾・埃
諾・蘭・伯に輸出鐵
鑛は西・典より綿
は米より羊毛は
漆・新西より輸入
する
綿製品・毛織物・麻
織物・造船・機械等
の工業は世界第一
位製鐵業は世界第
二位

製造工場 黒郷の汽車

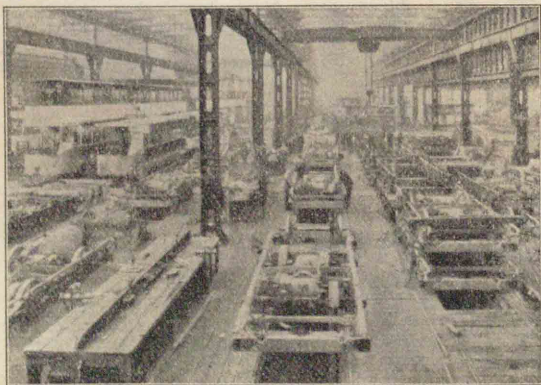
西部は濕氣に富みて綿紡績に適し
東部は少雨草地で
牧羊が行はれる爲
毛織業が發達し現
在では多く羊毛を
海外に仰いでゐる



英國の牛羊分布

故輸入鐵鑛を加へて、製鐵業が炭田地方に
勃興し、機械及物船舶が多く製造される。
又空氣の濕度は、紡績に適し、且つ植民地よ
り、原料輸入が容易なる爲綿毛麻工業が發

漁業は、ドッガバンク・北方諸
島が盛んで、鯨鱈を漁獲し、英吉
利海峡岸は、牡蠣を養殖する。
石炭は、英蘭中部以北蘇格蘭低
地南部
ウエール



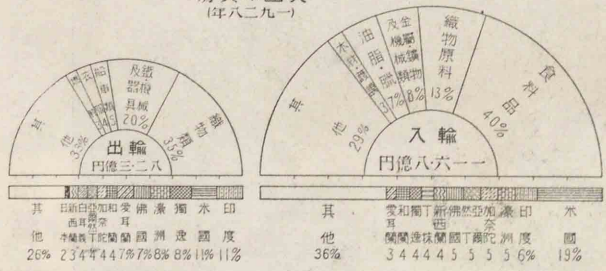
1 酒・煙草の外は輸入税を課さない貿易額、貿易關係國の多いのは世界に卓絶し米國と共に世界經濟の中心である。世界の模式的商業國であり同時に貿易表は亦模式的下圖の工業國の特色を示してゐる。

2 白耳義・瑞西に次ぐ
3 河口が喇叭狀で滿潮に大船の潮來する良港が内地に發達して水陸交通の連絡が良
4 土地が低平でない爲諸所に開門を設ければならぬ

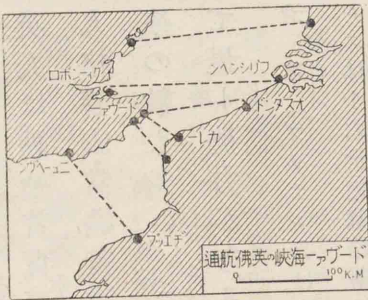


達した。是等の工業製品は、外見よりも實質を重視して、良質耐久をモットーとし、石炭と共に、植民地、諸外國に廣く供給せられる。貿易は、自由貿易主義を實行し、年々輸入超過である。併し近年内は、労働爭議の爲産業が停頓し、外は、市場恢復の困難で、商工業は、大戰前よりも衰退したが、尙ほ貿易額は、他國を凌いでゐる。

英の國貿易 (年八二九一)



1 陸半球の中心である
2 白耳義・和蘭に次ぐ工業地帯では特に密度が多く都市居住者七割に及ぶ
3 人口密度の大なる所と炭田分布とが一致してゐる



港と共に、航洋船の碇泊に適し、國內の交通も至便である。航空路も、倫敦より大陸の大都市に通じてゐる。海運業は、其の位置を利用し、二千三百萬噸の商船を擁し、倫敦・サザン・プロント・リヴァプールを起點として、パナマ・スエズ兩運河通航、喜望峯・角岬廻航の四大航路を初め、多くの短距離航路を開きて、自國のみならず、世界各國の旅客貨物を運輸し、到る處、ユニオン・ジャックの國旗掲揚船舶を見る。

住 民 人口の密度、増加率が、大で、海外移住者は、毎年十數萬に達する。先住民は、ケルト族で、アングロ・サクソン(チュール族)と混血し



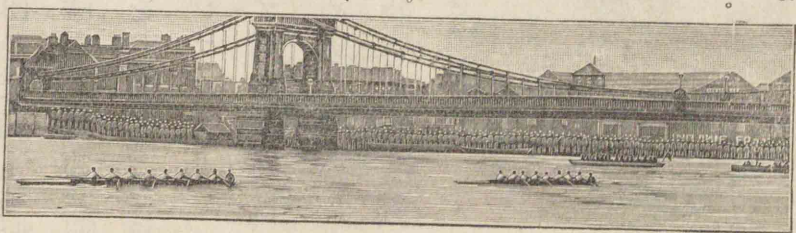
ケンブリッヂ・オクスフォードの兩大學の競漕

ケンブリッヂ・オクスフォードの大學は著名で何れも紳士教育に重きを置いてゐる



英人は、勤勉着實で、秩序を守り、信義を重んじ、教育は、人格養成、常識發達を主眼とし、よく普及、發達して、大學の數も多い。この國の言語は、世界の商業語として最も勢力がある。

沿革 ブリテン島は十一世紀にノルマンディー公に征服され、ウェールスは十六世紀蘇格蘭は十七世紀初に、英蘭に合併して大ブリテン



一九三三年獨土の舊領土中當國又は當國植民地の統治下に屬した處が多い。英國の植民地は廣大で生産地が多く又狭小のものも通商上、軍事上の形勝地が多い。

國會議事堂

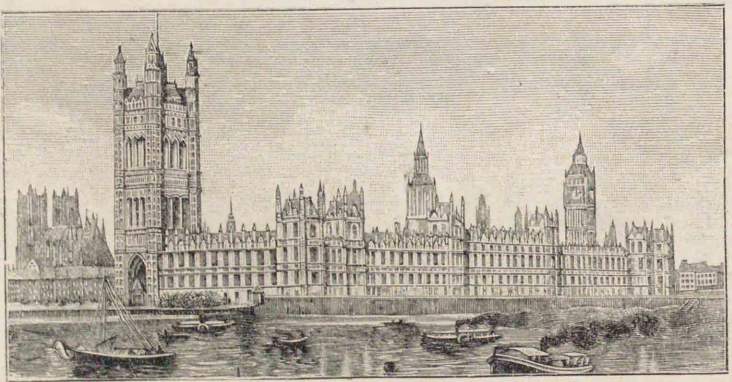
本國と全領土とを合せたものを普通「ブリチン(大英)帝國」といふ。大戰後印度及び自治領(加奈陀、南阿聯邦、濠洲聯邦、新西蘭等)は廣大な自治權を要求し、政府は屢々大英帝國會議を倫敦に開いて全帝國の融和、結束を圖つてゐる併し其の統一は頗る困難なやうである。

王國となり、愛耳蘭も、十九世紀初に聯合したが、近年北愛耳蘭(アイルス)の外は、愛耳蘭自由國となつた。植民地の膨脹は、十七世紀に始まり、十八世紀に米國の分離獨立があつたが、十九世紀に印度等を、得今や領土は、面積三千一百五十萬方呎、人口三億九千一百万に達して、眞に英國に太陽の没することはない。

政治 國號を、大ブリテン、北愛耳蘭合衆

United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland

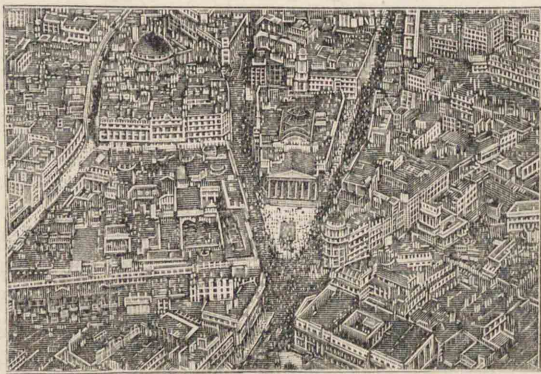
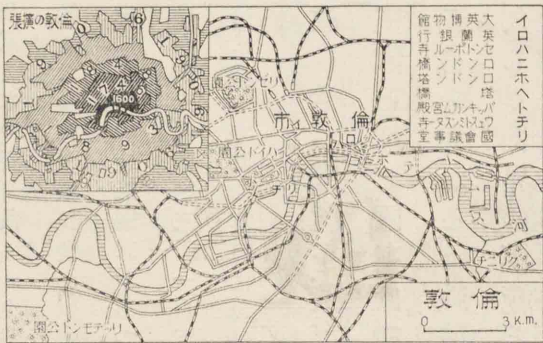
王國と稱し、國王は、印度皇帝及び全領土の元首を兼ねる。政體は、立憲王政で、憲法は、久しく世界の模範となり、憲政の整頓も、亦各國の師表である。陸軍の常備兵は少いが、海軍は精銳で、主力艦隊五十二萬餘噸、空軍と共に、植民地との連絡を保ち、通商保護に任じてゐる。



愛耳蘭自由

1 テームス河口より
上流に無数のドックがあつて潮汐
干満の調節をする
接續都市を合はせ
人口一萬即ち世
界の最大都である
濃霧・煤煙は市の
名物で白晝でも點
燈し地上交通の杜
絶することがある

〔圖解〕(上) 飛行機
より見たる倫敦の
中心部(下) 倫敦ビ
カデリー街

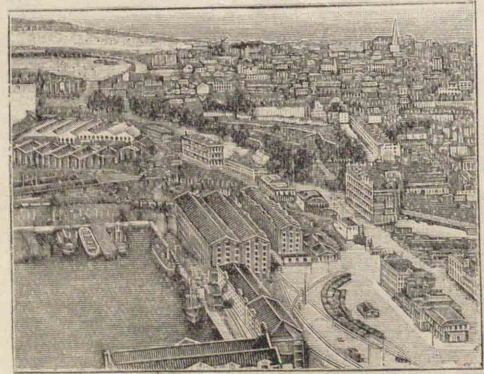
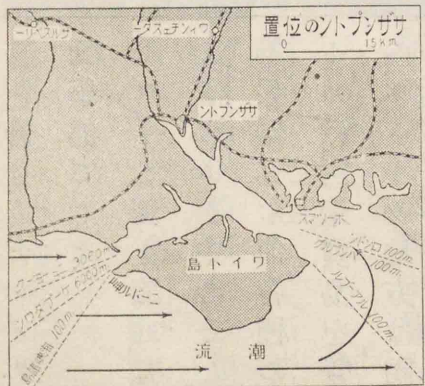
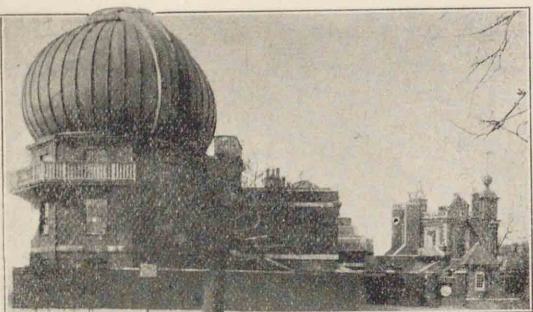


處誌 英蘭 面積・人口・文化・富力・他地方に優り、都會が最も多い。
首府倫敦は、テムス河に跨り、航洋汽船も入港する。交通・商業・金融
の世界的な大中心、國內の政治・教育・工業の樞軸、
世界第二の大都市で、バックingham 宮殿・國會議

1 子午線の其點世
界時間の基本であ
る

2 航洋船は海潮を
利用して入港する
南西海岸にブリマ
ス軍港がある

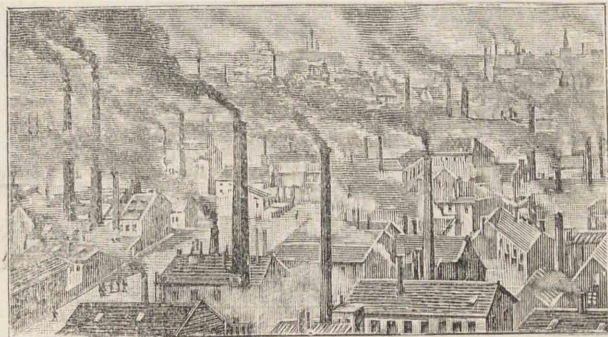
〔圖解〕 グリニチの
天文臺(下) サザン
プトン



事堂・セントポール寺・ウエストミンスター寺・ロンドン塔・英蘭銀行・塔
橋等宏壯由緒の建築が多い。南東のグリニチに天文臺、西郊のウ
ィンズルに離宮がある。ドーヴァーは、佛白に對する交通・軍事上の要
津である。南岸のポーツマスは、最大軍港で、海軍造船所がある。
サザンプトンは、倫敦の一外港をなし、大西洋航
路の起點で、主に對佛貿

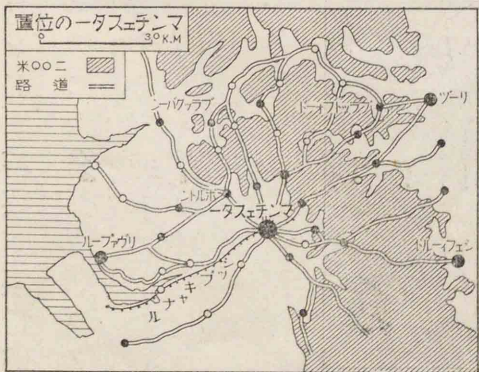
1 ベニン南麓の炭田上に發達した都市
 2 シェフィールド・ロツテル・ハム・ダービー・ドンカスター・ウォルヴァーハンプトンが名高い
 3 甲郷の一部 (ヴァーミンガム)

3 世界鍾數の三分一を有し五分二の綿絲を産し印度・埃及・濠洲に輸出する



交通が至便、又氣候が適當な爲、紡織業が發達し、マンチエスターは、其の中心として、原料製品の大倉庫地である。マーシー河口の

易を營む。ケンブリッジ・オクスフォードは、代表的學都である。
 セヴァーン河上流地方は、一に黑郷といひ、バーミンガムを中心として、採炭・製鐵が盛大で、利器兵器其他各種の機關を産する。ブリス
 トルは、對米貿易を營み、ストーク地方は、陶磁器を産する。
 ランカシャー地方は、石炭・水量が豊富で、水陸



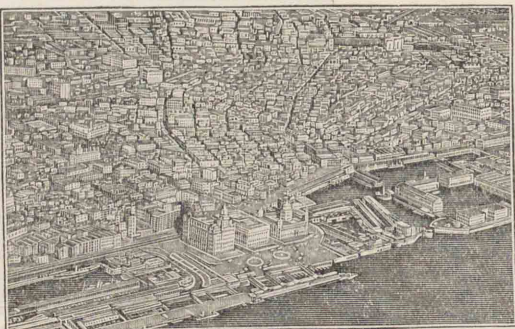
1 倫敦に匹敵する貿易港

パークンヘッドには大造船所がある
 パーローは船舶・軍器を製造する

2 ドック・ガーバンクに近い漁港

3 ベニン東麓の炭田の北部を占める

4 附近に鐵鑛を産し製鐵が行はれる



リヴァプールは運河・鐵道をマンチエスターに通じ、綿毛工産の大貿易港で、主に米國・加奈陀と取引する。

ヨークシャーは炭田が開けて、工業都市が連なり、就中リーズは洋服地、リンネル、ブラッドフォードは梳毛絲製造で名高い。ハルは、ハンバー河に臨み、織物の輸出、スカンヂナヴィア材の輸入が多い。タイン河畔のニューカッスルは、航洋汽船が寄港して、石炭の輸出が多く、南方のミッド

ドルスバラと共に船舶機關化學製品の製造が盛んである。
 ウェルズ 南部に、良質の石炭を産し、カーヂ・フ・スワンシーより輸出する。此の兩市は製鐵をも營んでゐる。

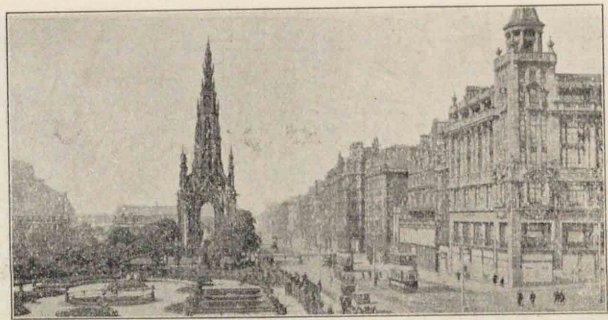
蘇格蘭 中央低地は、炭・鐵を産し、水運の便がよく、クライド河畔の

樂土と呼ばれる

1 クライド河遡江の終點世界第一の造船地で附近は綿絲紡績が行はれる
クライド河畔のダンバートン・ポーツグラスゴー・グリンノックも造船業が盛んでグラスゴーと共に英國造船高の三分一を産し且つ外國の造船の依頼に應じてゐる

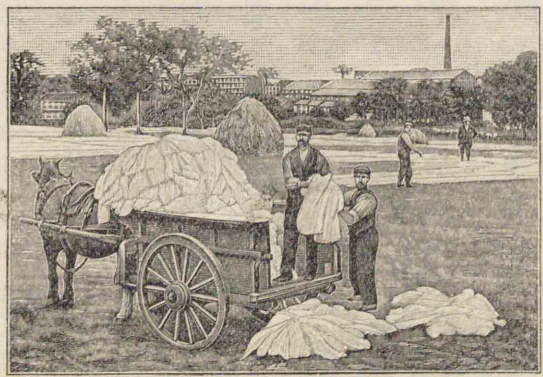
【圖解】(上)エジンバラ(下)北愛耳蘭のリンネル晒し
アバーデーンは北海の漁港

面積 五萬方軒
人口 三〇〇萬人



造船を始め、工業地區が發達し、人口が集中してゐる。當國第二の大都格拉斯ゴーは造船鋼の輸出が盛んで、化學製品、陶器の産も多い。
エジンバラは景勝地、學藝都で、醸造蒸溜印刷業が行はれる。ダンヂー
Edinburgh 22 Dundee 17
は、製麻造船地で、漁業の

根據地である。
愛耳蘭 北東部アルスターは、英本國の一部で、蘇格蘭・英蘭よりの移住者が多い。
Ireland Ulster



ロンドンデリーは船舶・リンネル・網索を製造する
1 大旅客船の建造で名高い
2 大ブリテンは工業本位愛耳蘭は農・牧本位
【圖解】ダブリン市街

西班牙 五萬方軒
面積 人口 三〇〇萬人
葡萄牙 九萬方軒
面積 人口 六〇〇萬人



穀物を英國に輸出する。
ベルファストは、亞麻を露白、石炭鐵を蘇格蘭より輸入し、リンネル船舶を産する。愛耳蘭自由國は、種族(ケル)宗教(舊)産業風習が、アングロサクソン人と相容れないで、久しく壓迫せられ、屢、反抗運動を試み、又多く米國に移住したが、一九二一年、遂に自治領となり、大統領を戴いてゐる。東岸の首府ダブリンは、醸造蒸溜・ポプリン製造が榮え、家畜
Belfast 22 Free State Ireland 22 Dublin 22 Poplin

第十八章 西班牙・葡萄牙

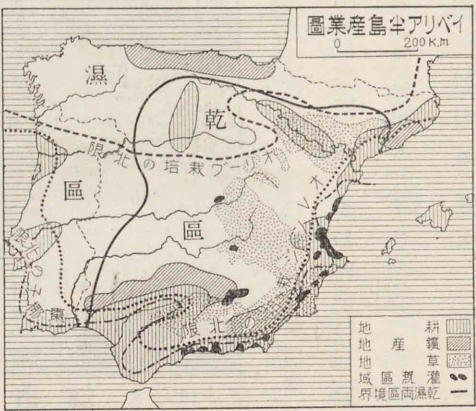
概観 大陸の南西、イベリア半島で、大西洋・地中海間に位し、ジブラルタル海峡を隔て、阿弗利加に對する。兩國とも、四百年前は、他に先んじて、海上の覇者となり、廣大な植民地を設けたが、其の後

歐・弗の陸橋であるが、ピレネの山脈と高台性地形との爲、價值が少い。西班牙は近來國勢が恢復した。日本では昔南蠻といつた國語となつた西國語はピロ・ド・メリヤス・合羽・カステラ・シヤボン・キヤラコ・葡萄牙は羅紗・カルタ・金巾・パン・金米糖等である。日本より西國に香料・絹布・葡萄酒・油・陶器・薄荷油を輸出し、西國より食鹽・コルク・葡萄酒よりコルクを輸入する。1. エプロ・ドイロ・タホ・ゲア・ヂアナ・グアダルキヴィル・で後者のみに舟運がある。2. エプロ河谷・グアダルキヴィル河谷（アンダルシア平原）が重要である。北岸は西歐式氣候

萎靡した。しかも國民は、國力の挽回を念とせず、却つて内に相争ひ、外は、兩國相反目する。日本と關係 十六世紀の半頃、葡國は鐵砲、西國は基督教を、我が國に傳へて、歐洲人の先驅者、新文明輸入の恩惠者であるが、現今、彼我の關係は、甚だ淺い。我が公使は、マドリードに駐在してゐる。地 勢 半島の四分三は、西に傾いたメセタ高臺で、北縁のピレネ1. カンタブリア、南端のシエラネヴァダを始め、數條の褶曲山脈が、殆ど東西に並走し、諸河流は、其の間に峽谷低地を開いてゐるが、舟運の利が少くない。海岸は、北西部のリアス式の外は、出入が少なく、斷崖が多い。氣候 西部は、海洋の影響で、森林が茂り、南部は、地中海式氣候で、果樹栽培に適する。内地は、大陸性氣候で、秃山が多く、不毛の草地が廣い。雨量は、東半が少い。

東半部は人工灌溉の必要がある。ヴァラドリード地方は、西班牙の穀倉地、地中海氣候の東部・南東部海岸は、オリヴ・柑橘の産が多い。

1. ドイロ河谷のポルトワイン・ヘレスのシエラが有名。北西岸の鰐南岸の食鹽も重要物産。2. コルク皮の採取。3. 世界産額の二分一以上を供給する。4. 葡國の海運は、稍盛んである。



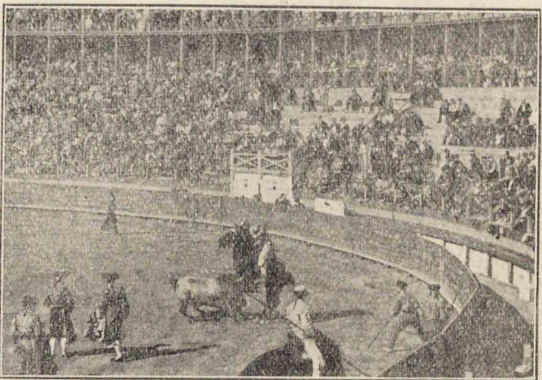
産業交通 メセタでは牧羊、河岸、地中海岸では農牧が行はれる。西班牙は、北部に鐵、南部に銅、水銀、鉛等の鑛山が多いが、概ね外國人の經營に係り、多く鑛石のまま輸出される。

業 葡萄酒醸造・コルク製造が行はれる。鐵道は、地形に妨げられて輸送力が少なく、海運は、不振で英國人に頼る貿易が多い。住民政治 住民の大部は、原住のバスク族と他民族（ケルト・テュートン）との混血種で、言語



南部山地には亞刺比亞人が住む住民は僥倖を希ふて勤勞を厭ふ人口は産業の稍發達した海岸地方に多い
西語・葡語は昔の盛時の倂として世界各地に行はれる

〔圖解〕(上)闘牛技(下)マドリッド(建物に圍まれた廣場が西班牙風の特徴)



文化宗教はラテン系である。住民は、少なく又増加率も少ないが、海外移住者が多い。教育は不振で、住民の半数は無學の上に、闘牛に熱狂する。西國は立憲王制、葡國は立憲共和制である。
沿革 十六世紀初に榮えて二國が建設され、西國は新大陸の發見、葡國は喜望岬廻航の名譽を荷つて、



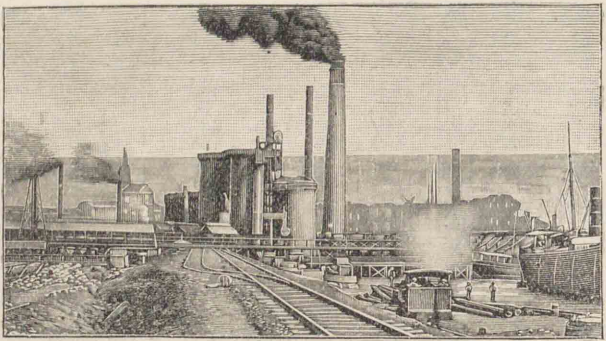
盛んに亞米二洲に廣大な植民地を設けた。其の後國民の倦怠政府の失政の爲、國勢が傾き、植民地は、或は獨立し、或は奪取されて、今は弗亞二洲に、其の形見のみがある。
處誌 西班牙 首府マドリッドは、國の

Spain Madrid st

↑ 海拔五〇米

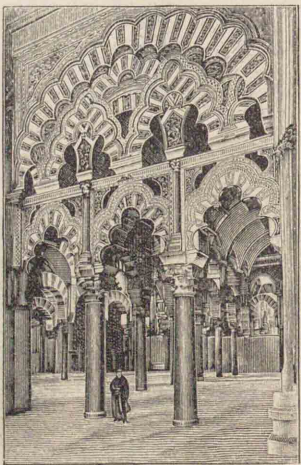
〔圖解〕(下)アルハンプラ宮殿の内部(上)ビルバオの製鐵所

トラファルガルは百餘年前英將ネルソンが佛國艦隊を破つた處で、パロスはコロンプスが新大陸發見の出帆港である
↑ 氣候の良好で名高く又葡萄酒を輸出する



中央高所に位し、交通・商業の中心で、廣大なる闘牛場があるが、氣候が不良である。
バルセロナは、當國第一の貿易港で、コルクの積出し、綿織造船が行はれる。

Barcelona 76



ヴァレンシアは、絹布・果物を産する。グラナダは、コルドヴァと共に西サラセン國の舊都で、アラブ族建設のアルハンブラ宮がある。セヴィラは、鐵・果物を輸出する。カデスは、當國最古の港で、巴里よりモロッコに至る急行鐵道の終點である。ビルバオ・サンタンデルは、製鐵が榮え、又英國への鐵礦輸出が多い。
葡萄牙 首府リスボンは、タホ河口の商港で、

Valencia 27

Granada 11

Cordova 8

Saracen

Sevilla 22

Cadiz 8

Bilbao 15

Santander 8

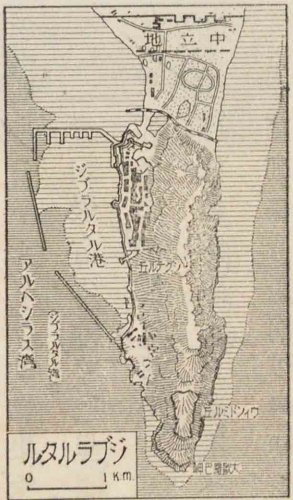
Portugal

Lisbon 53

T. Regis

面積 五万平方人 二萬人

面積 五〇〇方人 五〇〇〇人

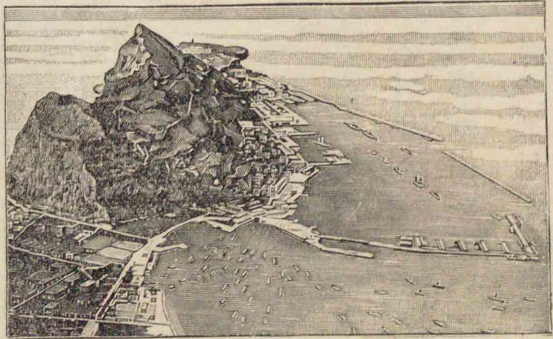


コルクを輸出する。オポルトはポルトワインを輸出する上にトロール船の根據地として有名である。

ジブラルタル(領英) 西班牙南端の岩山の小半島である。良港を有し、地中海の咽喉に當る

故二百餘年前英國は之を占領して、堅固な要塞を設け、海軍根據地とし、又冷蔵食料品石炭を供給する。

アンドラ ピレネー山中の小公國で、佛西の保護監督を受けてゐる。



面積 五〇〇方人 五〇〇〇人

第十九章 總括

一 自然地理

地勢 ウラル山脈ウラル河裏海・マニチ河谷・アゾフ海は、亞細亞

との自然境界で、政治境界と、多少一致しない。

東歐(露西・バル)は、大陸の軀幹で、獨逸・チェコスロヴァ

キア・墺地利・洪牙利・瑞西・和蘭・佛蘭西は第一肢節

で、イベリア・伊太利・巴爾幹・ユトランド・スカンデ

ナヴィアの五半島と英吉利諸島とは第二肢節である。

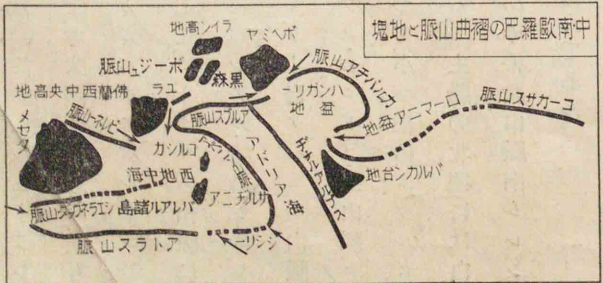
大陸は北西地方中央低地・南部高地の三

區に大別される。

北西地方 ウラル・スカンデナヴィア兩山脈、ラブラント・芬蘭・蘇格

蘭・北愛耳蘭の諸高地を含み、古い地塊の斷片である。中央低地

(歐洲大) 英蘭・ウラル山脈間の大平原で、其の東部は、北極洋より

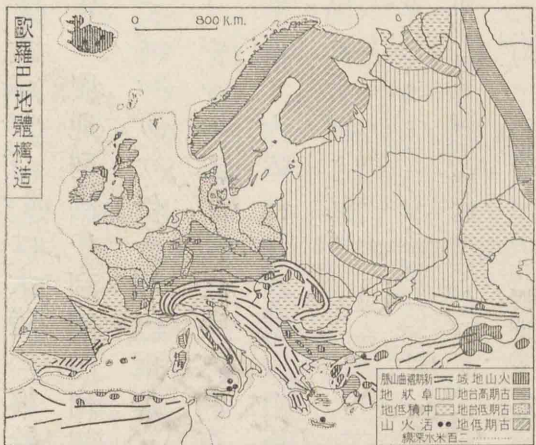


亞細亞洲の如き大地塊・山脈はないが多數の肢節があつて地形が複雑である。 軀幹と半島との境界はバルチック海岸のニ・メン河口と黒海岸のドニエ・ストル河口とを結んだ線である。 1. 芬蘭・ラブラントを含む

1 地中海諸國より大平原諸國を隔てる大障壁となつたアルプス主脈と南方の支脈との間に地塊の隆起や盆地の陥没がある。ピレネー・シエラネヴァダ間のイベリア地塊、カルパチア間のハンガリー盆地、その他地中海の著例である。

英吉利諸島の南部高地は南は佛の中部西地に連つた古い山脈の断片である。

氷州も其の一部であるがヘクラー等の火山の活動で現在の地形となつた。



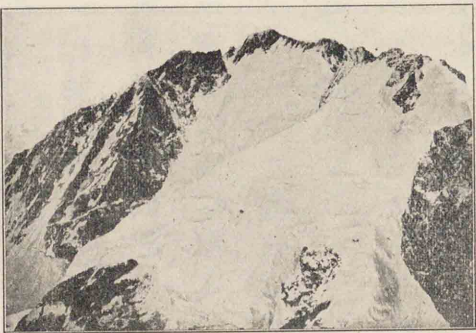
歐羅巴洲地體構造

ア露西亞臺地に及ぶ断片の高地(中央高)があつて、幾多の盆地を含んでゐる。

地體構造 北西地方 甚だ古い岩石より成り古の北極大陸の南西部を占めた陸塊(カドニア)が侵蝕を受け、断層を生じ、沈降し、氷河を被つた爲、北海・アイス海の成生と共に、断片の高地、氷河湖多き低地となつた。歐洲大平原(低地) 東部は漂積土・黄土が堆積し、其の他は、アルプス山脈中央高地に由來する冲積平原である。露西亞平原は、殆んど地變

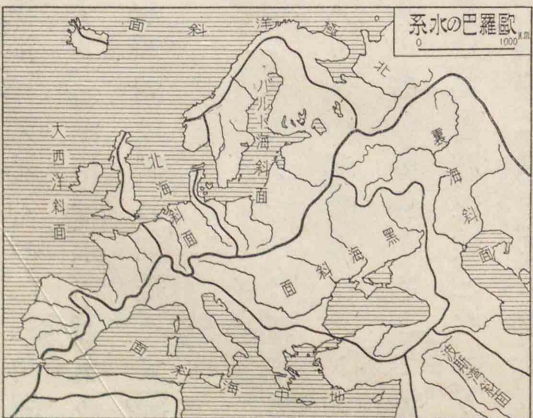
1 當時は現今の數倍の幅を有したものと認められる。

圖解 アルプスの氷河の起源地



山脈褶曲の方向に、重大な影響を與へた。イベリア半島のメセタは、四方に断層崖を繞らす侵蝕断片で、諸山脈は、河流に隔てられた地壘である。

水系 東歐には、著しい分水界がなく、河川は、緩かに輻流する。中歐西歐の

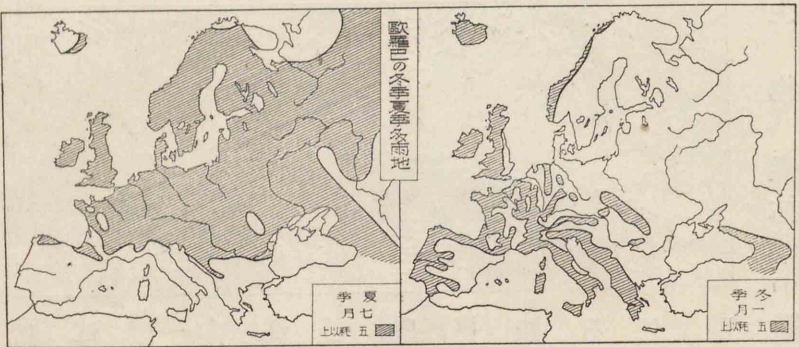


なき爲、地層は、水平状態を保ち、唯、表面のみ侵蝕を受けて緩な波状を呈してゐる。アルプス山脈(南部) 南亞細亞より變入してゐるテチス海に堆積した厚い地層より成り、主脈は南方、支脈は内部盆地より、壓力を受けて褶曲したもので、地形が複雑である。主脈外側の中央高地帯(ヴァリス)は、英吉利諸島南部の高地(アルモリ)と共に、古い褶曲山脈の残片で、北西地方の古い地塊と共に、アルプス

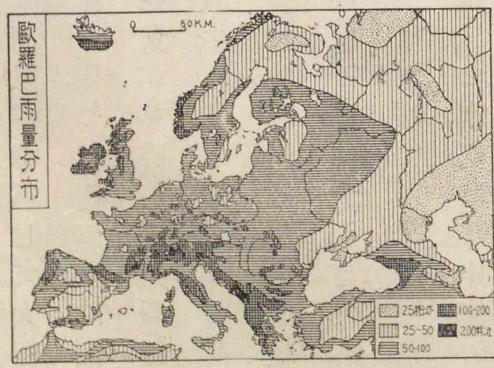
1 ボーデン湖(水深三三三米)、ジュネーヴ湖(三三三米)、ラドガ湖(二五三米)、バラトン湖(二〇六米)が有名である
 アルプスの山中湖は峨々たる高峰と相俟つて世界の大公園を現出してゐる
 アルプス・スカンジナヴィアの河川は多い電力の供給が
 2 氷河作用を蒙つた陸の最低部が沈降して浸水したものの
 3 面積二七〇萬方呎最深點はイオニア海の南部(四七五米)で平均深度二四三米

河川は主にアルプス山脈に發し、地中海、黒海に入るものは三角洲、北海、大西洋に注ぐものは三角江を形成する。湖沼は、氷河河水の作用で、山間、平原に成生したものが多く、氷河湖は概ね細長くて深い。
 海岸 北極洋岸のコーラ半島は、白海を抱き、スカンジナヴィア半島の東に、バルチック海、ボスニア灣、芬蘭灣が入り、其の咽喉部に、ユトランド半島がある。浅い北海の西に、好漁場の廣い陸棚があつて、英吉利諸島を載せてゐる。ブルターニ半島は、英吉利海峡とビスカヤ灣との間にある。地中海は、歐亞弗の三大陸に圍まれて、西はジブラルタル海峡、東はシリア海岸に至り、北東は多島海によつて黒海に通じてゐる。東にキプロス・クリート、西にシシリ・コルシカサルヂニアの島々が浮び、中央に、伊太利半島が突出して、アドリア海・イオニア海・チレニア海を分けてゐる。

1 舊ビレネー・シエラネヴァダ 兩山脈とチレニアランドといふ
 歐洲の最高火山はエトナ(三三七四米)
 3 ギリシア・クリートの山脈

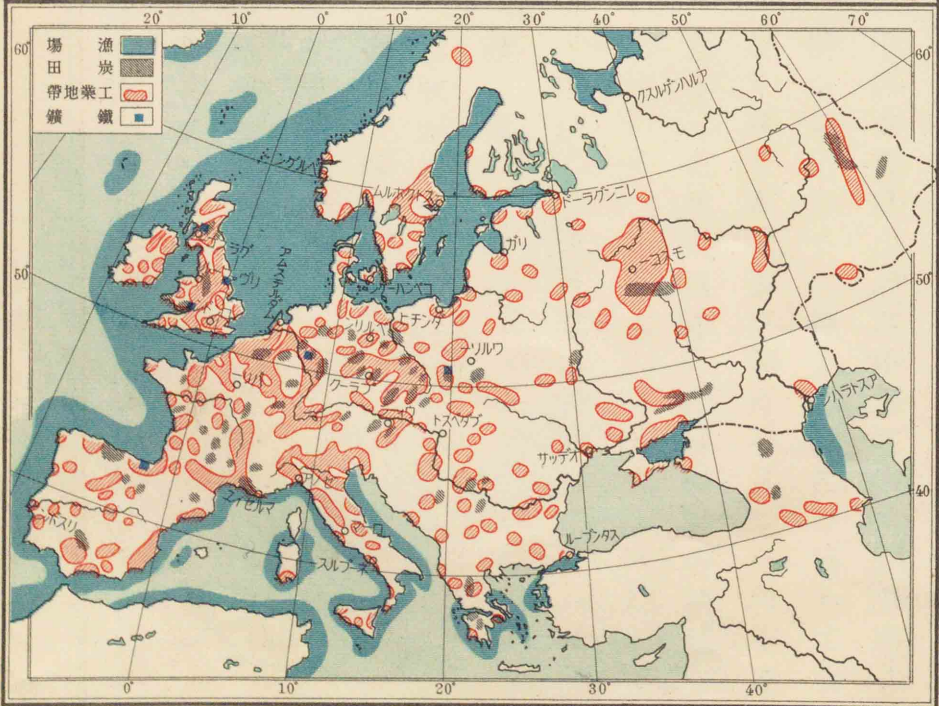
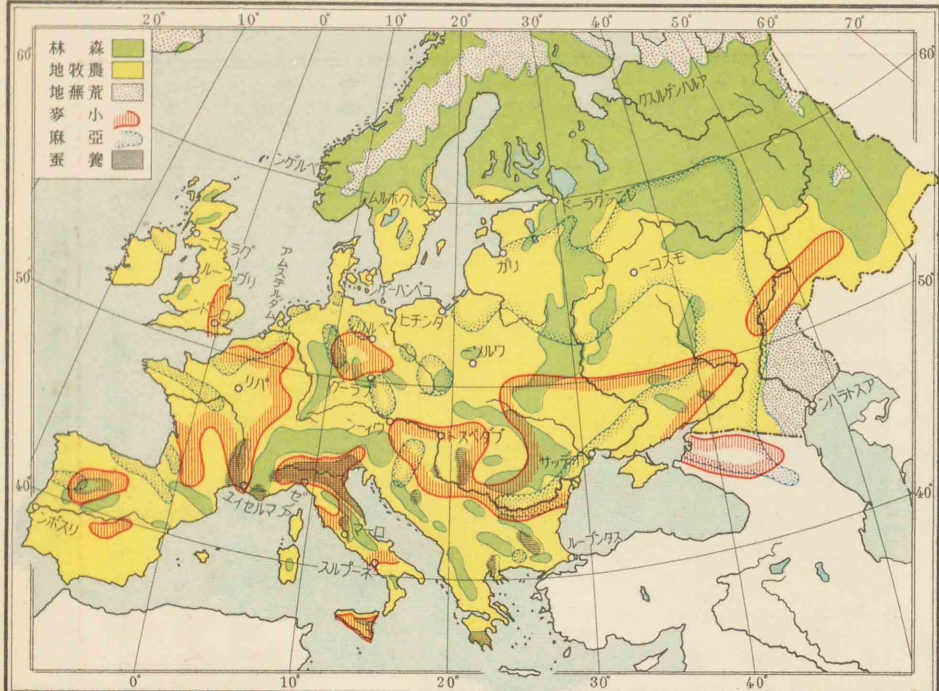


アルプス本支脈の生成に伴ひ、イベリア半島の東方連続と、伊太利西岸臺地とが破壊、陥落した爲、西地中海盆を生じた。チレニア海、伊太利半島の火山噴出は、之に關聯し、サルヂニア・コルシカ・シシリ^{〔部〕}は、其の斷片である。アドリア海盆は、今のロンバルデー平原、洪牙利平原をも含んだ古のダルマチア地塊の沈水區域である。東地中海盆も、沈水によつて出來、多島海の諸島は、沈水山脈の一部が水面に現はれてゐるもので、サントリン島は、此處に活動した。黒海は、テチス海の一部と、バルカン山脈の東方連続の陥落區域とである。



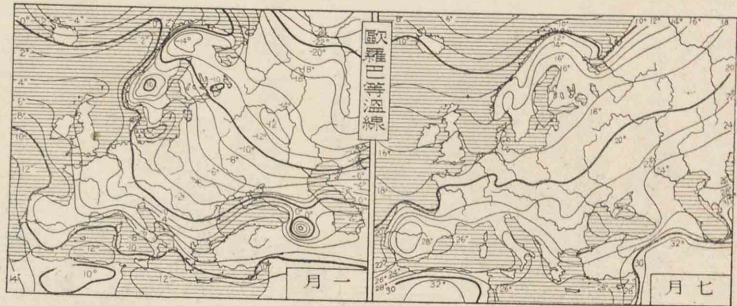
氣候 本洲は、北東の小區域の寒帶以外

歐羅巴產業圖



1 氷州附近に低氣壓アゾレス島附近に高氣壓がある爲である
 アルプス・ピレネー・スカンデナヴィア 諸山脈と氷州とに氷河がある
 灣流の影響で一月と七月の等温線は全く方向を異にする特に西海岸は一般に緯度に比して甚だ温暖で北緯50度にある北岬も冬季凍結しない
 2 夏は阿弗利加の影響を受け暑くて少雨冬は温かくて多雨
 北部は燕麥・稈麥・甜菜・麻・馬鈴薯南部に大麥・小麥・玉蜀黍が多い
 珍奇な生物巨大獐猛な動物は居ない

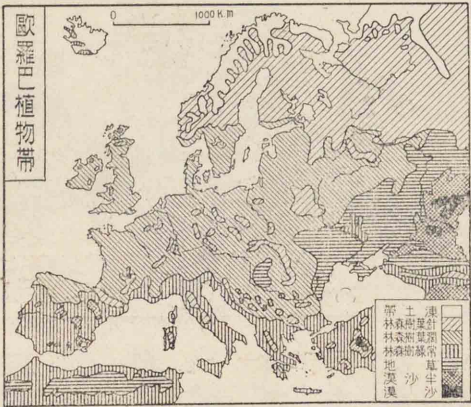
生物 森林は、中歐以東に繁茂し、伐木後は、農園、牧場に利用し、就



は温帯に位し、夏季の外は、西風が卓越して、大西洋殊に灣流上の濕氣を齎す。従つて西が海に面し、東に高地を負ふ處は、雨量が多い。又氣温は、南より北するに連れて減少し、其の較差は、大西洋岸が最小、東部が最大で、地中海岸は年中温暖である。右によりて、氣候は、四區に大別される。即ち西歐式の大西洋方面は、温暖で、四季降雨を見、殊に夏に多い。地中海式の南部は、年中春の如く、冬に雨がが多い。東部は大陸性で少雨である爲草地、半沙漠をなす處がある。中歐・バルチック海岸間は、漸移地帯で、夏涼、冬寒、河海の一部は凍結する。

植物帯は北より南へ凍土帯・寒温带・林・亞熱帯林と漸移し南東部は僅に草原帯をなし沙漠はない

人口稠密の爲食糧が不足し他大陸より輸入する

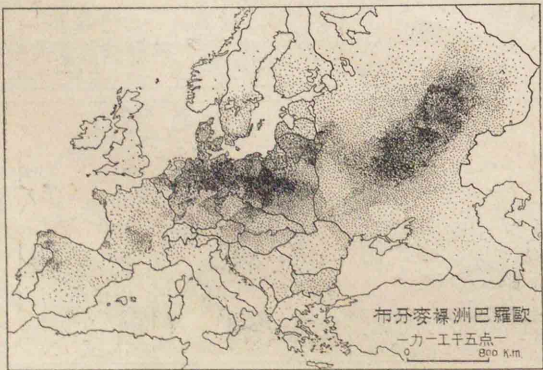


中、黒土帯は小麦、地中海地方は亞熱帯果樹を栽培する。野生の動物は極めて少なく、到る處家畜を飼育し、且つ良種を産する。北海・大西洋には、鯨・鰯の繁殖が多い。

二 人文地理

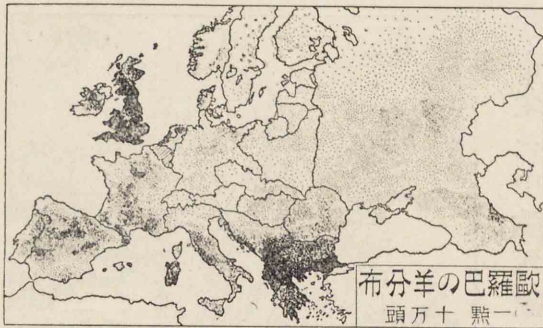
物・畜産を中歐・西歐に輸出する。小麦は、南露・ローマニア、裸麥・大麥・燕麥は、中歐以東に産し、馬鈴薯・甜菜は、獨逸を始め廣く栽培される。麻類はバルチック海岸、玉蜀黍は露西亞・洪牙利に多い。地中海地方は葡萄・オリ

農業 東歐は、農牧が盛んで、穀

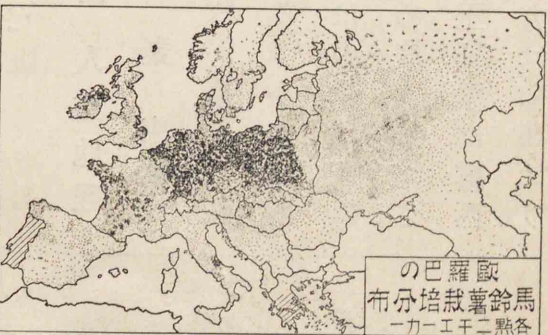


丁抹・和蘭・瑞西・英吉利等は乳牛が多い

主に英國に輸出される

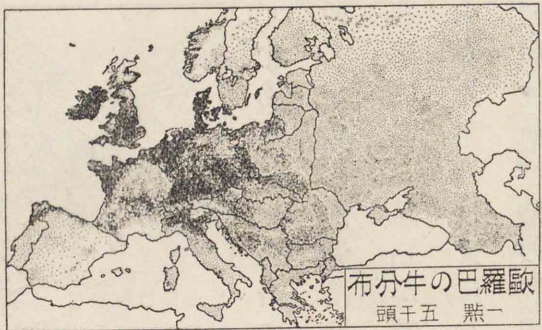


1 ヴ・オレンジ・無花果を産し、又養蠶・米作も行はれる。牧畜は、東歐を主とし、バルチック海・北海沿岸地方も酪業が著しく、獨の豚・英・洪の馬も名高い。



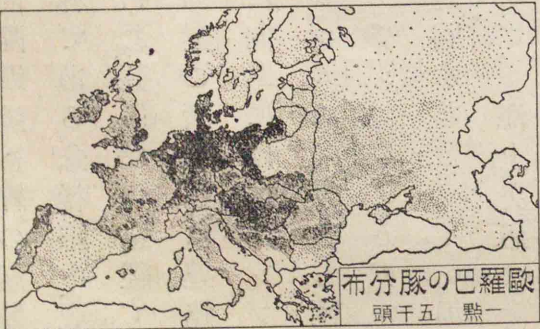
は中歐・北歐に漁業は北海沿岸地方に行はれる。中央高地帯の北縁・英吉利諸島は、石炭・鐵が豊富で、又鐵は、瑞典・西班牙・希臘にも産する。斯くて他の鑛産と共に、近代工業の發達を促し、

アルプス山脈は北歐・南歐間交通の障壁であるが今は數條の大隧道が通じた



倫敦を中心としてゐる。

交通 本洲は中部・西部の工業地帯を中心として、各種の交通機關が發達し、網狀の鐵道水路は、多數の航路と連絡して、世界交通系の

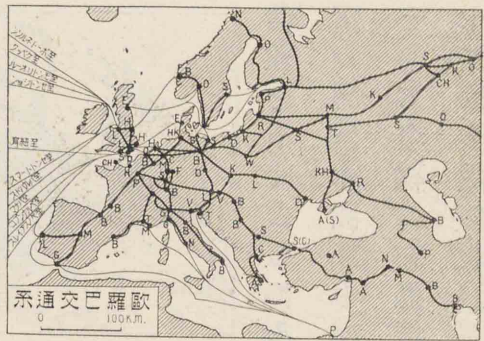


製鐵・造船・機械・化學工業は、人口稠密な英・獨・佛・白が隆昌である。アルプス・スカンディナヴィアの水力利用の工業も、亦注目の價値がある。英・獨・佛は、原料品・食料品の大部を、新大陸・亞細亞等の各地より輸入し、夥多の精製品を、他の大陸に供給する。従つてこれ等の國の貿易は著しく、他國に擡んで、多くは

1. 主要急行線
 北方急行線(倫敦・莫斯科間)
 近東急行線(倫敦・スタンブール間)
 東方急行線(倫敦・プリンデン間)
 南方急行線(倫敦・カヂス間)

運河網は何れの大
 陸よりも顯著で鐵
 道と共に交通を助
 けるが就中ライ
 ン・マルヌ運河が
 最も盛んに利用さ
 れる

歐洲の重要港
 マルセイユ・倫敦・
 ルアーヴル・漢堡・
 リヴァプール・ジェ
 ノア・ボルドー・ハ
 ル・マンチエスタ
 ー・サザンプトン・
 グラスゴー



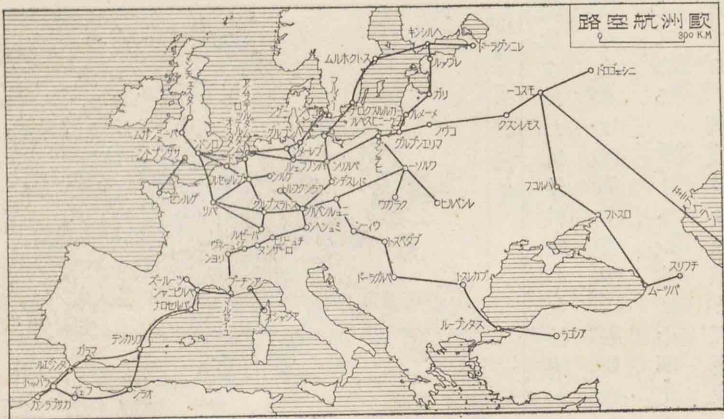
で、北佛・西白を連絡する河川及び運河が之に次ぐ。海上交通は、倫
 敦を始め北海岸諸港より、兩米の東西岸、亞細亞の南部・東部・濠洲・新
 西蘭に向ふ航路が頻繁で、英吉利海峽岸諸港・リヴァプールは兩米、地
 中海岸諸港は東洋・北阿弗利加に、主な航路を開いてゐる。航空路
 の發達、航空機の利用も目覺ましく、海底電線は、各大陸に通じ、無線

大中心となつてゐる。國際鐵道幹線の起點
 は倫敦で、中心は巴里・柏林である。急行線中、亞
 細亞に向ふものは、莫斯科(又はラドレーン)を経て、
 西比利亞中央亞細亞・高加索の諸鐵道に連絡
 する。近東・南亞細亞に向ふには、スタンブ
 ール・プリンヂシ・ツィロン・マルセイユより、兩
 米・弗大陸に達するには、サザンプトン・カヂス
 よりする。重要な國際内國水路は、ライン河

大連 新義州 平城 京城 蔚山 木津 蔚山 蔚山

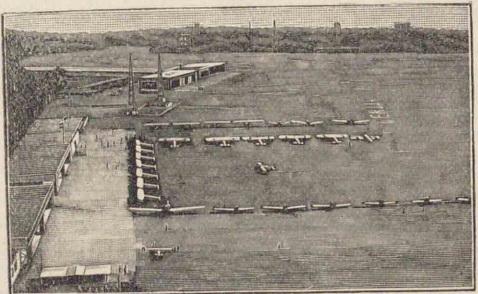
圖説(上) 伯林定
 期飛行場(下) 倫
 敦行貨物を積込
 つゝある獨逸飛行
 機

人口密度一方、
 南部のロンバル
 ア平原も人口の密
 度が大である



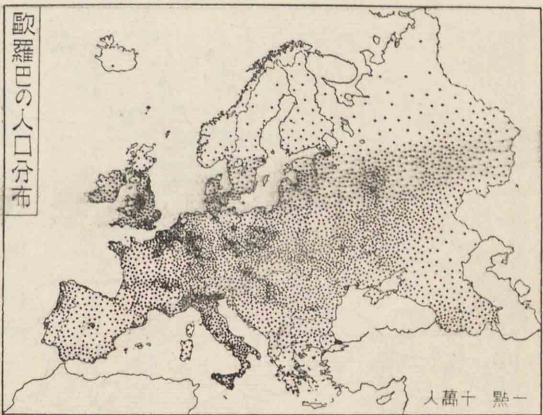
電信網は、密で、世界各地との通

信に、遺憾がない。無線電話は、北米との間に、よく交換されてゐる。



住 民 人口約四億六千萬、其の密度は、
 六大洲中第一で、殊に工業地帯が著しい。
 大部は歐羅巴人種、其の他は亞細亞人種
 である。歐羅巴人種は、ラテン・チエートン

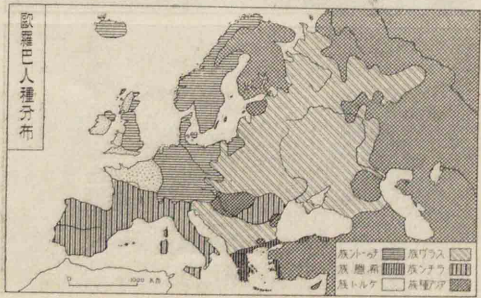
1 約九割を占める
密度の小さなのは北
部・東部・イベリア
半島・バルカン半
島の農・牧・林業地
である



歐羅巴の人口分布

剛致された爲、優美・快活な性情となり、學術美術に長じてゐるが、惜むらくは、浮華で感情に走りやすく、一部は既に老衰の兆を示してゐる。チートン族は、中部・北部地方に住し、英・獨人が之を代表する。刺戟多き氣候と、天産豊かな風土とに涵養された爲、勤勉着實で、學理の應用に長け、近世科學の權威、大工業の先驅とな

スラヴの三大種族とケルト・バスク・ギリシア・アルバニア・猶太の諸族とである。亞細亞人種は、マジール・トルコ・フィン・ラップ族で、マジール族は、著しく歐洲化し、フィン族と共に、白人間に獨立國を建ててゐる。ラテン族は大陸の南西部地方に住して、佛・伊人が之を代表する。久しく羅馬文明に洗煉され、且つ快適なる氣候に



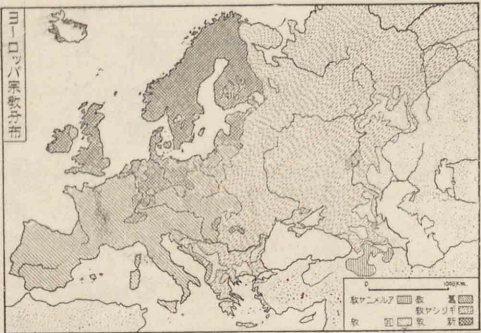
歐羅巴人種分布

り、植民地經營に成功して、大陸以外に居住するもの一億に餘る。スラヴ族は、東部を占め、露人が代表者である。性粗朴で、雄大の氣象と忍耐力とに富むが、教養は前二者に及ばない。發展も亦未知數である。

宗教 普く、基督教が行はれ、主に、ラテン族は舊教、チートン族は新教、スラヴ族は希臘教を奉ずる。巴爾幹地方の一部と露西亞の

南東部とは、回教徒が多く、猶太人は、猶太教を信仰してゐる。

政治 本洲は、歴史、民族、地勢の關係より、獨立國が多い。總て立憲政體で、君主國と共和國とが相半する。東部の露西亞、中部の獨逸、西部の佛蘭西、南部の伊太利、西陲の英吉利を、大宗として、互に世界的強國を以て雄視し、波蘭・バルチック三國及び和蘭・白耳義・瑞西の諸國



ヨーロッパの政治分布

1 三十餘あり、列強の大半は、此の中にある
リヒテンシュタイン・ルクセンブルグ・モナコ・サンマリノ・アンドラの如き小國は、名義上の獨立國で、歴史上の遺物又は避難所と認められる

は、其の緩衝地帯となつてゐる。北歐は概ね事なく、イベリア半島も稍沈靜に歸したが、其の他の大小諸國は、政治的に將た經濟的に、危惧を懷いてゐるものがある。

主要名詞索引

ミンスク Minsk13

【メの部】

メシナ Messina63
メセタ Meseta114
メドック Medoc87
メッツ Metz89
メメル Memel15
メラル湖 Melar22

【ムの部】

ムルマンスク Murmansk13

【モの部】

モレー湾 Moray101
モスコ(モスクヴァ)(莫斯科) Moscow (Moskva)1, 4, 10
モナコ Monaco88
モラヴィア Moravia54, 58
モラヴィア門45
モルダウ河 Moldau47
モレア半島 Morea54
モンズ Mons91
モンズ=隧道 Mt. Cenis66, 69
モンテネグロ Montenegro57
モンテローザ Monte Rosa72
モンドル Mt. Dore79
モンブラン Mont Blanc78

【ユの部】

ユーゴスラヴィア Yugo-Slavia (Jugo-Slavia)57
ユーラシア大陸 Eurasia120
ユダヤ(猶太)人 Jew9, 130
ユトランド半島 Jutland25, 122
ユトレヒト Utrecht98
ユニオンジャック Union Jack105
ユラ山脈 Jura30, 72

【ヨの部】

ヨークシャー Yorkshire111

ヨーロッパ(歐羅巴洲) Europe1

ヨーロッパロシア(歐羅巴露西亞) European Russia3

【ラの部】

ラーランド島 Laaland24
ライキヤヴィク Reikjavik28
ライプチヒ Leipzig40
ライン河 Rhein30, 39
ライン同盟 Confederation of the Rhine35
ラインランド Rhine Land40
ラップ族 Lapp130
ラテン Latin67, 116, 139
ラトヴィア Latvia14
ラプランド Lapland16, 119
ランカシャー Lancashire110

【リの部】

リーズ Leeds111
リム海峡 Lääim25
リール Lille89
リアス式 Rias(Ria)114
リヴァプール Liverpool2, 98
リヴォルノ Livorno69
リエージュ Liege91, 93
リオン湾 Ryon79
リガ Riga2, 14
リガ湾14
裏海 Caspian4
裏海低地 Caspian Lowland4
リギ山 Rigi77
リスボン Lisbon2, 117
リトワニア Lithuania14
リバウ Libau15
リパリ諸島 Lipari63
リヒテンシュタイン Lichtenstein50
リュベック Lubeck38
リヨン(里昂) Lyon2, 78, 88
リンツ Linz48

リンネル Linen91

【ルの部】

ルーヴル博物館 Louvre86
ルール炭田 Rhur33
ルアーヴル Le Havre86
ルアン Rouen86
ルウォウ Lwow44
ルクセンブルグ Luxemburg93
ルクルソー Le Creusot82
ルツェルン Luzern77
ルテン人 Ruthen47

【レの部】

レス Lace91
レヴァル Laval14
レット人 Lett14
レニングラード Leningrad8, 12
レンベルヒ Lemberg44

【ロの部】

ローン湾 Lorne101
ロザンヌ Lousanne76
ロッド山脈 Rhodope59
ロヌ河 Rhone79
勞農ロシア(露西亞) Soviet Russia10
ローマ(羅馬) Roma(Rome)2, 68
ローマ(羅馬)法王 Pope107
ローマニア(羅馬尼亞) Roumania115
ロアル河 Loire79
ロシア(露西亞)ソヴィエト共和國 Russian Socialist Federal Soviet Republic10
ロシア(露西亞)平原120
ロシュフォール Rochefort85
ロストフ Rostov14
ロヅ Lodz43, 44

ロッテルダム Rotterdam 94, 96, 98

ロフトン諸島 Lofoten20
ロマンOFF家 Romanoff9
ロモンド湖 Lomond100
ロレーヌ Lorraine81
ロンドン(倫敦) London2, 108
ロンドンデリー London derry113
ロンドン(倫敦)塔 London Tower109
ロンバルデー平野 Lombardy63

【ワの部】

ワールン人 Wallon91
ワテルロー Waterloo93
ワイマール Weimar41
ワラキア Wallachia85
ワルソー Warsaw2, 42, 44

パレルモ Palermo71
 バレアル諸島 Balearic120
 ハンガリー(洪牙利) Hungary50
 ハンガリー(洪牙利)平原49
 ハンゴ Hango17
 萬國赤十字社本部77
 ハンバー河 Humber100, 111
 ハンブルグ(漢堡) Hamburg2, 38
 ハンメルフェスト Hammerfest23

【ヒの部】

東スレース E. Thraee61
 東地中海盆
 E. Mediterranean Basin123
 東プロシア E. Prussia37
 東ルーメリア E. Rumelia59
 ビサ Pisa69
 ビスカヤ灣 Biscay81
 漂積土4
 肥沃草地帯5
 ビルスク Birska6
 ビルゼン Pilsen47
 ビルバオ Bilbao117
 ビレウス Piraeus62
 ビレネー山脈 Pyrenees78, 114
 ビンドス山脈 Pindus54

【フの部】

ファートルライン Vater Rheine31
 フィウメ Fiume70
 フィウメ灣52
 フィエン島 Fyen24
 フィレンツェ Firenze69
 フィン人 Finn9
 フィンランド(芬蘭) Finland15
 フィンランド(芬蘭)大公國16
 フィンランド(芬蘭)灣12
 フェル諸島 Färöe27

フォース灣 Forth101
 ブカレスト Bukarest2, 53, 58
 プスタ Pussta50
 ブダーベスト Buda-Pest52
 プラーグ Prague2, 45, 47
 ブライラ Blaira14
 ブラチスラヴァ Bratislava48
 フラッシング Flushing97
 ブラッドフォード Bradford111
 フランク國 Frank35
 フランクフルト Frankfurt40

フランコニアエラ Franconian-Jura
 フランス(佛蘭西) France78
 ブランデー Brandy26
 ブリエイ Vlies81
 フリシンヘン Vlissingen97
 ブリストル Bristol110
 プリベット Pripet13
 ブリュン Brunn47, 48
 ブリンヂシ Brindisi67, 128
 プルース Pruth55

ブルガリア(勃牙利) Bulgalia56
 ブルゼン Pilsen47
 ブルターニュ半島 Bretagne79, 122
 ブルッセル Bruxelles2, 89, 92
 ブルノ Brno47
 ブレーメルハーフェン Bremerhaven38
 ブレーメン Bremen38
 ブレスト Brest85
 ブレスラウ Breslau37

フレデリクスハーフェン
 Frederikshavn26
 フレミッシュ語 Flemish91
 フレミング人 Fleming91
 ブレンネル越 Brener50, 66
 プロエスチ Ploesti58
 プロシア Prussia36
 フローレンス Florence69

【への部】

ヘーグ(海牙) The Hague94, 98
 ヘクラ山 Hekla28
 ベチョラ河 Pechora4
 ベッサラビア Bessarabia14
 ペトロ大帝 Peter the Great 9, 12
 ベニンアルプス Pennine Alps100
 ヘブラヅイ島 Hebrides90
 ベルギー(白耳義) Belgium89
 ベルグラード Belgrad57
 ヘルクラネウム Herculaneum71
 ベルゲン Bergen23
 ペルシア(波斯) Persia12
 ヘルシンキ Helsinki (Helsingfors)
2, 17
 ヘルソン Kherson14
 ベルファスト Belfast113
 ベルリン(伯林) Berlin2, 37
 ベルン Bern2, 75
 ペロポネサス半島 Peroponnesus61

【ホの部】

ボヘー河 Po63
 法王廳63
 ボーゼン Posen44
 ボーツマス Portsmouth109
 ボーデン湖 Boden72
 ボートグラスゴー Port Glasgow112
 ポーランド(波蘭) Poland42
 ポーランド(波蘭)廊下 Polish Corridor 43
 ポール人 Pole43
 北蘭運河98
 ボスニア Bosnia57
 ボスポルス海峽 Bosphorus52
 北海海 North Sea31
 北海運河98
 北極洋 Arctic Ocean3
 ボツダム Potsdam37

ホップ Hop32, 45, 39
 ポプリン Poplin113
 ボヘミア盆地 Bohemia45
 ボルダ Polder94
 ボルドー Bordeaux87
 ポルトガル(葡萄牙) Portugal113
 ホンガリア(洪牙利) Hungary50
 ポンペイ Pompeii71

【マの部】

マーシ河 Mersey100
 マース河 Maas90
 マイツェン Meissen40
 マイン河 Main40
 マカロニ Macaroni65
 マグデブルグ Magdeburg37
 マケドニア Macedonia62
 マジャル族 Magyar50, 51
 マッテルルン山 Matterhorn72
 マドリッド Madrid2, 114, 116
 マニチ河 Manich119
 マラリア Malaria74
 マリツァ河 Maritza54, 60
 マルセイユ(馬耳塞) Marseilles
2, 78, 81, 87
 マルタ Malta71
 マルチース諸島 Maltese71
 マルヌ Marne85
 マルメ Malmö26
 マルメヂ Marmedy92
 マルモラ海 Marmora60
 滿洲 Manchuria3
 マンチェスター Manchester110

【ミの部】

ミヂ運河 Midi79
 ミッドルスパラ Middlesbrough 99, 111
 ミュンヘン München(Munich) 41
 ミラン(ミラノ) Milan(Milano)2, 70

.....107
 大ロシア(露西亞)人 Great Russian8
 タウルス山脈 Taurus120
 タガンログ Taganrog14
 タスカニー平野 Tuscany65
 ダニューブ河 Danube30, 50
 ダブリン Dublin113
 タホ河 Sagus117
 タラント Taranto67
 タリン Tallinn14
 ダルダネル海峽 Dardanelles52
 ダルマチア Dalmatia57
 ダンケルク Dunkirk77
 タワーブリッジ(塔橋) Tower Bridge 1 9
 ダンチヒ Danzig42
 ダンネモラ Donnemora20

【チの部】

チェク人 Czech47
 チェコスロヴァキア(致須) C echo-Slovakia
45
 チェチニエ Cetinje57
 チェップ Dieppe89
 地中海 Mediterranean Sea 62
 地中海式氣候64
 チナルアルプス山脈 Dinaric Alps54
 中央アジア(亞細亞) Central asia12
 中歐南北通路45
 中帶山脈 Mittel Gebirge30
 父ライン Vater Rhein31
 チュートン族 Teuton 21, 27, 51, 59
 チューナ河 Duna4
 チューリヒ Zürich72, 77
 チューリヒ湖77
 チューリン Turin66, 69
 チューリンゲン Thuringen(Thuringia)
41
 チューリンゲン森30

デュッセルドルフ Dusseldorf39
 チューリン Turin66
 朝鮮8
 チレニア海 Tyrrhenian64
 チレニアランド Tyrrhenian Land 123
 チロー Tyrol56

【ツの部】

角岬 Cape Horn105
 ツラ Tula6, 11
 ツールーズ Toulouse87
 ツロン Toulon85
 ツイスブルグ Duisburg39
 ツウィカウ Zwichaw41
 ツルク Turku17

【テの部】

テムス河 Thames99
 デーン人 Dane28
 テチス海 Tethis73
 鐵門 Iron Gate54
 デデアガチ Dede Agach56
 デブレチエン Debreczen55
 デンマーク(丁抹) Denmark24, 39

【トの部】

ドーヴァー海峽 Dover89
 凍土帯 Tundra5, 6
 ドイツ(獨逸) Germany28
 ドイツ(獨逸)人35
 ドイロ河 Douro115
 トゴ Togo85
 ドッガバンク Dogger Bank102
 ドナウ河 Donau30
 ドニエストル河 Dniester14
 ドニエプル河 Dniepr4
 ドネツ Donez4
 トランシルヴァニアアルプス山脈
 Transylvanian Alps54

トラファルガル Trafalgar117
 トリエスト Triest70
 トリノ Torino69
 トルコ(土耳其) Turkey60
 トルコ(土耳其)族 Turk9, 56
 トルコマン共和国 Turcoman10
 ドルトムント Dortmund39
 ドレーヴ Drave50
 ドレスデン Dresden40
 トレンチノ Trentino49
 トロール船 Troll118
 ドン河 Don4

【ナの部】

ナウエン Nauen37
 ナスポ Naspo42
 ナポリ Napolì70
 ナポレオン一世 Napoleon84, 88
 ナミュール Namur91
 ナルヴィク Narvic23
 ナンシー Nancy89
 ナント Nantes87

【ニの部】

ニース Nice88
 西サラセン國 W. Saracen117
 ニシェゴロド Nischegorod(Nijini
 Novgorod)7, 11
 西スラヴ族 W. Slav47
 西地中海盆
 W. mediterranean Basin123
 ニューカッスル Newcastle111
 ニューシャテル Newehatel76
 ニューシャテル湖72
 ニュールンベルヒ Nürnberg41

【ネの部】

ネーブルス Naples70

ネヴァ河 Neva4, 12

【ノの部】

ノートルダム寺院 Notre Dame88
 ノブゴロド Novgorod9
 ノルウェー(諾威) Norway17
 ノルデンシヨルド Nordenskjold16
 ノルマン人 Norman9, 10
 ノルマンディー Normandy79
 ノルケピング Norköping22

【ハの部】

ハーグ(海牙) The Haueg2
 バークンヘッド Birkenhead111
 バーゼル Basel76
 バーミンガム Birmingham110
 ハーレム Haarlem98
 バヴァリア Bavaria32, 41
 バスク人 Basque130
 パナマ運河 Panama105
 バッキンガム宮殿 Buckingham108
 パラトン湖 Palaton50
 パリ(巴里) Paris2, 85, 78
 パリ(巴里)盆地85
 ハール Hull103, 111
 バルカン(巴爾幹)山脈 Balkan52, 54
 バルカン(巴爾幹)半島53
 バルカン(巴爾幹)の鍵 Kay of Balkan 53
 ハルコフ Khalkov13
 バルセロナ Barcelona117
 バルチック海 Baltic44, 39, 14
 バルチック三國14
 ハルツ山脈 Harz30, 38
 バルメン Barmen40
 ハレ Halle37
 パロス Palos117
 白ロシア White Russia10

ケムニッツ Chemnitz41
 ゲリヴァラ Gellivara..... 20
 ケルチ Kerch6
 ケルト族 Celt.....105
 ケルン Cöln.....40
 ケンブリヂ Cambridge..... 110

【コ の 部】

コーカサス(高加索)山脈 Caucasus.....120
 コーカシア(高加索) Caucasia.....8
 膠州灣29
 コヴノ Kovno.....15
 公設賭博場 Casino88
 國際河川55
 國際港55
 國際裁判所98
 國際手形交換所76
 國際鐵道幹線128
 國際聯盟本部2
 黒土帯 Black-Earth Land
5, 125
 黒海 Black Sea ...4, 44, 53
 黒郷 Black Country ... 110
 コブレンツ Coblenz(Coblence).....39
 コペンハーゲン Copenhagen.....27
 コラ半島 Kola.....13, 122
 コリント運河 Corinth.....61
 コリント地峽61
 コルク櫛 Cork oak.....115
 コルドヴァ Cordova.....117
 コルシカ島 Corsica.....64, 79, 88
 コルンウォール半島 Cornwall.....100
 コロセウム(演武劇場) Colosseum.....68
 コロロン Cologne.....40
 コンゴ Congo92
 コンスタンチノープル Constantinople 60
 コンスタンチン大帝
 Constantins the Great.....61

コンスタンツァ Constanza.....58

【サ の 部】

ザール炭田 Saar.....36, 81
 ザヴォナ Savona75
 サクソニア Saxony33
 サクソニア自由國40
 サザンブトン Southampton109
 サポロッセ Saporosse13
 サマラ Samara12
 サライェヴォ Sarajevo.....57
 サラトフ Saratov.....12
 サルヂニア Sardinia64
 ザルツブルグ Salzburg.....48
 サロニキ Saloniki.....62, 56
 サンゴタルド山塊 Saint Gotthard72
 サンゴタルド隧道75
 サンタンデル Santander.....117
 サンプル Sambre.....90
 サンペテロ寺 St. Peter.....68
 サンマリノ San Marino.....109

【シ の 部】

ジールランド Zealand.....27
 ジェノア(ジェノヴァ) Genoa(Genova) ..69
 ジェノア灣63
 シェトランド Shetland.....100
 シェフィールド Sheffield.....110
 シェラネヴァダ山脈 Sierra Nevada...114
 シェルト河 Scheldt.....90
 四國協約3
 シシリー島 Sicily63, 65
 ジブラルタル Gibraltar118
 ジブラルタル海峡113
 シベリア(西比利亞) Siberia8
 シャノン河 Shannon.....100
 シャルロア Charlois.....91
 ジャンダーク Jeanne Darc.....86
 自由市 Free City.....46

自由貿易主義104
 準平原 Penplain.....4
 小帯水道 Little Belt.....25
 小露西亞人 Little Russian8
 シリア Syria.....85
 シロッコ風 Sirrocco64
 白露西亞人 White Russian.....8

【ス の 部】

スヴァールバルド島 Svalbard22, 23
 スイス(瑞西) Suisse(Switzerland) 71
 スウェーデン(瑞典) Sweden.....17
 スヴェンヘヂン Sven Hedin38
 スエズ運河 Suez705
 スカゲラク海峡 Skager Rak25
 スカンヂナヴィア山脈 Scandinavia ...17
 スカンヂナヴィア半島119
 スクタリ Seutari.....60
 スコットランド(蘇格蘭) Scotland 100,111
 スコットランド(蘇格蘭)低地.....103
 スタッスフルト Stassfurt38
 スタンプール Stambul ...
2, 52, 55, 60, 128
 スツットガルト Stuttgart42
 ステチン Stettin.....37
 ストーク Stoke.....110
 ストクホルム Stockholm.....2, 18
 ストラスブール(ストラスブルグ)
 Strasbourg(Strassburg).....98
 ストロポリ島 Stromboli63
 スピッツベルゲン Spitzbergen.....22
 スプレー河 Spree37
 スペイン(西班牙) Spain113
 ヘベチア Spezia.....69
 スワンシー Swansea111
 スラヴ族 Slav.....8
 スレーズ地方 Thraee.....59, 61
 スロヴェーヌ人 Slovenian.....56

スロヴァク人 Slovak.....47
 ズンド海峡 Sound25

【セ の 部】

セーヴ Save57
 セイヌ河 Seine.....79
 セヴァーン河 Severn.....100
 セヴィラ Sevilla.....117
 セバストポリ Sebastopol14
 セルヴィア Servia.....57
 セルヴィア人56
 セルブクロアトスロヴェーヌ
 Serb-Croat-Slovene.....53, 57
 ゼレス Jerez.....115
 センテチエンヌ St. Etienne...81, 82, 87
 セントピーター寺 St. Peter.....68
 セントヘレナ島 St. Helena.....64
 セントポール寺 St. Paul.....109

【ソ の 部】

草原帯 Steppe.....5
 ソーネ峽灣 Sogne.....18
 ゴーリングゲン Solingen.....39
 ゴイデルゼー(南海) Zuider Zee.....94
 ソヴィエト社會主義共和國聯邦
 Union of Socialist Soviet Republics 10
 ソフィア Sofia59

【タ の 部】

ダービー Derby112
 タイス河 Theiss.....50, 55
 タイバー河 Tiber63
 タイン河 Tyne111
 大帯水道 Great Belt.....27
 大ブリテン(不列顛) Great Britain.....99
 大ブリテン(不列顛)北アイルランド(愛耳
 蘭)合衆王國 Uncted Kingdom of
 Great Britain and Northern Ireland

ヴァリスカン山脈 Variscan.....121
 ヴァルダイ丘陵 Valdai.....4
 ヴァルダル Vardar.....54, 62
 ヴァルナ Varna.....59
 ヴァレツタ Valetta.....71
 ヴァレンシア Valencia.....81, 117
 ウィーリツカ Wieliczka.....44
 ウィーン(ヴィエンナ)(維也納) Wien
 (Vienna).....2, 48, 49
 ウィーン盆地.....45
 ウィスツラ河 Vistula.....42
 ヴィルナ Vilna.....25
 ウィルヘルムスハーフェン
 Wilhelmshaven.....38
 ウィンズル宮 Windsor.....109
 ウェーゼル河 Weser.....39, 30
 ウェールス Wales.....100, 111
 ヴェスヴィアス Vesuvius.....63
 ウェストミンスター寺 Westminster...109
 ヴェニス(ヴェネチア) Venice(Venezia).70
 ヴェルヴィエー Verviers.....92
 ヴェルサイユ Versailles.....86
 ヴェルダン Verdun.....89
 ヴェルモット酒 Vermouth.....69
 ヴォーージュ山脈 Vosges.....31
 ウォルヴァーハンブトン
 Wolverhampton.....110
 ヴォルガ河 Volga.....4, 6, 8
 ヴォログダ Vologda.....12
 ウクライナ Ukraine.....13
 ウスクブ Uskub.....62
 ウプサラ Upsala.....22
 ウュルテンベルヒ Württemberg.....42
 ウラル山脈 Ural.....4, 6, 119
 ウルノ山 Vrno.....63
 ウルム Ulm.....55
 ヴレアボルグ Uleaborg.....17
 ヴルカノ Vulcano.....63

【エの部】

エーゲ海 Aegean.....53
 永世局外中立國.....76
 エウボエア島 Euboea.....61
 エギナ灣 Aegina.....61
 エストニア Esthonia.....14
 エストニア人.....14
 エヂンバラ Edinburgh.....112
 エッセン Essen.....39
 エッフェル塔 Eiffel.....86
 エトナ火山 Etna.....63
 エプロ河 Ebro.....114
 エムス河 Ems.....30
 エムデン Emden.....38
 エルツ山脈 Erz.....33
 エルバ島 Elba.....65
 エルベ河 Elbe.....30
 エルベ門.....45
 エルベルフェルト Elbelfeld.....40

【オの部】

歐洲大平原.....10, 120
 歐洲の戰場.....92
 オーストリア(奥地利) Austria.....48
 オーデル河 Oder.....30
 オーベルニュ高地 Auvergne.....79
 オーボ Abo.....17
 オカ河 Oka.....11
 オクスフォード Oxford.....110
 オスタンド Ostende.....92
 オスロ Oslo.....23
 オデッサ Odessa.....2, 4, 8, 13
 オポルト Oport.....113
 オランダ(和蘭) Netherlands.....93
 オリヴ Olive.....65, 81, 125
 オレンブルグ Orenburg.....12

【カの部】

カーヂフ Cardiff.....111
 カイロ Cairo.....61
 カウナス Kaunas.....15
 カザン Kazan.....11
 カヂス Cadiz.....117, 128
 カテガット海峡 Kattegat.....23
 カメルン Kameroun.....85
 樟太.....3
 ガラツ Galatz.....58
 カラブリア半島 Calabria.....63
 カララ Carrara.....65
 カルスト Karst.....57
 ガリシア Galicia.....44
 カルパ河 Carpa.....52
 カルパチア山脈 Carpathian..45, 54, 50
 ガルヘビグ山 Galdhöpig.....18
 カルルスバード Karlsbad.....47
 カレ Calais.....89
 カレドニア山脈 Caledonian.....120
 カレドニア運河.....101
 ガロンヌ河 Garonne.....79
 ガン Ghent.....92
 緩衝地帯.....42, 132
 カンチア島 Candia.....61
 カンタブリア山脈 Cantabrian.....114
 カンヌ Cannes.....88

【キの部】

キール Kiel.....38
 キール運河.....38
 キエフ Kiev.....13
 北アイルランド(北愛蘭) Northern
 Ireland.....112
 北獨逸ロイド會社 North German
 Lloyd.....38
 キプロス Cyprus.....120

喜望岬

Cape of Good Hope.....105
 ギリシア(希臘) Greece.....8, 130
 キルギス共和國 Kirghiz.....12
 キングス灣 Kings.....3, 24
 近東直通鐵道(東方急行線).....55

【クの部】

グアダルクヴィル河 Guadalquivir.....114
 グアヂアナ河 Guadiana.....115
 クステンヂャ Kustenje.....58
 クックスハーフェン Cuxhaven.....38
 クラーゲンフルト Klagenfurt.....48
 クライド河 Clyde.....100
 クライド灣.....101
 クライペダ Klaipeda.....15
 クラコ(クラカウ) Cracow(Krakau) 44
 グラスゴー Glasgow.....113
 グラナダ Granada.....117
 グランサソ山嶽 Gran Sasso.....63
 グランドオペラ Grand Opera.....86
 クリート島 Crete.....61, 120
 グリーンランド(綠州) Greenland.....27
 クリスタニア Christiania.....23
 グリニチ Greenwich.....109
 クリミア半島 Crimea.....6, 120
 クリミア戦争.....14
 グリムスビー Grimsby.....103
 クルupp鐵工所 Krupp.....39
 クレフェルト Crefeld.....39
 クレムリン宮殿 Kremlin.....11
 クローンスタット Cronstadt.....12
 クロアト人 Croatian.....56
 軍備禁止區域.....60

【ケの部】

ケーニヒスベルヒ Königsberg.....37
 ゲテボルグ Göteborg.....23, 26

主要名詞索引【中巻の部】

主要名詞索引

【アの部】

- アール河 Aar.....72
- アイスランド(氷州) Iceland.....24, 28
- アイリシ海 Irish.....00, 120
- アイルランド(愛耳蘭)島 Ireland 99, 112
- アイルランド(愛耳蘭)自由國
Ireland Free State.....113
- アキテーヌ盆地 Aquitaine.....81
- アクロポリス Acropolis.....62
- アジャチオ Ajaccio.....88
- アストラハン Astrakhan.....12
- アゼンス(雅典) Athens.....2, 53, 62
- アゾフ海 Azov.....4, 119
- アトラス山脈 Atlas.....120
- アドリア海 Adriatic.....53, 68
- アドリアノブル Adrianople.....61
- アナトリア Anatolia.....52
- アバーデン Aberdeen.....103
- アヒアル Achiar.....14
- アプリア Apulia.....65
- アペニン山脈 Apennines.....63
- アムステルダム Amsterdam.....96
- アムンゼン Amundsen.....18
- アラブ族 Arab.....117
- アルサス-ロレーヌ Alsace-Lorraine.....85
- アルジェリア Algeria.....85
- アルスター Ulster.....102
- アルダンヌ Ardennes.....90
- アルノ河 Arno.....83
- アルパイン族 Alpine.....9
- アルバニア Albania.....56
- アルバニア人.....56, 130

- アルハンゲルスク Archangelsk.....13
- アルハンブラ宮殿 Alhambra.....117
- アルプス山脈 Alps.....30, 72, 121
- アルモリカン山脈 Armorican.....121
- アレクサンドロフスク Alexandrovsk.....61
- アレッチ氷河 Aletsch.....73
- アングロ-サクソン人 Anglo-Saxon.....105
- アンゴラ Angora.....61
- アンダルシア Andalusia.....114
- アンドラ Andorra.....118
- アントワープ(安土府) Antwerp
.....83, 93, 96

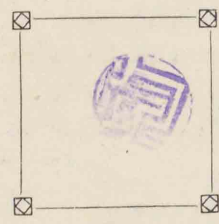
【イの部】

- イオニア海 Ionian.....53
- イギリス(英吉利) England.....98
- イギリス(英吉利)海峡 English Channel
.....78
- イギリス(英吉利)海峡航路.....82
- イギリス(英吉利)人.....106
- イストリア半島 Istria.....63
- イスランド(氷州) Island(Iceland).....28
- イタリア(伊太利) Italy.....62
- イタリア(伊太利)國粹主義 Fascism.....62
- イベリア半島 Iberian.....113
- イワン Ivan.....9
- イングランド(英蘭) England.....100, 108
- イングランド(英蘭)銀行.....109
- インスブルック Innsbruck.....49

【ウの部】

- ヴァチカン(法王宮) Vatican.....48
- ヴァラドリッド Valladlid.....115

昭和五年二月六日
昭和四年十二月二日
昭和五年二月六日
昭和四年十二月二日
昭和五年二月六日
昭和四年十二月二日
昭和五年二月六日
昭和四年十二月二日



有 所 權 作 著
製 複 許 不

新選地理 世界之部

價 定		
下卷	中卷	上卷
金八拾參錢	金六拾六錢	金六拾貳錢
昭和五年五月定價		
金壹圓參拾五錢	金壹圓〇八錢	金壹圓〇壹錢

著 者 守 屋 荒 美 雄

發 行 者 株 式 會 社 帝 國 書 院

印 刷 者 高 橋 郁

發 賣 所 株 式 會 社 帝 國 書 院

東京市神田區仲猿樂町三十番地

振替口座東京六七〇一四番

關 西 販 賣 所 三 宅 莊 藏 書 店

大阪市東區橫堀四丁目三番地

振替口座大阪六九番

度量衡換算表

度 1.

籽	哩	里
/	=0.6214	=0.2546
1.6093	=/	=4098
3.9273	=2.4403	=/

度 2.

米	碼	間
/	=1.0936	=0.5500
0.9144	=/	=0.5029
1.8182	=1.9884	=/

度 3.

米	呎	尺
/	=3.2808	=3.3000
0.3048	=/	=1.0058
0.3030	=0.9942	=/

度 4.

種	吋	寸
/	=0.3937	=0.3300
2.5400	=/	=0.8382
3.0303	=1.1930	=/

度 5.

平方籽	平方哩	平方里
/	=0.3816	=0.048
2.5900	=/	=0.16
15.4235	=5.9550	=/

度 6.

アール	エーカー	畝
/	=0.0247	=1.0083
40.4680	=/	=10
0.9917	=	=/

度 7.

平方米	平方碼	坪
/	=1.1960	=0.3025
0.8361	=/	=0.2529
3.3058	=3.9537	=/

量 1.

立	ガロン	升
/	=0.2642	=0.5544
3.7854	=/	=2.0985
1.8039	=0.4735	=/

量 2.

立方種	立方吋	立方寸
/	=0.0610	=0.0359
16.3871	=/	=0.5889
27.8265	=1.6981	=/

衡 1.

佛噸	英噸	貫
/	=0.9842	=266.667
1.0161	=/	=270.95
0.0038	=0.0037	=/

衡 2.

貳	封度	貫
/	=2.2046	=0.2667
0.4536	=/	=0.1210
3.7500	=8.2672	=/

衡 3.

瓦	オンス	匁
/	=0.0353	=0.2667
28.350	=/	=7.5600
3.7500	=0.1323	=/

小田正巳



広島大学図書

200082109



文庫
30
109